令和2年度文化芸術による子供の育成事業-巡回公演事業-公演団体一覧

【A区分・B区分団体】

ブロック	分野	種目	公演団体名	対象学年				企画名	演目	複数年度実施
				小(低)	小(中)	小(高)	中			
I	音楽	合唱	公益社団法人　関西二期会	○	○	○	○	関西二期会合唱公演	●オープニング/威風堂々 ●四季を彩る日本の歌 / 花～春の小川～浜辺の歌～我は海の子～村祭り～ 小さい秋みつけた～冬景色～雪～ふるさと（省略） ●みんなの合唱曲 / 小学校:君をのせて/勇気100%　中学校:君をのせて/ジュピター（省略） ●オペラの名曲カルメン よりハバネラ/カルメン より 闘牛士の歌/椿姫 より 乾杯の歌（省略） ●校歌校歌斉唱／混声四部合唱による校歌　等	
I	音楽	オーケストラ等	公益財団法人　九州交響楽団	○	○	○	○	踊る！大管弦楽団 ～踊りを通して世界の文化に触れよう～	【小学校向けプログラム】♪＝児童の共演・参加曲目　※中学校向けプログラム　あり 1. ロウ/ミュージカル「マイ・フェア・レディ」より 踊り明かそう（省略） 7. オーケストラと踊ろう ♪服部正／ラジオ体操第一 8. オーケストラと演奏しよう『太鼓の名人』 ♪ヴェルディ/「レクイエム」より 怒りの日の一部分 9. ファリャ／バレエ音楽「三角帽子」	
I	音楽	オーケストラ等	京都フィルハーモニー室内合奏団	○	○	○	○	小学生のためのクラシックコンサート～ようこそ! 素晴らしい音楽の世界へ（小学生） 中学生のためのクラシックコンサート～体感！「オーケストラの魅力」（中学生）	●オペラ「フィガロの結婚」序曲 / モーツァルト （省略） ●オーケストラと共演しましょう] ＊ベルシャの市場にて / ケテルビー ●オーケストラの伴奏で校歌を歌いましょう！ ●組曲「道化師」カバレフスキー（語り付）　等	
I	演劇	児童劇	劇団たんぽぽ	○	○	○	-	舞台劇『いのちのまつり』	『いのちのまつり』 原作/草場一壽 「いのちのまつり」(サンマーク出版) 脚本/久野由美・松下哲子　監修/ふじたあさや　演出/大谷賢治郎　人形演出/つげくわえ 音楽/遠山裕 美術/池田ともゆき　衣装/坂本真彩 振付/酒井麻也子　照明/坂本義美　音響/山北史郎　制作/上保節子	
I	演劇	児童劇	劇団仲間	○	○	○	○	舞台劇　小さい“つ”が消えた日	「小さい“つ”が消えた日」 原作：ステファノ・フォン・ロー(三修社刊) 脚本／演出　鈴木雄太 音楽：芳賀一之	
I	演劇	演劇	有限会社　劇団銅鑼	○	○	○	○	劇団銅鑼公演『いのちの花』	「いのちの花」 原作：向井愛実著「いのちの花」(株式会社WAVE出版刊) 瀧 晴巳著「世界でいちばんかなしい花 それは青森の女子高生たちがペット殺処分ゼロを目指して咲かせた花」(ギャンビット刊) 脚本：畑澤聖悟　演出：齊藤理恵子	
I	演劇	ミュージカル	演劇集団遊玄社	○	○	○	-	音楽劇・イソップランドの動物たち	音楽劇・イソップランドの動物たち 原作／イソップ寓話　構成・演出／関矢幸雄　音楽・演奏指導／ThembaTana(テンバ・タナ) 美術／中地智　照 明／佐久間巨照　衣装／本田朋子 演出補／花輪充　制作／田辺慶一	
I	舞踊	バレエ	谷桃子バレエ団	○	○	○	○	実演と解説：バレエを知っていますか？公演「白鳥の湖」ダイジェスト版	第1部　クラシックバレエについての解説と練習風景の実演（35分） 第2部「白鳥の湖」 ダイジェスト版（45分） 作曲：ピョートル・イリイチ・チャイコフスキー 原振付：マリウス・プティパ, レフ・イワノフ　再演出／振付：谷桃子　振付／高部尚子	R1（継続）
I	伝統芸能	歌舞伎・能楽	公益財団法人　山本能楽堂	○	○	○	○	【伝統芸能と遊ぼう！　狂言「柿山伏」 と 能「羽衣」】	能「羽衣」　/ 作者不明　素材・「丹後風土記」などの羽衣伝説 狂言「柿山伏」	
I	伝統芸能	邦楽	一般社団法人　義太夫協会	-	○	○	○	語ってみよう！義太夫節！	義太夫節『増補大江山（ぞうほおおえやま）』 「戻り橋の段（もどりばしのだん）」より	
I	伝統芸能	演芸	話芸の三きょうだい～落語・講談・浪曲の世界～	○	○	○	○	話芸の三きょうだい ～落語・講談・浪曲の世界～	落語／ 「饅頭こわい」 または 「動物園」 講談／ 「山内一豊」 または 「大名茶会」 浪曲／ 「稲むらの火」 または 「吉岡先生教壇に生く」	

【C区分団体】

G・I・J	音楽	オーケストラ等	[C区分]京都フィルハーモニー室内合奏団	○	○	○	○	夢いっぱいコンサート（小学生） 中学生のためのクラシックコンサート～体感！「オーケストラの魅力」（中学生）	（小学生） ※別途中学校用プログラム有 ●ウィリアムテル序曲より「スイス軍の行進」/ ロッシーニ作曲(金澤恭典編曲) （省略）●ポストホルンギャロップ/ケーニッヒ作曲(金澤恭典編曲) ●オペラ「カルメン」より抜粋/ ビゼー(金澤恭典編曲) ・前奏曲～アラゴネーズ～ハバネラ(歌)～闘牛士のうた(トランペット独奏) 等 【アンコール】憂いもなく/ ヨゼフ シュトラウス作曲(前田肇編曲) 他	
G・H・I	演劇	児童劇	[C区分]劇団風の子九州	○	○	○	-	「あっかんべー！」は勇気の言葉（「やだ、やだ あっかんべー！」公演）	やだ、やだ あっかんべー！ 作・演出 / あさのゆみこ　音楽・効果 / 曲尾友克 美術 / あさのゆみこ	

※複数年度実施欄に「H30」の記載がある団体は平成30年度から，「R1」の記載がある団体は令和元年度から，「R2」の記載がある団体は令和2年度から3年間同じブロックで公演を行う団体です。

※http://www.kodomogeijutsu.go.jp/junkai/kouen.htmlから、団体のホームページや現在実施されている令和元年度の情報を閲覧することができます。

		A・B区分団体											C区分団体	
		I97	I98	I99	I100	I101	I102	I103	I104	I105	I106	I107	K125	K124
		公益社団法人関西二期会	公益財団法人九州交響楽団	京都フィルハーモニー室内合奏団	劇団たんぽぽ	劇団仲間	有限会社 劇団銅鑼	演劇集団遊玄社	谷桃子バレエ団	公益財団法人山本能楽堂	一般社団法人義太夫協会	話芸の三きょうだい～落語・講談・浪曲の世界～	[C区分]京都フィルハーモニー室内合奏団	[C区分]劇団風の子九州
巡回ブロック		I	I	I	I	I	I	I	I	I	I	I	G・I・J	G・H・I
項目		合唱	オーケストラ等	オーケストラ等	児童劇	児童劇	演劇	ミュージカル	バレエ	歌舞伎・能楽	邦楽	演芸	オーケストラ等	児童劇
前日仕込みの有無		なし	なし	なし	なし	なし	あり	なし	なし ※巡回初日の学校のみあり	なし	なし	なし	なし	なし
6月1日	月			○		○				○				
6月2日	火			○		○				○				
6月3日	水			○		○				○				
6月4日	木			○		○				○				
6月5日	金			●		○				○				
6月6日	土					移								
6月7日	日					移								移
6月8日	月					○				○				○
6月9日	火					○				○				○
6月10日	水					●				○				○
6月11日	木					●								○
6月12日	金					●								○
6月13日	土					移								
6月14日	日					移							移	
6月15日	月					○							○	○
6月16日	火					○							○	○
6月17日	水					○							○	○
6月18日	木					○							○	○
6月19日	金					○							○	○
6月20日	土					移								
6月21日	日		移	移		移								
6月22日	月		●	○		○								○
6月23日	火		○	○		○								○
6月24日	水		○	○		○								○
6月25日	木		○	○		○								○
6月26日	金		○	○		○								移
6月27日	土		○			移								
6月28日	日			移		移								
6月29日	月			○		○				○				
6月30日	火			○		○				○				
7月1日	水			○		○				○				○
7月2日	木			○		○				○				○
7月3日	金			○		○				○				○
7月4日	土					●								
7月5日	日					●								
7月6日	月					●								○
7月7日	火					●								○
7月8日	水					●								○
7月9日	木					●								移
7月10日	金					●								
7月11日	土					●								
7月12日	日					●								
7月13日	月					●							移	
7月14日	火					●							○	
7月15日	水					●							○	
7月16日	木					●							○	
7月17日	金					●							○	
7月18日	土												○	
7月19日	日												○	
7月20日	月												○	
7月21日	火												○	
7月22日	水												○	
7月23日	木												○	
7月24日	金												○	
7月25日	土												○	
7月26日	日												○	
7月27日	月												○	
7月28日	火												○	
7月29日	水												○	
7月30日	木												○	
7月31日	金												○	
8月1日	土												○	
8月2日	日												○	
8月3日	月									○			○	
8月4日	火									○			○	
8月5日	水									○			○	
8月6日	木									○			○	
8月7日	金									○			○	
8月8日	土												○	
8月9日	日												○	
8月10日	月												○	
8月11日	火												○	
8月12日	水												○	
8月13日	木												○	
8月14日	金												○	
8月15日	土												○	
8月16日	日												○	
8月17日	月									○			○	
8月18日	火									○			○	
8月19日	水									○			○	
8月20日	木									○			○	
8月21日	金									○			○	
8月22日	土												○	
8月23日	日												○	
8月24日	月					○				○				
8月25日	火					○				○				
8月26日	水					○				○				
8月27日	木					○				○				
8月28日	金					○								
8月29日	土					移								
8月30日	日					移								
8月31日	月					○				○				

		A・B区分団体											C区分団体	
		I97	I98	I99	I100	I101	I102	I103	I104	I105	I106	I107	K125	K124
		公益社団法人関西二期会	公益財団法人九州交響楽団	京都フィルハーモニー室内合奏団	劇団たんぽぽ	劇団仲間	有限会社 劇団銅鑼	演劇集団遊玄社	谷桃子バレエ団	公益財団法人山本能楽堂	一般社団法人義太夫協会	話芸の三きょうだい～落語・講談・浪曲の世界～	[C区分]京都フィルハーモニー室内合奏団	[C区分]劇団風の子九州
巡回ブロック		I	I	I	I	I	I	I	I	I	I	I	G・I・J	G・H・I
項目		合唱	オーケストラ等	オーケストラ等	児童劇	児童劇	演劇	ミュージカル	バレエ	歌舞伎・能楽	邦楽	演芸	オーケストラ等	児童劇
前日仕込みの有無		なし	なし	なし	なし	なし	あり	なし	なし ※巡回初日の学校のみあり	なし	なし	なし	なし	なし
9月1日	火					○				○				
9月2日	水					○				○				
9月3日	木					○				○				
9月4日	金					○				○				
9月5日	土					移								
9月6日	日					移							移	
9月7日	月					○					○		○	
9月8日	火					○					○		○	
9月9日	水					○					○		○	
9月10日	木					○					○		○	
9月11日	金					○					○		○	
9月12日	土					移								
9月13日	日					移							移	
9月14日	月					○				○	○		○	
9月15日	火					○				○	○		○	
9月16日	水					○				○	○		○	
9月17日	木					○				○	○		○	
9月18日	金					○				○	○		○	
9月19日	土													
9月20日	日													
9月21日	月													
9月22日	火					移								
9月23日	水					○								
9月24日	木					○								
9月25日	金					○								
9月26日	土					移								
9月27日	日					移							移	
9月28日	月					○			移	○	○	●	○	
9月29日	火					○			○	○	○	○	○	
9月30日	水					○			○	○	○	○	○	
10月1日	木					○			○	○	○	○		
10月2日	金					○			○	○	○	○		
10月3日	土					移								
10月4日	日					移							移	移
10月5日	月					○			○	○	○	●	○	○
10月6日	火					○			○	○	○	○	○	○
10月7日	水					○			○	○	○	○	○	○
10月8日	木					○			○	○	○	○	○	○
10月9日	金					○			○	○	○	○	○	○
10月10日	土					移								
10月11日	日			移		移				移				
10月12日	月			○		○			○	○	○	●		○
10月13日	火			○		○			○	○	○	○		○
10月14日	水			○		○			○	○	○	○		○
10月15日	木			○		○			○	○	○	○		移
10月16日	金			○		○			○	○	○	○		
10月17日	土					移								
10月18日	日					移		移						
10月19日	月					○		○	○		○	●		
10月20日	火					○		○	○		○	○		
10月21日	水					○		○	○		○	○		
10月22日	木					○		○	○		○	○		
10月23日	金					○		○	○		○	○		
10月24日	土					移		移						
10月25日	日					移		●					移	
10月26日	月	移				○		○	○		○	●	○	
10月27日	火	○				○		○	○		○	○	○	
10月28日	水	○				○		○	○		○	○	●	
10月29日	木	○				○		○	○		○	○		
10月30日	金	○				○		○	○		○	○		
10月31日	土					移		●						
11月1日	日					移		●						
11月2日	月				移	○		○				●		
11月3日	火				移	移		●						
11月4日	水				○	○		○				●		
11月5日	木				○	○		○				○		
11月6日	金				○	○		○				○		
11月7日	土					●		○						
11月8日	日					●		移					移	
11月9日	月	移			○	●		○				●	○	
11月10日	火	○			○	●		○				○	○	
11月11日	水	○			○	●		○				○	○	
11月12日	木	○			○	●		○				○	○	
11月13日	金	○			○	●		○				○	○	
11月14日	土					●		●						
11月15日	日		移			●		移		移			移	
11月16日	月	移	●		○	●		○		○		●	○	
11月17日	火	○	○		○	●		○		○		○	○	
11月18日	水	○	○		○	●		○		○		○	○	
11月19日	木	○	○		○	●		○		○		○	○	
11月20日	金	○	○		○	●		○		○		○	○	
11月21日	土		○			●								
11月22日	日					●	移							
11月23日	月					●	移			移				
11月24日	火				○	●	○			○		●		
11月25日	水				○	●	○			○		○		
11月26日	木				○	●	○			○		○		
11月27日	金				○	●	○			○		○		
11月28日	土					●								
11月29日	日					●		移					移	移
11月30日	月	移			○	●	○	○				●	○	○

		A・B区分団体										C区分団体	
		I97	I98	I99	I100	I101	I102	I103	I104	I105	I106	I107	K125	K124
		公益社団法人関西二期会	公益財団法人九州交響楽団	京都フィルハーモニー室内合奏団	劇団たんぽぽ	劇団仲間	有限会社　劇団銅鑼	演劇集団遊玄社	谷桃子バレエ団	公益財団法人山本能楽堂	一般社団法人義太夫協会	話芸の三きょうだい～落語・講談・浪曲の世界～	[C区分]京都フィルハーモニー室内合奏団	[C区分]劇団風の子九州
巡回ブロック		I	I	I	I	I	I	I	I	I	I	I	G・I・J	G・H・I
項目		合唱	オーケストラ等	オーケストラ等	児童劇	児童劇	演劇	ミュージカル	バレエ	歌舞伎・能楽	邦楽	演芸	オーケストラ等	児童劇
前日仕込みの有無		なし	なし	なし	なし	なし	あり	なし	なし ※巡回初日の学校のみあり	なし	なし	なし	なし	なし
12月1日	火	○			○	●	○	○				○	○	○
12月2日	水	○			○	●	○	○				○	○	○
12月3日	木	○			○	●	○	○				○	○	○
12月4日	金	○			○	●	○	○				○		○
12月5日	土					●		●						
12月6日	日					●		移						
12月7日	月	移			○	●	○	○			○	●		○
12月8日	火	○			○	●	○	○			○	○		○
12月9日	水	○			○	●	○	○			○	○		○
12月10日	木	○			○	●	○	○			○	○		○
12月11日	金	○			○	●	○	○			○	○		○
12月12日	土					●								移
12月13日	日					●				移				
12月14日	月	移			○	●	○			○		●		
12月15日	火	○			○	●	○			○		○		
12月16日	水	○			○	●	○			○		○		
12月17日	木	○			○	●	○			○		○		
12月18日	金	○			○	●	○			○		○		
12月19日	土				移	●								
12月20日	日				移	●								
12月21日	月	移				●	○					●		
12月22日	火	○				●	○					○		
12月23日	水	○				●	○					○		
12月24日	木	○				●	○					○		
12月25日	金	○				●	移					○		
12月26日	土					●	移							
12月27日	日					●								
12月28日	月					●								
12月29日	火					●								
12月30日	水					●								
12月31日	木					●								
1月1日	金													
1月2日	土													
1月3日	日													
1月4日	月					○								
1月5日	火					○								
1月6日	水					○								
1月7日	木					○								
1月8日	金					●								
1月9日	土													
1月10日	日													
1月11日	月													
1月12日	火					○								
1月13日	水					○								
1月14日	木					○								
1月15日	金					●								
1月16日	土													
1月17日	日													
1月18日	月					○				○	○			
1月19日	火					○				○	○			
1月20日	水					○				○	○			
1月21日	木					○				○	○			
1月22日	金					●				○	○			
1月23日	土													
1月24日	日												移	
1月25日	月					移					○		○	
1月26日	火					○					○		○	
1月27日	水					○					○		○	
1月28日	木					○					○		○	
1月29日	金					●					○		○	
1月30日	土													
1月31日	日													

Ⅵ 令和2年度「文化芸術による子供育成総合事業出演希望調書(実演芸術)

分野，種目（該当する**種目**に○を付してください。）

分野	種目
【音楽】	合唱，オーケストラ等，音楽劇
【演劇】	児童劇，演劇，ミュージカル
【舞踊】	バレエ，現代舞踊
【伝統芸能】	歌舞伎・能楽，人形浄瑠璃，邦楽，邦舞，演芸

申請する区分に，○を付してください。　　A区分のみ　・　A区分とB区分の両方　・　C 区分

複数申請の有無(該当する方に○を付してください。)　　あ り　・　な し

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当する選択肢のいずれかに○を付してください。)
(1) 公演の実施時期が重複しても，複数の企画を実施可能
(2) 公演の実施時期が重複しなければ，複数の企画を実施可能
(3) 提案したいずれか1企画のみ実施可能
(4) その他(　　)

芸術文化団体の概要

ふりがな 制作団体名	こうえきしゃだんほうじん かんさいにきかい 公益社団法人 関西二期会		
代表者職・氏名	理事長 米田 哲二		
制作団体所在地 (最寄り駅・バス停)	〒540-0026 大阪市中央区内本町 2-3-11-601(大阪市営地下鉄谷町線 谷町四丁目駅)		
電話番号	06-6360-4649	ＦＡＸ番号	06-6360-4652
ふりがな 公演団体名	こうえきしゃだんほうじん かんさいにきかい 公益社団法人 関西二期会		
代表者職・氏名	理事長 米田 哲二		
公演団体所在地 (最寄り駅・バス停)	〒540-0026 大阪市中央区内本町 2-3-11-601(大阪市営地下鉄谷町線 谷町四丁目駅)		
制作団体設立年月	昭和 39 年 1 月		

制作団体組織	役　職　員	団体構成員及び加入条件等	
	理事長:米田哲二 副理事長:斉藤(安田)言子・小餅谷哲男 理事:芦原(林)昌子・大谷圭介. 片桐直樹・片桐仁美・児玉祐子・清水光彦・三井ツヤ子・西垣俊朗・畑田弘美・馬場清孝・藤田大輔 理事:駒村純一・小八木規之・澤木茂・原眞一・藤木一郎 監事:薩摩和男 顧問:上野昌也・谷本裕・山岸久朗・山本多通男	正会員:315 名／準会員:225 名／名誉会長 1 名／名誉会員:1 名／研修生:20 名／会友:43 名 合計 605 名 関西二期会オペラ研修生を終了した者の中より推薦された者が会員となる。その他オペラ歌手としての実力とキャリア、社会的音楽活動の実績を有するものがオーディションにより入会する。	
事務体制の担当	(専任)・他の業務と兼任	本事業担当者名	深澤弘安
経理処理等の監査担当の有無	(有)・無	経理責任者名	西嵜陽子
制作団体沿革	1964 年に二期会設立の主旨とその活動に共感を得た京阪神に在住する声楽家達により「二期会関西支部」として発足し 1979 年に「関西二期会」と名称を改める。2011 年に法人格を取得し「一般社団法人関西二期会」となり、さらに 2011 年 12 月 26 日付けで「公益社団法人関西二期会」となった。過去の上演としてよく知られた作品の他に、『アルバート・ヘリング』(関西初演)『真夏の夜の夢』(関西初演)『るつぼ』(日本初演)等意欲的な作品を公演し、大阪文化祭賞3回、大阪府民劇場奨励賞3回、音楽クリティククラブ賞4回、尼崎市民芸術奨励賞、トヨタ音楽賞、三菱信託音楽賞等を受賞。平成 26 年 9 月には定期オペラ公演「魔笛」に第 12 回佐川吉男音楽賞を受賞している。		
学校等における公演実績	平成 23 年 10 月　学校法人　西大和学園　西大和学園中学校・高等学校(オペラ公演) 平成 23 年 3 月　西宮市立西宮浜中学校(ワークショップ) 平成 24 年度　学校公演・指導等の公演を 17 公演開催 平成 24 年 6 月　広島大学附属小学校(音楽鑑賞会) 平成 24 年 11 月大阪市立南中学校(音楽鑑賞会) 平成 24 年 11 月西宮市立西宮浜中学校(音楽鑑賞会) 平成 25 年 5 月池田市立伏尾台小学校(音楽鑑賞会) 平成 25 年 6 月斑鳩町立斑鳩東小学校(音楽鑑賞会) 平成 25 年度　学校公演・指導等の公演を 17 公演開催 平成 26 年度　学校公演・指導等の公演を 19 公演開催 平成 27 年 10 月 20 日　大阪府立大手前高校学校公演 平成 27 年度　学校公演・指導等の公演を 18 公演開催 平成 28 年度　学校公演・指導等の公演を 15 公演開催 平成 29 年 6 月 21 日　上宮太子中学・高等学校(音楽鑑賞会) 平成 29 年度　学校公演・指導等の公演を 16 公演開催 平成 29 年 10 月　西宮市立瓦木中学校(音楽鑑賞会) 平成 30 年度　学校公演・指導等の公演を 15 公演開催		

<table>
<tr><td>特別支援学校における公演実績</td><td colspan="3">平成 14 年 2 月　滋賀県立八幡養護学校（芸術文化ふれあい教室）
平成 19 年 11 月　富山県高岡市立こまどり養護学校（本物の舞台芸術体験事業）
平成 20 年 10 月　門司市立特別支援学校（本物の舞台芸術体験事業）
平成 21 年 10 月　大阪府立視覚支援学校（本物の舞台芸術体験事業）
平成 23 年 10 月　兵庫県立芦屋特別支援学校（次代を担う子どもの文化芸術体験事業）
平成 27 年 10 月　長崎県立鶴南特別支援学校（文化芸術による子供の育成事業）
平成 28 年 11 月　富山県立しらとり支援学校
平成 30 年 10 月　北海道紋別養護学校</td></tr>
<tr><td rowspan="7">参考資料の有無</td><td rowspan="4">A</td><td>申請する演目のチラシパンフレット等</td><td>（有）・　無</td></tr>
<tr><td>申請する演目の DVD または WEB 公開資料</td><td>（有）・　無</td></tr>
<tr><td>※公開資料有の場合 URL</td><td>DVD を提出します。</td></tr>
<tr><td>※閲覧に権限が必要な場合の ID およびパスワード</td><td>ID:
PW:</td></tr>
<tr><td rowspan="3">A の提出が困難な場合</td><td>今回申請する演目に近い演目で公演の様子がわかる内容の DVD または WEB 公開資料</td><td>有　・　無</td></tr>
<tr><td>※公開資料有の場合 URL</td><td></td></tr>
<tr><td>※閲覧に権限が必要な場合の ID およびパスワード</td><td>ID:
PW:</td></tr>
</table>

公 演 ・ ワークショップの内 容　　**【公演団体名　公益社団法人関西二期会 】**

対　　象	小学生(低学年 ・ 中学年 ・ 高学年) ・ 中 学 生
企画名	関西二期会合唱公演
本公演演目 原作／作曲 脚　　本 演出／振付	●オープニング 威風堂々 ●四季を彩る日本の歌 花～春の小川～浜辺の歌～我は海の子～村祭り～小さい秋みつけた～冬景色～雪～ふるさと ●スキャットで楽しむ声の魅力 トランペット吹きの休日 ●ア・カペラの世界 男声:ソーラン節 女声:ほたるこい ●みんなの合唱曲 小学校:君をのせて/勇気 100% 中学校:君をのせて/ジュピター ●心と心を紡ぐ歌 しあわせ運べるように～花は咲く ―休憩 10 分－ ●楽しい二重唱 猫の二重唱 ●オペラの名曲 カルメン よりハバネラ/カルメン より 闘牛士の歌/椿姫 より 乾杯の歌 ●みんなで歌いましょう ワークショップの成果を発表(各学校毎の提案曲) ●校歌 校歌斉唱／混声四部合唱による校歌 ●アンコール すべての山に登れ 公演時間(　　110　分)
著作権	制作団体が所有：　　制作団体以外が所有する事項が含まれる：○　　(制作団体以外が所有する事項が含まれる場合)許諾の有無：○
演　目　概　要	公益社団法人関西二期会所属のソリストとして活躍をしているオペラ歌手 24 名を揃えた「関西二期会合唱団」は、大阪交響楽団などオーケストラの定期公演や放送局主催の公演等でも活躍しています。 日本の唱歌や世界の名曲、スキャット、音楽の授業で歌う合唱曲の模範演奏等、幅広いジャンルをプログラムに組み込み、児童・生徒に音楽の楽しさを伝えます。またオペラの名曲を演技と臨場感のある音楽で披露し、いつもの体育館ではない劇場でオペラを鑑賞しているような感覚に包まれるような体験をしてもらいます。最後には、合唱曲や校歌を一緒に歌い、児童・生徒のみなさんとオペラ歌手が交流できる内容になっています。

演目選択理由	四季を彩る日本の歌では、季節が移り行く日本ならではの曲、後世に引き継いで行って欲しい日本の美しい曲を選んでいます。また CM や授業などで比較的取り上げられることの多い演目を選択することで、児童・生徒の興味関心を引くとともに、クラシック音楽（声楽）を身近に感じてもらいたいと考えています。混声四部合唱による校歌の演奏や、課題曲の模範演奏を通して、児童・生徒が今後よりよい発声方法や姿勢で歌うことができるようにすることも狙いの一つとしています。 その他に、みんなで歌うことを通して子どもたちに大切な想い出や仲間、故郷を想う気持ちを深めて頂きたいと考えてプログラムを組んでおり、歌手と生徒みんなで歌う共演曲や校歌の歌唱は毎年皆さんに楽しんでいただいております。		
児童・生徒の共演，参加又は体験の形態	体育館のフロア上にひな段を組んで頂き、できるだけ児童・生徒に近い形で演奏をします。オペラの名曲の部分では、歌手が演技をしながら児童・生徒の中に入って歌うことで、親しみを感じさせる工夫もします。 また、事前に学校側に合唱曲 1 曲を選んで頂き、本公演で歌手と共演します。一緒に演奏会を創り上げているという意識と、大勢で声を重ねた時に生まれる一体感や感動を感じて頂きます。		
出演者	指揮：柴田真郁　ピアノ：今岡淑子 合唱団 ソプラノ：尾崎比佐子、森井美貴、福永修子、四方典子、三村浩美、森川華世 アルト：井上美和、永富真紀子、西村薫、谷田奈央、安本佳苗、名島嘉津栄 テノール：相原敏明、竹内直紀、山中雅博、越野保宏、八百川敏幸、山本欽也 バリトン：大谷圭介、萩原寛明、油井宏隆、橘茂、神田行雄、黒田将揮（以上予定の為、同等の音楽家と変更することがあります。）		
公演出演予定者数 （1公演あたり）	出演者: 26 名 スタッフ: 1 名 合　計: 27 名	機材等 運搬方法	積載量　　t 車長　　m 台数　　台

【公演団体名　公益社団法人関西二期会　】

<table>
<tr><td>公演に当たっての会場条件</td><td colspan="2">実施条件等確認書①をご確認ください。</td></tr>
<tr><td>会場設営の所要時間(タイムスケジュール)の目安</td><td colspan="2">前日仕込み(　有　・　(無)　)　会場設営の所要時間(　　0.1　　時間程度　)
<table>
<tr><th>到着</th><th>仕込み</th><th>本公演</th><th>内休憩</th><th>撤去</th><th>退出</th></tr>
<tr><td>10 時 20 分</td><td>10 時半～12 時</td><td>13 時半～15 時 20 分</td><td>10 分</td><td>10 分</td><td>15 時 20 分～16 時</td></tr>
</table>
※本公演時間の目安は、午後1時乃至1時 30 分からの概ね2時限分程度です。
→低学年の帰宅時間の兼ね合いで学校と相談の上、本公演を2･3校時に行うことがあります。その場合は、8 時半ごろ学校に到着して午前中に公演後、給食時間に退出いたします。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">児童・生徒の参加可能人数</td><td>ワークショップ</td><td>全校生徒対象</td></tr>
<tr><td>本公演</td><td>全校生徒対象</td></tr>
<tr><td>ワークショップ実施形態及び内容</td><td colspan="2">オープニングでは、誰もが知っている耳馴染みの曲（小学校は「さんぽ」・中学校は「花」）を 4 人で歌唱します。メンバーの紹介、綺麗な声を出す方法（姿勢や口の開け方、発声など）を学んだ後で、本公演で歌う課題曲の歌唱指導を行います。この課題曲は予め学校と相談をして曲目を決定します。
ワークショップ指導者によるミニコンサートコーナーを設け、プロのオペラ歌手のソロの声を聴きいてもらい、インタビューコーナーでは、児童・生徒からの質問に答えたりします。</td></tr>
<tr><td>ワークショップ実施形態の意図</td><td colspan="2">声の魅力を感じてもらうために、メンバー紹介の際にそれぞれの声域で挨拶を致します。その後、児童・生徒へ声を出す方法の指導、共演をする本公演の課題曲の指導をします。
プロの歌声を聞き、指導を実際に受けていただくことで、児童・生徒の参加意識を高めるとともに、生徒たちの今後の合唱や音楽活動へ生かしていただけるようなワークショップを行います。後半は、ミニコンサートとし、耳馴染みのあるオペラの名曲を本物のオペラ歌手の声で聞いていただき、音楽の楽しさを体感してもらえるような内容になっています。</td></tr>
<tr><td>特別支援学校での実施における工夫点</td><td colspan="2">事前に各特別支援学校の先生と綿密に打ち合わせを行い、生徒・児童が一緒に参加でき、なおかつ各学校のそれぞれの実情に対応可能なプログラムを考えます。また、生徒・児童の状況に合わせて、開催時間の短縮、曲目の変更等、個別に調整を行います。</td></tr>
<tr><td>実施可能時期</td><td colspan="2">実施可能時期スケジュール表をご確認ください。</td></tr>
</table>

【令和2年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－実施条件等確認書①】

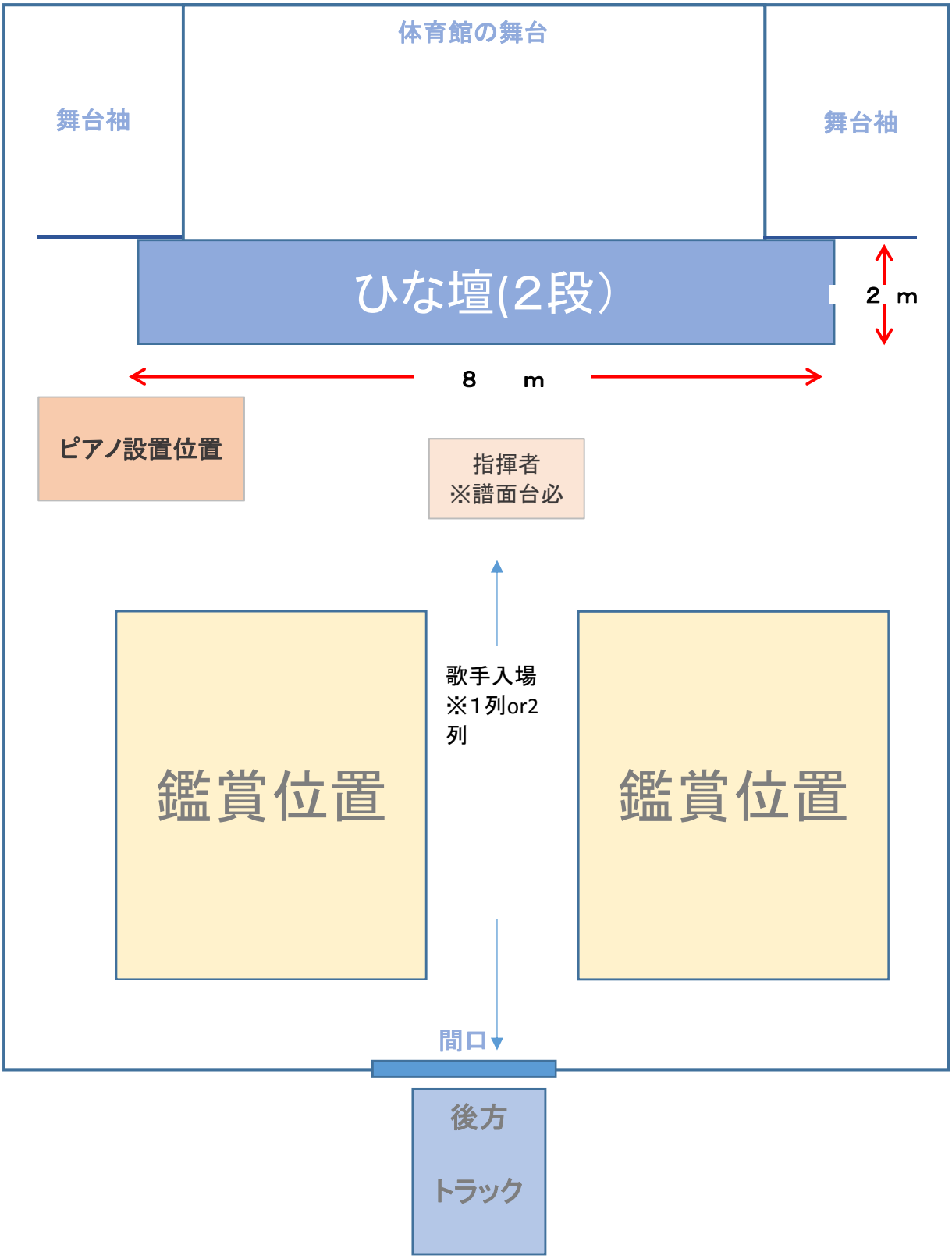
ID	I97	分野	音楽	種目	合唱	ブロック	I	区分	A区分
公演団体名	公益社団法人　関西二期会				制作団体名	公益社団法人　関西二期会			

① 会場条件等についての確認

項目	応相談	必要条件等					
控室について	可	必要数＊	2室	条件	男性用と女性用の2室を希望いたします。①中で着替えをしますので、カーテンやついたて、画用紙等で目隠しが出来る部屋②公演中・リハーサル中は鍵をかけますので、鍵のかかる部屋、また鍵の用意お願い致します。学校に滞在中はこちらで鍵の管理をします。③控室は男女比率がほぼ半分で1部屋に13～14名が使用出来、ドレスやタキシードと荷物を置ける広さが必要となります。 また、衣裳かけを部屋に希望いたします。控室で衣裳（タキシード・ドレス）を吊るための物干し竿（代用物でも可）などをお願いします。窓枠や壁やついたてなどにかけられるようならばそれでも大丈夫です。物干し竿がかけられない場合は移動用の黒板やホワイトボードなどでも代用できます。※ロープは弛みますので避けていただきますようお願い致します。（ドレスは相当の重さがあるためです）。 ドレスを着用の際に使用しますので鏡を1枚控室にお願いします。			
搬入について	―	来校する車両の大きさと台数＊			大型バス　1台		
	―	来校する車両の内，横づけが必要な車両の大きさ			―		
	―	搬入車両の横づけの要否＊			不要		
	―	横づけができない場合の搬入可能距離＊			―		
	―	搬入経路の最低条件			―		
	／	理由			―		
	―	設置階の制限＊			―		
	―	搬入間口について 単位：メートル	幅	制限なし	高さ	制限なし	
WSについて	可	参加可能人数		合同開催校含め、全校生徒ご参加ください。			
	可	学年の指定の有無＊		なし	指定学年＊	なし	
	可	所要時間の目安 単位：分		100分程度（休憩含む）※本公演は110分です。			

本公演について		会場設営・本公演・メインプログラムの所要時間	※「出演希望調書」内「会場設営の所要時間(タイムスケジュール)の目安をご参照ください。					
	可	鑑賞可能人数	全校生徒可。体育館収容可能人数まで。					
	可	舞台設置場所＊	フロア					
	可	舞台設置に必要な広さ単位：メートル	幅	8m程度	奥行	2m程度	高さ	指定なし
	可	体育館の舞台を使用する場合の条件	舞台袖スペースの確保＊	要※そでがあれば演出上の待機場所にしたい				
	可		舞台袖スペースの条件＊	袖に荷物がない状態				
	―		緞帳＊	不要		バトン＊	不要	
	―	遮光(暗幕等)の要否＊		不要	理由	―		
	可	ピアノの調律・移動の要否	指定位置へのピアノの移動＊		要	※指定位置は会場設置図面にて御確認ください。		
	可		ピアノの事前調律＊	要				
	可	フロアを使用する場合の条件	バスケットゴールの設置状況＊	格納されていれば可				
	―	公演に必要な電源容量	―	※主幹電源の必要容量				
	その他特記事項							
		・ワークショップでご用意いただくものは、ピアノ、譜面台1台、ワイヤレスマイク2本（MCと先生用）						
		控室1室（人数は計6名です）です。						
		・本公演でご用意いただくものは、ひな壇、ピアノ、譜面台2台、ワイヤレスマイク2本（MCと先生用）						
		控室2室（人数は計27名です）です。						

会場図面(表記単位:メートル)



搬入間口について	幅	指定なし	高さ	指定なし
搬入車両の横づけの要否		不要		
横づけができない場合の搬入可能距離		ー		

※搬入に関する条件の詳細については、図面上の表にて御確認ください。

Ⅵ 令和2年度「文化芸術による子供育成総合事業」出演希望調書(実演芸術)

分野, 種目(該当する**種目**に○を付してください。)

分野	種目
【音　　楽】	合唱, (オーケストラ等), 音楽劇
【演　　劇】	児童劇, 演劇, ミュージカル
【舞　　踊】	バレエ, 現代舞踊
【伝統芸能】	歌舞伎・能楽, 人形浄瑠璃, 邦楽, 邦舞, 演芸

申請する区分に, ○を付してください。　(A区分のみ)　・　A区分とB区分の両方　・　C 区分

複数申請の有無(該当する方に○を付してください。)　　あ り　・　(な し)

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当する選択肢のいずれかに○を付してください。)
(1) 公演の実施時期が重複しても, 複数の企画を実施可能
(2) 公演の実施時期が重複しなければ, 複数の企画を実施可能
(3) 提案したいずれか1企画のみ実施可能
(4) その他(　　)

芸術文化団体の概要

ふりがな 制作団体名	こうえきざいだんほうじん　きゅうしゅうこうきょうがくだん **公益財団法人 九州交響楽団**		
代表者職・氏名	**理事長　櫻井 文夫**		
制作団体所在地 (最寄り駅・バス停)	**〒814-0133　福岡市城南区七隈一丁目 11 番 50 号　末永文化センター内** **(最寄バス停:西鉄バス荒江四角停)**		
電話番号	092-822-8855	ＦＡＸ番号	092-822-8833
ふりがな 公演団体名	こうえきざいだんほうじん　きゅうしゅうこうきょうがくだん **公益財団法人 九州交響楽団**		
代表者職・氏名	**理事長　櫻井 文夫**		
公演団体所在地 (最寄り駅・バス停)	**〒814-0133　福岡市城南区七隈一丁目 11 番 50 号　末永文化センター内** **(最寄バス停:西鉄バス荒江四角停)**		
制作団体設立年月	1953 年(昭和 28)年 10 月		
制作団体組織	役　職　員 **理 事 長　櫻井文夫** **副理事長　川崎隆生　ほか 2 名** **専務理事　柴田耕志** **ほか理事 3 名、監事 2 名** **評 議 員 13 名**	団体構成員及び加入条件等 **楽 団 員　61名** **事務局員　20名**	
事務体制の担当	(専任)　・　他の業務と兼任	本事業担当者名	**宮坂奈津子**
経理処理等の監査担当の有無	(有)　・　無	経理責任者名	**事務局長　野下直樹**

<table>
<tr><td>制作団体沿革</td><td colspan="3">1953年創立。1973年に改組、のち財団法人化を経て2013年から「公益財団法人九州交響楽団」となり、九州一円の常設オーケストラとしてアジアの交流拠点都市“福岡”に本拠地を置く。
初代常任指揮者・石丸寛(現・永久名誉音楽監督)。その後、森正、安永武一郎(現・永久名誉指揮者)、フォルカー・レニッケ、黒岩英臣、小泉和裕、山下一史、大山平一郎、秋山和慶が歴任し、2013年からは小泉和裕が音楽監督を務める。また桂冠指揮者に秋山和慶、名誉客演指揮者に小林研一郎を擁する。
アクロス福岡での定期演奏会をはじめ、天神でクラシック、名曲・午後のオーケストラの自主公演の他、中学生の未来に贈るコンサート、青少年向けのコンサート、オペラやバレエ、合唱との共演、ポップス、映画音楽、ファミリーコンサートなど福岡県を中心に九州各地で年間約130回の演奏活動を行っている。
2006年から「九響シリーズ」9タイトル、小泉和裕が音楽監督就任後「ベルリオーズ／幻想交響曲」、「ベートーヴェン／交響曲第9番」、「マーラー／交響曲第8番《千人の交響曲》」のCDを発売。
これまでに、福岡市文化賞、西日本文化賞、文部大臣地域文化功労賞、福岡県文化賞を受賞。</td></tr>
<tr><td>学校等における公演実績</td><td colspan="3"><u>令和元年度</u>
文化庁「文化芸術による子供育成総合事業」－巡回公演事業－:9公演
（うち、3公演は実施済み）
<u>平成30年度</u>
文化庁「文化芸術による子供の育成事業」－巡回公演事業－ : 9公演
(公財)福岡県市町村振興協会 「中学生の未来に贈るコンサート」: 51公演
福岡県教育委員会 「舞台芸術感動体験事業」: 2公演
(公財)佐世保地域文化事業財団 「子どものための音楽鑑賞体験教室」: 2公演
<u>平成29年度</u>
(公財)福岡県市町村振興協会 「中学生の未来に贈るコンサート」: 30公演
福岡県教育委員会 「舞台芸術感動体験事業」: 2公演
(公財)佐世保地域文化事業財団 「子どものための音楽鑑賞体験教室」: 2公演
(公財)直方文化青少年協会 ユメニティのおがた「卒業コンサート」: 1公演
<u>平成28年度</u>
(公財)福岡県市町村振興協会 「中学生の未来に贈るコンサート」: 42公演</td></tr>
<tr><td>特別支援学校における公演実績</td><td colspan="3">宮崎県立みなみのかぜ支援学校　令和元年６月２１日（金）
文化庁「文化芸術による子供育成総合事業」－巡回公演事業－
福岡県立古賀特別支援学校　平成３０年３月１３日（火）
（公財） 福岡県市町村振興協会
「中学生の未来に贈るコンサート フルートと弦楽四重奏演奏」</td></tr>
<tr><td rowspan="7">参考資料の有無</td><td rowspan="4">A</td><td>申請する演目のチラシパンフレット等</td><td>有 ・ (無)</td></tr>
<tr><td>申請する演目の DVD または WEB 公開資料</td><td>(有) ・ 無</td></tr>
<tr><td>※公開資料有の場合 URL</td><td>後日下記 URL で公開します</td></tr>
<tr><td>※閲覧に権限が必要な場合の ID および
パスワード</td><td>I D:
PW:</td></tr>
<tr><td rowspan="3">A の提出が困難な場合</td><td>今回申請する演目に近い演目で公演の様子がわかる内容の DVD または WEB 公開資料</td><td>(有) ・ 無</td></tr>
<tr><td>※公開資料有の場合 URL</td><td>http://www.kyukyo.or.jp/movie/index.php</td></tr>
<tr><td>※閲覧に権限が必要な場合の ID および
パスワード</td><td>I D:
PW:</td></tr>
</table>

公 演 ・ ワークショップの内 容　　【公演団体名：公益財団法人 九州交響楽団】

対　象	小学生（ 低学年 ・ 中学年 ・ 高学年 ）　・　中 学 生
企画名	**踊る！大管弦楽団　～踊りを通して世界の文化に触れよう～**
本公演演目 原作／作曲 脚本 演出／振付	**【小学校向けプログラム】** 1．ロウ／ミュージカル「マイ・フェア・レディ」より 踊り明かそう 2．ブラームス／ハンガリー舞曲 第5番 3．フォークダンスメドレー『楽器紹介』 4．モーツァルト／「アイネ・クライネ・ナハトムジーク」より 第3楽章（メヌエット） 5．外山雄三／管弦楽のためのラプソディーより「八木節」（盆踊り） 6．オーケストラと歌おう ♪ ⅰポーランド民謡／踊ろう楽しいポーレチケ（作詞＝小林幹治） ⅱ織田哲郎／おどるポンポコリン（作詞＝さくらももこ） 7．オーケストラと踊ろう ♪ 服部正／ラジオ体操第一 8．オーケストラと演奏しよう『太鼓の名人』 ♪ ヴェルディ／「レクイエム」より 怒りの日 の一部分 ～・～・～・～・～・～・休憩～・～・～・～・～・～・ 9．ファリャ／バレエ音楽「三角帽子」 1）序奏 2）粉屋の女房 3）粉屋の女房の踊り（ファンダンゴ） 4）粉屋の踊り（ファルーカ） 5）市長の踊り 6）近所の人々の踊り（セギディリア） 7）終幕の踊り（ホタ） ♪＝児童の共演・参加曲目

本公演演目 原作／作曲 脚本 演出／振付	**【中学校向けプログラム】** 1．ロウ／ミュージカル「マイ・フェア・レディ」より 踊り明かそう 2．J.シュトラウスⅡ／ワルツ「春の声」 3．フォークダンスメドレー『楽器紹介』 4．モーツァルト／「アイネ・クライネ・ナハトムジーク」より 第3楽章（メヌエット） 5．外山雄三／管弦楽のためのラプソディーより「八木節」（盆踊り） 6．指揮者体験コーナー ♪ ブラームス／ハンガリー舞曲 第5番 の一部分 7．オーケストラと踊ろう ♪ 服部正／ラジオ体操第一 8．オーケストラと演奏しよう『太鼓の名人』 ♪ ヴェルディ／「レクイエム」より 怒りの日 の一部分 ～・～・～・～・～・～・休憩～・～・～・～・～・～・ 9．ファリャ／バレエ音楽「三角帽子」 1）序奏 2）粉屋の女房 3）粉屋の女房の踊り（ファンダンゴ） 4）粉屋の踊り（ファルーカ） 5）市長の踊り 6）近所の人々の踊り（セギディリア） 7）終幕の踊り（ホタ） ♪＝生徒の共演・参加曲目 公演時間（ 小学校：90分、中学校：100分 ）

著作権		制作団体が所有	○	制作団体以外が所有する事項が含まれる	○	（制作団体以外が所有する事項が含まれる場合） 許諾の有無

演　目　概　要	**【小学校向けプログラム】** 1．1964年に公開されたミュージカル映画のスタンダードナンバー 2．ブラームスのハンガリー舞曲集の中で最も有名な曲 3．「オクラホマミキサー（アメリカ民謡）」、「ジェンカ（フィンランド民謡）」、「マイムマイム（イスラエル民謡）」を使って当楽団が独自に作成した楽器紹介用作品 4．第1楽章はモーツァルトの作品の中で最も知られているが、第3楽章もメヌエットの代表作 5．群馬県に伝わる民謡を用いた外山雄三の代表作 6．ほとんどの児童が歌うことのできる歌 7．ラジオ体操第一を当楽団が独自に編曲 8．宗教曲ではあるが、BGMとしてテレビで多く使われ、またゲーム音楽としても広く知られる作品、共演用に当楽団が独自に編曲 9．管楽器がソリスティックな妙技を披露する、色彩感豊かなバレエ音楽の名作 **【中学校向けプログラム】** 1．1964年に公開されたミュージカル映画のスタンダードナンバー 2．ウィンナーワルツの金字塔 3．「オクラホマミキサー（アメリカ民謡）」、「ジェンカ（フィンランド民謡）」、「マイムマイム（イスラエル民謡）」を使って当楽団が独自に作成した楽器紹介用作品 4．第1楽章はモーツァルトの作品の中で最も知られているが、第3楽章もメヌエットの代表作 5．群馬県に伝わる民謡を用いた外山雄三の代表作 6．ブラームスのハンガリー舞曲集の中で最も有名な曲 7．ラジオ体操第一を当楽団が独自に編曲 8．宗教曲ではあるが、BGMとしてテレビで多く使われ、またゲーム音楽としても広く知られる作品、共演用に当楽団が独自に編曲 9．管楽器がソリスティックな妙技を披露する、色彩感豊かなバレエ音楽の名作

演目選択理由	企画名「 **踊る！大管弦楽団　～踊りを通して世界の文化に触れよう～** 」 令和2年（2020年）はオリンピックイヤーであり、世界中から多くの選手や観客が訪日する。そのような年に当楽団は本事業のテーマとして「踊り」を選んだ。「踊り」は、様々な民族の生活や宗教、気候風土に深く根差しており、それに付随する音楽を紹介することは、児童生徒に視野を広げ国際感覚を身に付けさせる良い機会となる。 **【小学校向けプログラム】** 1．半世紀以上も前の作品であるにもかかわらず聴く人に高揚感を与える作品で、児童生徒の関心を惹きつける。 2．過去には「ジプシー」、現在は「ロマ」と呼ばれる人々の独特な音楽を紹介する。 3．昭和期に日本で流行したフォークダンスを通じて時代感を味わってもらうとともに、オーケストラで使う楽器を紹介する。 4．ヨーロッパの貴族社会の雰囲気を想像させる。 5．外山雄三による編曲で活気あふれる演奏を楽しませる。 6．オーケストラの伴奏で歌うことで、音楽の喜びや生演奏の迫力を体感させる。 7．オーケストラの演奏で体操をさせ、体の動きと音楽が連動していることを体験させる。 8．児童生徒との共演用に当楽団が独自に編曲。「太鼓」を二つのパートに分け、ワークショップでは共演のための指導を行う。 本公演までの練習ではチームワークの重要性や協調性、忍耐力を学び、本公演では、オーケストラと共演する感動を味わってもらう。 9．20世紀初頭の作品でありながら、古典的な舞曲のスタイルが用いられ色彩感が豊である。登場人物の性格を踊りの音楽から想像するという知的好奇心を児童生徒に持たせたい。 **【中学校向けプログラム】** 2．曲自体が有名であることと、序奏部からワルツのテンポであり、生徒に理解させやすい。 6．単純な2拍子の曲ではあるが、テンポが移り変わる難しさがある。 ワークショップでは、「共演お手本DVD」を観ながら曲の最後の部分の指揮指導を行い、本公演では、本物のオーケストラの指揮体験をさせコミュニケーションの重要性を教える。 ※その他は、小学校向けプログラムと共通。
児童・生徒の共演参加又は体験の形態	**【小学校向けプログラム】** 6．全員参加。 7．全員参加。 8．ワークショップ参加者全員に指導し、本公演ではその中から学校により事前に選抜した数名が参加。 **【中学校向けプログラム】** 6．ワークショップ参加者全員に指導し、本公演ではその中から学校により事前に選抜した数名が参加。 7．全員参加。 8．ワークショップ参加者全員に指導し、本公演ではその中から学校により事前に選抜した数名が参加。

<table>
<tr><td>出　演　者</td><td colspan="3">・指　揮　者 ： 梅田 俊明
・司　会　者 ： 高月 晶子（予定）
・オーケストラ ： 九州交響楽団
フルート：3名、オーボエ：3名
クラリネット：2名、ファゴット：2名
ホルン：4名、トランペット：3名
トロンボーン：3名、テューバ：1名
ティンパニ：1名、打楽器：5名
ハープ：1名、ピアノ：1名
第一ヴァイオリン：12名
第二ヴァイオリン：10名
ヴィオラ：8名、チェロ：8名
コントラバス：6名</td></tr>
<tr><td>公演出演予定者数
（1公演あたり）</td><td>出　演　者 ： 75名
スタッフ ： 8名
合　　計 ： 83名</td><td>機 材 等
運搬方法</td><td>積載量 ： 4t
車　長 ： 8.5m
台　数 ： 1台</td></tr>
</table>

【公演団体名:公益財団法人九州交響楽団】

<table>
<tr><td>公演に当たっての
会 場 条 件</td><td colspan="2">実施条件等確認書①をご確認ください。</td></tr>
<tr><td>会場設営の所要時間
(ﾀｲﾑｽｹｼﾞｭｰﾙ)の目安</td><td colspan="2">前日仕込み(有 ・ (無)) 会場設営の所要時間(1.5時間程度)
<table><tr><td>到着</td><td>仕込み</td><td>本公演</td><td>内休憩</td><td>撤去</td><td>退出</td></tr><tr><td>9 時</td><td>9 時～10 時半</td><td>14 時～15 時半</td><td>15 分</td><td>15 時半～16 時半</td><td>17 時</td></tr></table>※本公演時間の目安は、14 時乃至 13 時 30 分からの概ね 2 時限分程度です。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">児 童・生 徒 の
参 加 可 能 人 数</td><td>ワークショップ</td><td>～ 90名(1学年)程度</td></tr>
<tr><td>本　公　演</td><td>～ 400名</td></tr>
<tr><td>ワークショップ
実施形態及び
内容</td><td colspan="2">・鑑賞指導・・・様々な国の舞曲を演奏して聴かせ、それぞれの旋律(固有の音階)や拍子、リズムについて説明する。
・実技指導・・・二つのパートに編曲した「太鼓」でオーケストラと共演する指導を行う。また、中学校では「共演お手本DVD」を観ながら指揮指導を行う。</td></tr>
<tr><td>ワークショップ
実施形態の意図</td><td colspan="2">・本公演での児童生徒参加プログラムの円滑な理解促進に役立てる。
・実技指導(「太鼓」)では教材とする楽譜を難易度順に色分けして段階を踏んで取り組ませ、達成感を感じさせるとともに、合奏での参加であることからチームワークの重要性、協調性を学ばせる。
・当楽団が独自に製作した「共演お手本DVD」を実施校へ貸与し、ワークショップから本公演までの間に共演のための練習をしてもらうことにより、本公演を単なる音楽鑑賞会に終わらせないようにする。</td></tr>
<tr><td>特別支援学校での
実施における工夫点</td><td colspan="2">ワークショップ実施前に本事業企画管理者と事務局担当者で実施校を訪問し、児童生徒の状況を把握する。その上で演奏曲目の変更(短縮)も視野に入れる。
また、児童生徒の参加プログラムに無理がないか、どの様な形であれば参加が可能かなど、児童生徒の状況や学校の要望に沿った公演が実施できるよう工夫する。(令和元年度は実施済み)</td></tr>
<tr><td>実施可能時期</td><td colspan="2">実施可能時期スケジュール表をご確認ください。</td></tr>
</table>

公益財団法人
九州交響楽団

令和２年度「文化芸術による子供育成総合事業」－巡回公演事業－

制作団体：公益財団法人九州交響楽団

出演予定メンバー

指揮者 *Conductors*

音楽監督
小泉和裕
Kazuhiro Koizumi

桂冠指揮者
秋山和慶
Kazuyoshi Akiyama

名誉客演指揮者
小林研一郎
Ken-ichiro Kobayashi

永久名誉音楽監督
石丸　寛
Hiroshi Ishimaru

永久名誉指揮者
安永武一郎
Takeichiro Yasunaga

コンサートマスター *Concertmasters*

桂冠コンサートマスター
豊嶋泰嗣
Yasushi Toyoshima

ソロコンサートマスター
扇谷泰朋
Yasutomo Ogitani

コンサートマスター
西本幸弘
Yukihiro Nishimoto

アソシエートコンサートマスター
原　雅道
Masamichi Hara

第1ヴァイオリン *1st Violins*

荒田和豊
Kazutoyo Arata

○大山佳織
Kaori Oyama

小田葉月
Hazuki Oda

木村紀子
Noriko Kimura

齋藤羽奈子
Hanako Saito

樽見かおり
Kaori Tarumi

葉石真衣
Mai Haishi

本村朋子
Tomoko Motomura

李　　軍
Jun Li

第2ヴァイオリン *2nd Violins*

荒川友美子
Yumiko Arakawa

小野本福子
Fukuko Onomoto

榊　裕子
Yuko Sakaki

貞国みどり
Midori Sadakuni

佐藤仁美
Hitomi Sato

佐藤美和
Miwa Sato

永田由美
Yumi Nagata

中村力也
Rikiya Nakamura

南　奈菜
Nana Minami

ヴィオラ *Violas*

黒川律子
Ritsuko Kurokawa

猿渡友美恵
Yumie Saruwatari

田邉元和
Motokazu Tanabe

○細川　泉
Izumi Hosokawa

矢島千愛
Chiai Yajima

ブライアン・ルー
Bryan Lew

チェロ *Cellos*

飯塚雅史
Masafumi Iitsuka

石原まり
Mari Ishihara

重松恵子
Keiko Shigematsu

清水潔子
Kiyoko Shimizu

鈴木　淳
Atsushi Suzuki

宮田浩久
Hirohisa Miyata

○山本直輝
Naoki Yamamoto

コントラバス *Contrabasses*

浅野宏樹
Hiroki Asano

井上貴裕
Takahiro Inoue

竹本規矩也
Kikuya Takemoto

山本和彦
Kazuhiko Yamamoto

フルート *Flutes*

○大村友樹
Yuki Omura

山下浩二
Koji Yamashita

オーボエ *Oboes*

小林　牧
Maki Kobayashi

○佐藤太一
Taichi Sato

徳山奈美
Nami Tokuyama

クラリネット *Clarinets*

荒木こずえ
Kozue Araki

松本　努
Tsutomu Matsumoto

ファゴット *Bassoons*

草野雅行
Masayuki Kusano

埜口浩之
Hiroyuki Noguchi

ホルン *Horns*

岡本秀樹
Hideki Okamoto

木村睦美
Mutsumi Kimura

佐々木悠子
Yuko Sasaki

瀬尾達也
Tatsuya Seo

林　伸行
Nobuyuki Hayashi

トランペット *Trumpets*

小野本明弘
Akihiro Onomoto

八馬俊也
Toshiya Hachiuma

○松居洋輔
Yosuke Matsui

本村孝二
Koji Motomura

トロンボーン *Trombones*

○髙井郁花
Ayaka Takai

山下秀樹
Hideki Yamashita

バス・トロンボーン *Bass Trombone*

古荘恭英
Takahide Furusho

テューバ *Tuba*

鈴木浩二
Koji Suzuki

ティンパニ&パーカッション *Timpani & Percussion*

黒川英之
Hideyuki Kurokawa

関　修一郎
Shuichiro Seki

長谷川真弓
Mayumi Hasegawa

○森　洋太
Yota Mori

インスペクター
田邉元和
黒川英之

ステージマネージャー
木口龍之介

ライブラリアン
柳堂涼香

2019年8月5日現在

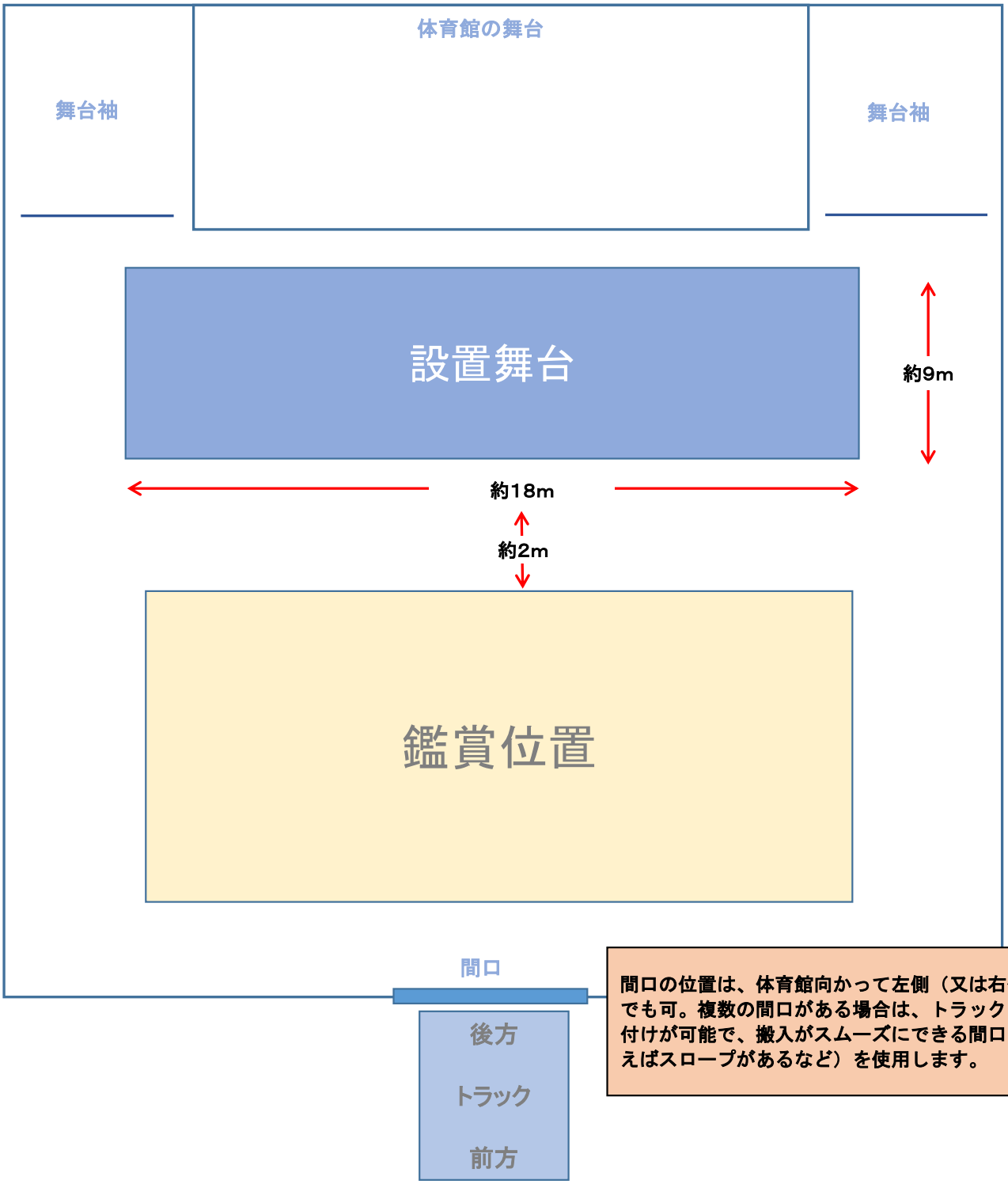
【令和2年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－実施条件等確認書①】

ID	I98	分野	音楽	種目	オーケストラ等	ブロック	I	区分	A区分
公演団体名	公益財団法人　九州交響楽団				制作団体名	公益財団法人　九州交響楽団			

① 会場条件等についての確認

項目	応相談	必要条件等							
控室について	可	必要数＊	4室	条件	指揮者、司会者、男性、女性の着替え用であるため、カーテンやブラインドがある部屋が希望です。カーテンやブラインドがなければ、模造紙等で目隠しをお願いします。 3部屋（指揮者、男性、女性）は必須です。				
搬入について	不可	来校する車両の大きさと台数＊			4tトラック　1台		大型バス　3台		
	不可	来校する車両の内，横づけが必要な車両の大きさ			4tトラック（車長：8.5メートル）				
	可	搬入車両の横づけの要否＊			要				
	可	横づけができない場合の搬入可能距離＊			30m以内				
	可	搬入経路の最低条件			・出来る限り階段のない経路（スロープなど）が望ましい。 ・屋根のある経路が望ましい。 ・舗装された経路が望ましい。				
		理由			楽器、ひな壇などを搬入するため。				
	可	設置階の制限＊			エレベーターの設置等があれば2階以上も可				
	可	搬入間口について 単位：メートル	幅	2メートル		高さ	2メートル		
WSについて	可	参加可能人数		1．鑑賞指導…参加人数の制限なし。 2．実技指導…小学校、中学校とも少人数が望ましい。 ※「出演希望調書」内「ワークショップ実施形態及び内容」をご参照ください。					
	可	学年の指定の有無＊		なし	指定学年＊		なし		
	可	所要時間の目安 単位：分		小学校…前半45分＋後半45分（計90分） 中学校…前半50分＋後半50分（計100分） ※前半と後半の間に休憩（10～15分）あり。					
本公演について		会場設営・本公演・メインプログラムの所要時間		※「出演希望調書」内「会場設営の所要時間（タイムスケジュール）の目安をご参照ください。 会場設営：90分、リハーサル：90分、本公演：90分、撤収90分					
	可	鑑賞可能人数		ステージとフロアを舞台部分として使用できれば、鑑賞人数に制限はありません。 鑑賞スペース最大まで鑑賞可能です。					
	可	舞台設置場所＊		ステージ上・フロアの両方					
	可	舞台設置に必要な広さ 単位：メートル	幅	18メートル	奥行	9メートル （ステージ不含）	高さ	制限なし	
	可	体育館の舞台を使用する場合の条件	舞台袖スペースの確保＊			要			
	可		舞台袖スペースの条件＊			備品があっても可。長デーブルを2～3台置くスペースがあればなお可。			
	―		緞帳＊	不要		バトン＊	不要		
	可	遮光(暗幕等)の要否＊		要	理由	舞台設置スペースに陽が差し込む場合に使用します。			
	―	ピアノの調律・移動の要否	指定位置へのピアノの移動＊	不要		※指定位置は会場設置図面にて御確認ください。			
	―		ピアノの事前調律＊	不要					
	可	フロアを使用する場合の条件	バスケットゴールの設置状況＊	格納されていれば可					
	―	公演に必要な電源容量		不要		※主幹電源の必要容量			
	その他特記事項								
	可	ワイヤレスマイク：3本、パイプ椅子：90脚、長机：12台							
	可	演奏可能な室温を保てるような対策（夏場：エアコン、扇風機なそ・冬場：エアコン、ストーブなど）をお願いします。							
	可	出演者はステージで黒靴を着用します。黒靴で控室⇔会場を移動します。 ステージ部分にシートを敷いてください。全面敷きも可。							

会場図面(表記単位:メートル)



間口の位置は、体育館向かって左側（又は右側）でも可。複数の間口がある場合は、トラックの横付けが可能で、搬入がスムーズにできる間口（例えばスロープがあるなど）を使用します。

搬入間口について	幅	2メートル	高さ	2メートル
搬入車両の横づけの要否		要		
横づけができない場合の搬入可能距離		30メートルくらいまで		

※搬入に関する条件の詳細については、図面上の表にて御確認ください。

Ⅵ 令和2年度「文化芸術による子供育成総合事業出演希望調書(実演芸術)

分野，種目（該当する**種目**に○を付してください。）

分野	種目
【音楽】	合唱，[オーケストラ等]，音楽劇
【演劇】	児童劇，演劇，ミュージカル
【舞踊】	バレエ，現代舞踊
【伝統芸能】	歌舞伎･能楽，人形浄瑠璃，邦楽，邦舞，演芸

申請する区分に，○を付してください。	[A区分のみ] ・ A区分とB区分の両方 ・ C 区分

複数申請の有無(該当する方に○を付してください。)	[あ り] ・ な し

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当する選択肢のいずれかに○を付してください。)
(1) 公演の実施時期が重複しても，複数の企画を実施可能
[(2)] 公演の実施時期が重複しなければ，複数の企画を実施可能
(3) 提案したいずれか1企画のみ実施可能
(4) その他(　　)

芸術文化団体の概要

ふりがな 制作団体名	とくていひえいりかつどうほうじん　きょうとふぃるはーもにーしつないがっそうだん 特定非営利活動法人　京都フィルハーモニー室内合奏団		
代表者職･氏名	理事長　田中美幸		
制作団体所在地 (最寄り駅･バス停)	〒604-8135　京都市中京区東洞院通三条下る 三文字町 200 番地 ミックナカムラ 303 号室（京都市営地下鉄「烏丸御池」駅）		
電話番号	075-212-8275	ＦＡＸ番号	075-212-8277
ふりがな 公演団体名	きょうとふぃるはーもにーしつないがっそうだん 京都フィルハーモニー室内合奏団		
代表者職･氏名	理事長　田中美幸		
公演団体所在地 (最寄り駅･バス停)	〒604-8135　京都市中京区東洞院通三条下る 三文字町 200 番地 ミックナカムラ 303 号室（京都市営地下鉄「烏丸御池」駅）		
制作団体設立年月	1972 年　5 月		
制作団体組織	役職員	団体構成員及び加入条件等	
	理事長：田中美幸 理事：岡島一成、木村守、 深尾昌峰、小林明、越川雅之、西田二郎、内田義行、 内田双喜、増永理彦	正会員：田中美幸、松田学、岡島一成、木村守、深尾昌峰、小林明、越川雅之、森本真裕美、松田美奈子、市川えり子、岸さやか、村井博之、越川雅之、小林明、内田義行、西田二郎、増永理彦、増永のり子、児玉幸子、中西京子、湊健太郎、内田双喜、安本昌美、村田真生 正会員加入条件:積極的に活動を推進する音楽家と音楽に関心のある個人､総会における議決権を有する者。	
事務体制の担当	[専任] ・ 他の業務と兼任	本事業担当者名	田中美幸
経理処理等の監査担当の有無	[有] ・ 無	経理責任者名	湊健太郎

<table>
<tr><td>制作団体沿革</td><td colspan="3">1972年5月　京都フィルハーモニー室内合奏団 創立。
1979年5月　有限会社 京都フィルハーモニー室内合奏団 成立。
平成2年度　藤堂音楽賞受賞。
2000年1月　特定非営利活動法人 京都フィルハーモニー室内合奏団 認証。
2002年10月　イタリアツアーで好評を博す。
平成14年度　京都新聞大賞文化学術賞受賞。
2006年～　社団法人 日本オーケストラ連盟準会員。
2012年5月　創立40年を迎える。
2014年4月　音楽監督に齊藤一郎を迎える。
2015年度　第3回ウィーンフィル&サントリー音楽復興祈念賞受賞
2016年度　佐川吉男音楽賞奨励賞受賞。
2017年5月　創立45周年を迎える。</td></tr>
<tr><td>学校等における公演実績</td><td colspan="3">1972 年創立以来、小学校公演延べ 3000 校、約 190 万人の生徒が鑑賞。
2003 年度から毎年年３回、京都コンサートホールでファミリーコンサートを主催
19 年間、佐賀県唐津市肥前町で「早春コンサート」を継続実施（毎年 2 月）。
関西公共ホールにて 0 歳児からのコンサートを毎年、多数実施。
京都府内および京都市内小学校で多数公演。
2014 年伊丹市立小学校全校を巡回公演（17 校）。
2012 年、2014 年、鳥取県内小学校にて巡回公演（10 校）。
2012 年度より毎年京都府「次世代文化継承・発展」事業に参加。2014 年 2016 年 2018 年福井県全県小学生音楽鑑賞会実施
（セントラル愛知交響楽団との合同演奏）
2018 年度滋賀県栗東市全小学校音楽鑑賞会実施。
毎年京都府内 3～4 ケ所の支援学校で鑑賞会を実施。
長岡京市、京都市で中学校吹奏楽部のクリニックを実施。
平成 30 年度文化庁戦略的芸術文化創造推進事業「和歌山県、三重県地方の子どものための舞台芸術による地域交流の場づくりと巡回公演」</td></tr>
<tr><td>特別支援学校における公演実績</td><td colspan="3">毎年、中丹支援学校、丹波支援学校、八幡支援学校、向日が丘支援学校、城陽支援学校（いずれも京都府立）にて公演およびワークショップを実施。文化庁巡回公演でも各地支援学校で演奏。</td></tr>
<tr><td rowspan="7">参考資料の有無</td><td rowspan="4">A</td><td>申請する演目のチラシパンフレット等</td><td>[有] ・ 無</td></tr>
<tr><td>申請する演目の DVD または WEB 公開資料</td><td>有 ・ [無]</td></tr>
<tr><td>※公開資料有の場合 URL</td><td></td></tr>
<tr><td>※閲覧に権限が必要な場合の ID およびパスワード</td><td>ID:
PW:</td></tr>
<tr><td rowspan="3">A の提出が困難な場合</td><td>今回申請する演目に近い演目で公演の様子がわかる内容の DVD または WEB 公開資料</td><td>[有] ・ 無</td></tr>
<tr><td>※公開資料有の場合 URL</td><td></td></tr>
<tr><td>※閲覧に権限が必要な場合の ID およびパスワード</td><td>ID:
PW:</td></tr>
</table>

公 演 ・ ワークショップの内容　　【公演団体名　京都フィルハーモニー室内合奏団　】

対　　象	小学生(低学年 ・ 中学年 ・ 高学年) ・ 中 学 生
企画名	小学生のためのクラシックコンサート～ようこそ! 素晴らしい音楽の世界へ
本公演演目 原 作 ／作 曲 脚　　本 演 出 ／振 付	●オペラ「フィガロの結婚」序曲 / モーツァルト（5分） ●【楽器の紹介】(15分) ●10楽器のためのディベルティメントより第1楽章 / 黛敏郎（3分） ●アメリカの古い歌より(歌)/ コープランド(5分)「むかしむかし」「おいらは猫を買ってきた」 ●交響曲第5番「運命」より 第一楽章 / ベートーヴェン(5分) ～休憩～（15分） ●オーケストラと共演しましょう]＊ペルシャの市場にて / ケテルビー （5分） ●オーケストラの伴奏で校歌を歌いましょう！ ●組曲「道化師」カバレフスキー （語り付）（20分） 「プロローグ」「ギャロップ」「行進曲」「ワルツ」「パントマイム」「間奏曲」「叙情的小シーン」 「ガヴォット」「スケルツォ」「エピローグ」 [アンコール] ヨハン・シュトラウスⅡ/ラデツキー行進曲（2分） [弦楽器体験] 終演後に弦楽器を体験をしていただきます。(15分) 公演時間（コンサート：休憩を含み90分＋弦楽器体験15分）

著作権		制作団体が所有		制作団体以外が所有する事項が含まれる	○	(制作団体以外が所有する事項が含まれる場合)許　諾の有無

演　目　概　要	●オペラ「フィガロの結婚」序曲 / モーツァルト（5分） オープニングにふさわしく明るく、快活な音楽です。神童、天才と言われたモーツァルトの傑作オペラの、幕開きの音楽である序曲をお楽しみください。 ●楽器の紹介＝各楽器の音色や形の違いや名前を覚えましょう！また一緒に演奏するとどんな響きになるのかもよく聴きましょう。 ●10楽器のためのディベルティメントより第1楽章 / 黛敏郎（3分） 日本を代表する作曲家黛敏郎20歳の若い時代の秀作をお聴きいただきます。若者らしく溌剌とした、みずみずしい音楽で、各楽器の特徴がよく出ている作品です。 ●アメリカの古い歌 より / コープランド(5分) もう一つの重要な楽器である「人間の歌」の素晴らしさを体感していただきます。 アメリカ音楽を作り上げたコープランドが、民謡を題材に作曲した楽しい曲を2曲お聴きいただきます。 ●交響曲第5番「運命」より 第一楽章 / ベートーヴェン(5分) 衝撃的な冒頭の4つの音で始まるこの曲は、多くの方が一度は耳にしたことがある超名曲です。 オーケストラの重厚な響きと緊張感あふれる演奏を感じていただきたいです。 ●オーケストラと共演しましょう！＊ペルシャの市場にて / ケテルビー （5分） 教育楽器の鍵盤ハーモニカ、リコーダー、打楽器を使ってオーケストラの一員となって共演しましょう。 ●オーケストラの伴奏で校歌を歌いましょう！ いつもピアノ伴奏で歌っている校歌をオーケストラ伴奏で歌います。指揮は学校の先生にお願いします。 ●組曲「道化師」カバレフスキー （語り付）（20分） 運動会などで流れる「ギャロップ」が含まれた楽しい組曲です。ロシアの作曲家カバレフスキーが子供のために作曲した児童劇『発明家と道化役者』のための音楽です。 語りを交えて、ワルツやガボットや行進曲など音楽の様々な様式が登場して来ますので、子供達の耳に自然と入っていくでしょう。
演 目 選 択 理 由	■公演前半＝冒頭に各楽器を紹介し、オーケストラとは？から始め、興味を持っていただきます。邦人作曲家の楽曲を含め、室内オーケストラの編成にふさわしい楽曲を選曲しました。 ■公演後半＝この事業の重要な要素である子どもたちとの共演を行います。 1）教育楽器とオーケストラの共演。子どもたちはオーケストラの一員として参加出来た実感が体験できます。 2）オーケストラ伴奏の校歌斉唱は学校の先生の指揮により、より感動的になります。 最後にもう一度室内オーケストラの名曲を聴くことにより、より深くオーケストラを理解していただけます。
児童・生徒の共演，参加又は体験の形態	1）学校で使用している鍵盤ハーモニカ、リコーダー、打楽器とオーケストラとの共演。 2）オーケストラ伴奏での校歌斉唱。 3）アンコールのラデツキー行進曲において、児童の手拍子の参加。 4）公演終了後に、児童対象に弦楽器を体験してもらいます。
出　　演　　者	指揮者1名、歌手（司会）1名、第一ヴァイオリン5名、第二ヴァイオリン5名、ヴィオラ4名、チェロ3名、コントラバス2名、フルート2名、オーボエ２名、クラリネット2名、ファゴット2名、ホルン2名、トランペット2名、トロンボーン1名、チューバ1名、打楽器4名、ピアノ1名計40名

公演出演予定者数(1公演あたり)	出 演 者:　40 名 ス タ ッ フ:　6 名 合　　計:　46 名	機 材 等 運搬方法	積載量　2t 車 長　6.5m 台 数　1 台

対　　象	小学生(低学年 ・ 中学年 ・ 高学年) ・ 中 学 生
企画名	中学生のためのクラシックコンサート～体感！「オーケストラの魅力」
本公演演目 原 作 ／作 曲 脚　　本 演 出 ／振 付	●オペラ「フィガロの結婚」序曲 / モーツァルト（5分） ●【楽器の紹介】(15分) ●10楽器のためのディベルティメントより第1楽章 / 黛敏郎（3分） ●「魔王」（歌）/シューベルト（リスト編曲のオーケストラ伴奏版） ●交響曲第5番「運命」より 第一楽章 / ベートーヴェン(5分) ～休憩～（15分） ●オーケストラと共演しましょう（合唱か吹奏楽かどちらか選択） ＊合唱（選択）＝「翼をください」or「明日へ」 ＊吹奏楽＝演奏曲目についてはご相談の上決定。（5分以内） ●オーケストラの伴奏で校歌を歌いましょう！ ●組曲「ハムレット」op32a 抜粋（語り付）/ショスタコーヴィチ（20分） 「イントロダクションと夜警」「フローリッシュと踊りの音楽」「戦い」「役者のパントマイム」「オフィーリアの歌」「子守歌」「鎮魂歌」「フォーティンブラスの行進」 [アンコール] ヨハン・シュトラウスⅡ/ラデツキー行進曲（2分） ＊終演後、質問コーナーがあります。(10分) 公演時間(コンサート休憩を含み90分＋質問コーナー10分)

著作権		制作団体が所有	○	制作団体以外が所有する事項が含まれる	有	(制作団体以外が所有する事項が含まれる場合)許 諾の有無

演　目　概　要	●オペラ「フィガロの結婚」序曲 / モーツァルト（5分） オープニングにふさわしく明るく、快活な音楽です。神童、天才と言われたモーツァルトの傑作オペラの、幕開きの音楽である序曲をお楽しみください。 ●楽器の紹介＝各楽器の音色や形の違いや名前を覚えましょう！また一緒に演奏するとどんな響きになるのかもよく聴きましょう。 ●10楽器のためのディベルティメントより第1楽章 / 黛敏郎（3分） 日本を代表する作曲家黛敏郎20歳の若い時代の秀作をお聴きいただきます。若者らしく溌剌とした、みずみずしい音楽で、各楽器の特徴がよく出ている作品です。 ●「魔王」（歌）/シューベルト（リスト編曲のオーケストラ伴奏版）(5分) もう一つの重要な楽器である「人間の歌」をお聴きいただきます。教科書にも取り上げられているシューベルトの名曲をお聞きいただきます。リストがオーケストラに編曲した伴奏で、より切迫した様子が感じられることでしょう。 ●交響曲第5番「運命」より 第一楽章 / ベートーヴェン(5分) 衝撃的な冒頭の4つの音で始まるこの曲は、多くの方が一度は耳にしたことがある超名曲です。オーケストラの重厚な響きと緊張感あふれる演奏を感じていただきます。 ●オーケストラと共演しましょう！＊合唱か吹奏楽かどちらかで共演します。 ●オーケストラの伴奏で校歌を歌いましょう！ いつもピアノ伴奏で歌っている校歌をオーケストラ伴奏で歌います。指揮は学校の先生にお願いします。 ●組曲「ハムレット」op32a 抜粋（語り付）/ショスタコーヴィチ（20分） シェイクスピアの名作戯曲「ハムレット」にロシアの巨匠ショスタコーヴィチが音楽をつけました。登場人物のキャラクターや情景がよくわかるよう、語り入りで演奏します。
演目選択理由	■公演前半＝冒頭に各楽器を紹介し、オーケストラとは？から始め興味を持っていただきます。 邦人作曲家の楽曲を含め、室内オーケストラの編成にふさわしい楽曲を選曲しました。 ■公演後半＝この事業の重要な要素である子どもたちとの共演を行います。 オーケストラとの共演は合唱か吹奏楽かを選択できます。 オーケストラ伴奏の校歌斉唱は学校の先生の指揮により、より感動的になります。 最後にもう一度室内オーケストラの名曲を聴くことにより、より深くオーケストラを理解していただけます。
児童・生徒の共演，参加又は体験の形態	1）オーケストラとの共演は、合唱で共演か吹奏楽で共演かを選択できます。 2）オーケストラ伴奏での校歌斉唱。 3）アンコールのラデツキー行進曲において、生徒の手拍子の参加。 4）公演終了後に、質問コーナーを設けて、生徒との交流をはかります。
出　演　者	指揮者1名、歌手(司会)1名、第一ヴァイオリン5名、第二ヴァイオリン5名、ヴィオラ4名、チェロ3名、コントラバス2名、フルート2名、オーボエ２名、クラリネット2名、ファゴット2名、ホルン2名、トランペット2名、トロンボーン1名、チューバ1名、打楽器4名、ピアノ1名計　40名

公演出演予定者数 (1公演あたり)	出 演 者:　40 名 スタッフ:　6 名 合　　計:　46 名	機 材 等 運搬方法	積載量　2t 車 長　6.5m 台 数　1 台

【公演団体名　京都フィルハーモニー室内合奏団　　】

<table>
<tr><td>公演に当たっての会場条件</td><td>実施条件等確認書①をご確認ください。</td></tr>
<tr><td>会場設営の所要時間(タイムスケジュール)の目安</td><td>前日仕込み(有 ・ (無)) 会場設営の所要時間(　　時間程度)
<table>
<tr><th>到着</th><th>仕込み</th><th>本公演</th><th>内休憩</th><th>撤去</th><th>退出</th></tr>
<tr><td>9:00</td><td>セッティング 9:00～10:00
リハーサル　11:00</td><td>本公演
13:30～15:00
弦楽器体験/小
（質問コーナー/中）
15:00～15:15</td><td>15 分</td><td>15 時 15 分～16 時</td><td>16 時</td></tr>
</table>
※本公演時間の目安は、午後1時乃至1時 30 分からの概ね2時限分程度です。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">児童・生徒の参加可能人数</td><td>ワークショップ</td><td>～150 名</td></tr>
<tr><td>本公演</td><td>～700 名</td></tr>
<tr><td>ワークショップ実施形態及び内容</td><td colspan="2">◆小学校・木管楽器奏者2名、打楽器奏者2名、ピアニスト1名、司会兼スタッフ1名
の計６名を派遣する。
・本公演にむけて、パート練習 30 分、合奏練習 30 分で共演曲の練習をおこなう。
◆中学校 1）合唱との共演希望校＝歌手１名、ピアニスト１名、司会１名計３名を派遣する。
発声練習やハーモニーの練習をする。
2）吹奏楽・金管バンドとの共演希望校）＝フルート、クラリネット、トランペット、
トロンボーン、打楽器奏者、計５名を派遣する。
・楽器のメンテナンス説明を含め、各楽器のクリニックを実施し、共演希望曲の練習をおこなう。
※いずれもワークショップの最初に、京フィルメンバーによるミニコンサートを実施。</td></tr>
<tr><td>ワークショップ実施形態の意図</td><td colspan="2">プロ演奏者の的確な指導とアドヴァイスで児童、生徒たちの演奏レベル、並びに感受性の向上を図る。</td></tr>
<tr><td>特別支援学校での実施における工夫点</td><td colspan="2">緻密な打ち合わせをもとに各学校の実情にあった進行をはかり、児童生徒一人一人の実情や到達点に合わせた工夫を行います。過去本事業において、ヴァイオリン体験や合唱共演を行った実績があります。</td></tr>
<tr><td>実施可能時期</td><td colspan="2">実施可能時期スケジュール表をご確認ください。</td></tr>
</table>

【公演団体名　京都フィルハーモニー室内合奏団 】

A区分出演者（予定）

指揮者	粟辻　聡	コントラバス	上野 泰歳
コンサートマスター	釋 伸司（客員コンサートマスター）		宮田 雄規
バリトン、司会	迎 肇聡	フルート	市川 えり子
第一ヴァイオリン	森本 真裕美		本庄 ちひろ
	角田 博之	オーボエ	岸 さやか
	北條 エレナ		上品 綾香
	山根 朋子	クラリネット	松田 学
第二ヴァイオリン	青山 朋永		伊藤 咲代子
	谷口 朋子	ファゴット	奥山 紀子
	泉谷 更沙		佐々木 威裕
	黒江 郁子	ホルン	山本 愛沙子
	西尾 恵子		米崎 星奈
ヴィオラ	松田 美奈子	トランペット	立石 史樹
	丸山 智子		松原 一樹
	三上 哲	トロンボーン	村井 博之
	馬場 順子	チューバ	山口真理子
チェロ	石 豊久	打楽器	越川 雅之
	西本 慶子		村上 博美
	米田 依未		横山 堅司
			奥田 有紀
		ピアノ	西脇 小百合

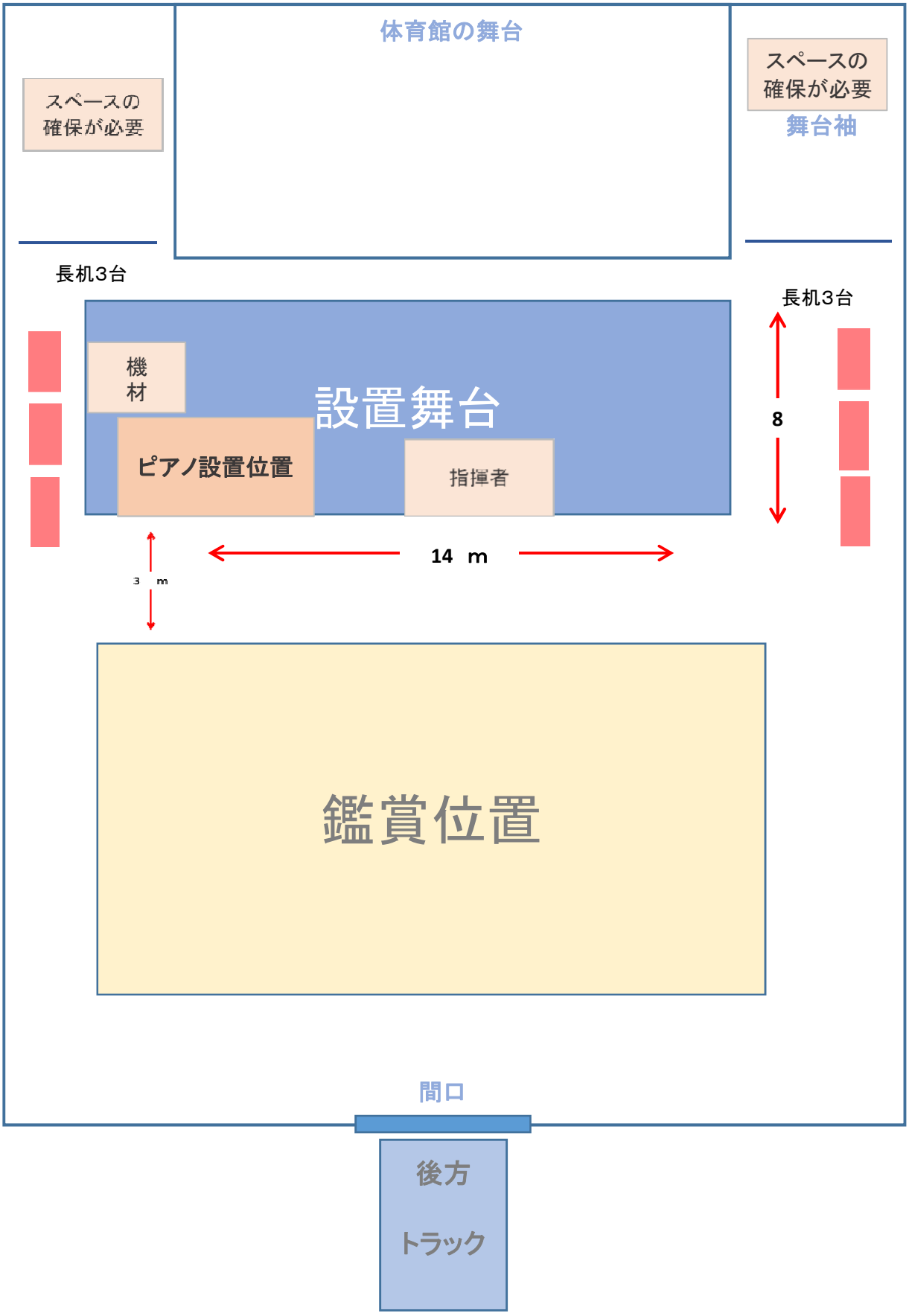
【令和2年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－実施条件等確認書①】

ID	I99	分野	音楽	種目	オーケストラ等	ブロック	I	区分	A区分
公演団体名	京都フィルハーモニー室内合奏団				制作団体名	特定非営利活動法人　京都フィルハーモニー室内合奏団			

① 会場条件等についての確認

項目	応相談	必要条件等							
控室について	可	必要数＊	4室	条件	指揮者1室，コンサートマスター，男性，女性の着替え用であるためカーテンがある部屋が希望です。				
搬入について	不可	来校する車両の大きさと台数＊			2tトラック　1台	大型バス　2台			
	不可	来校する車両の内，横づけが必要な車両の大きさ			2tトラック　1台、レンタカー1台				
	可	搬入車両の横づけの要否＊			要				
	可	横づけができない場合の搬入可能距離＊			10m以内				
	可	搬入経路の最低条件			・できる限り階段のない経路が望ましい。 ・屋根のある経路が望ましい。				
	／	理由			ひな壇、楽器の搬入をするため				
	―	設置階の制限＊			問わない				
	不可	搬入間口について 単位：メートル	幅	1.8m	高さ	1.8m			
WSについて	可	参加可能人数		最大300名まで					
	可	学年の指定の有無＊		一部あり	指定学年＊	選択内容による			
	可	所要時間の目安 単位：分		90分程度					
本公演について	／	会場設営・本公演・メインプログラムの所要時間		※「出演希望調書」内「会場設営の所要時間(タイムスケジュール)の目安をご参照ください。					
	可	鑑賞可能人数		600名程度					
	不可	舞台設置場所＊		フロア					
	可	舞台設置に必要な広さ 単位：メートル	幅	14m	奥行	8m	高さ	指定なし	
	可	体育館の舞台を使用する場合の条件	舞台袖スペースの確保＊	要					
	可		舞台袖スペースの条件＊	袖に荷物がない状態					
	可		緞帳＊	要	バトン＊	不要			
	可	遮光(暗幕等)の要否＊		要	理由	楽器に直射日光が当たらないように			
	不可	ピアノの調律・移動の要否	指定位置へのピアノの移動＊	要	※指定位置は会場設置図面にて御確認ください。				
	不可		ピアノの事前調律＊	要					
	可	フロアを使用する場合の条件	バスケットゴールの設置状況＊	格納されていれば可					
	不可	公演に必要な電源容量		15A（100Vコンセント）	※主幹電源の必要容量				
	その他特記事項								
	不可	ピアノは事前に調律をお願いいたします。ピアノがステージにある場合はフロアーに移動をお願いいたします。							
		寒い時期はストーブの準備をお願いすることがあります。(楽器・室温調整のため)							

会場図面(表記単位:メートル)



搬入間口について	幅	1.8m	高さ	1.8m
搬入車両の横づけの要否		可		
横づけができない場合の搬入可能距離		10m		

※搬入に関する条件の詳細については、図面上の表にて御確認ください。

令和2年度文化芸術による子供育成総合事業-巡回公演事業　A区分

京都フィルハーモニー室内合奏団

京フィル　検索

小学生のためのクラシックコンサート
ようこそ！素晴らしい音楽の世界へ

中学生のためのクラシックコンサート
～体感！「オーケストラの魅力」

＜京フィルの魅力＞
◆その一・・・
子供と音楽が大好きなメンバーばかり

古都京都に誕生して47年。
子供たちを魅了する室内オーケストラとして「京フィル」の愛称で親しまれています。
「あ～楽しかった！また聴きたい！」という、子供たちの声援から生まれた熱気溢れたコンサートをお届けします。

◆その二・・・
楽しい名曲の数々

＜小学校＞
●オペラ「フィガロの結婚」序曲 / モーツァルト
●楽器紹介
●ディベルティメントより第1楽章 / 黛敏郎
●アメリカの古い歌 より / コープランド
「むかしむかし」「おいらは猫を買ってきた」
●交響曲第5番「運命」より　/ ベートーヴェン
～休憩～ (15分)
●オーケストラと共演しましょう！
＊ペルシャの市場にて / ケテルビー
●オーケストラの伴奏で校歌を歌いましょう！
●組曲「道化師」カバレフスキー　(語り付)

[弦楽器体験]＊終演後に弦楽器体験を行います。

＜中学校＞
●オペラ「フィガロの結婚」序曲 / モーツァルト
●楽器紹介
●ディベルティメントより第1楽章 / 黛敏郎
●「魔王」（歌）/シューベルト
●交響曲第5番「運命」より　/ ベートーヴェン
～休憩～ (15分)
●オーケストラと共演しましょう]
＊合唱or吹奏楽
●オーケストラの伴奏で校歌を歌いましょう！
●組曲「ハムレット」op32a 抜粋（語り付）/
ショスタコーヴィチ

＊終演後に質問コーナーがあります。

40名編成：指揮者、歌手（司会）1名、ヴァイオリン10名、ヴィオラ4名、チェロ3名、コントラバス2名、フルート2名、オーボエ2名、クラリネット2名、ファゴット2名、ホルン2名、トランペット2名、トロンボーン1名、チューバ1名、打楽器4名、ピアノ1名

ようこそ！京都フィルのみなさん

◆その三・・・
やっぱり楽しく！

◆もうひとつの魅力
楽器体験

----コンサート終了後、みんなで弦楽器を体験しましょう！
（中学校は質問コーナーです）----

特定非営利活動法人 京都フィルハーモニー室内合奏団
〒604-8135 京都市中京区東洞院通三条下る三文字町200　ミックナカムラ303
☎075-212-8275　FAX075-212-8277　office@kyophil.com

Ⅵ 令和2年度「文化芸術による子供育成総合事業出演希望調書(実演芸術)

分野，種目（該当する**種目**に○を付してください。）

分野	種目
【音楽】	合唱，オーケストラ等，音楽劇
【演劇】	児童劇，演劇，ミュージカル
【舞踊】	バレエ，現代舞踊
【伝統芸能】	歌舞伎・能楽，人形浄瑠璃，邦楽，邦舞，演芸

申請する区分に，○を付してください。　　Ａ区分のみ ・ Ａ区分とB区分の両方 ・ Ｃ区分

複数申請の有無(該当する方に○を付してください。)　　あ り ・ な し

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当する選択肢のいずれかに○を付してください。)
(1) 公演の実施時期が重複しても，複数の企画を実施可能
(2) 公演の実施時期が重複しなければ，複数の企画を実施可能
(3) 提案したいずれか1企画のみ実施可能
(4) その他(　　)

芸術文化団体の概要

ふりがな 制作団体名	こうえきしゃだんほうじんきょういくえんげきけんきゅうきょうかい 公益社団法人　教育演劇研究協会		
代表者職・氏名	代表理事・森下文雄		
制作団体所在地 (最寄り駅・バス停)	〒435-0015 静岡県浜松市東区子安町 323-3(JR「浜松駅」からバス 10 分「子安」下車)		
電話番号	053-461-5395	ＦＡＸ番号	053-461-6378
ふりがな 公演団体名	げきだんたんぽぽ 劇団たんぽぽ		
代表者職・氏名	代表・上保節子		
公演団体所在地 (最寄り駅・バス停)	〒435-0015 静岡県浜松市東区子安町 323-3(JR「浜松駅」からバス 10 分「子安」下車)		
制作団体設立年月	1955 年　2 月		
制作団体組織	役職員	団体構成員及び加入条件等	
	代表理事　森下文雄 **常務理事　上保正道** **理事　鈴木秀志　佐野牧夫** **他 10 名** **監事　守屋明　杉山一成**	**(1)団体構成員　個人正会員　53人(うち劇団員35人)** **個人賛助会員　39人(うち法人会員4社)** **(2)加入の条件　法人の目的に賛同し、理事会の承認を得た者**	
事務体制の担当	専任 ・ 他の業務と兼任	本事業担当者名	**上保節子・松下哲子**
経理処理等の監査担当の有無	有 ・ 無	経理責任者名	**森田美代子(経理)** **守屋明(監査)**

制作団体沿革	1945 年　長野県篠ノ井町(現長野市)で小百合葉子主宰の児童劇団たんぽぽを発足。 1950 年　長野県松本市へ拠点を移し、公演は、東京、静岡、岐阜、神奈川へと広がる。 1953 年　活動の拠点を静岡県浜松市へと移す。 1955 年　文部省(当時)から児童劇団として初めて公益法人格が許可され社団法人教育演劇研究協会を設立。 1963 年　復帰前の沖縄公演に出発。沖縄全域 120 日 209 公演実施。 1966 年　北海道に事務所を新設。 1972 年　長野県に事務所を新設。 1986 年　沖縄県に事務所を新設。 1996 年　社団法人設立 40 周年、劇団創立 50 周年を記念し、全国縦断公演を行う。 2012 年　内閣府より公益社団法人の認定を受け、公益社団法人教育演劇研究協会に移行。
学校等における公演実績	**劇団創立以来、公演回数は、延べ 43,000 回以上を実施。その公演のうちほとんど(約 8 割)が、学校体育館での公演である。** **その公演活動範囲は、北海道から沖縄に及び、学校規模も児童数 1,000 人以上の学校から 10 人に満たない小規模学校まで、様々行っている。** **平成 28 年度の公演実績は、346 公演。** **平成 29 年度は、403 公演。** **平成 30 年度は、339 公演を実施した。** **「いのちのまつり」は、平成 29 年度に 93 公演、平成 30 年度　に 65 公演、** **本年度は、すでに 48 公演を実施し、さらに、令和元年度「文化芸術による子供育成総合事業」において、20 公演を実施予定である。**
特別支援学校における公演実績	**平成 21 年、静岡県文化振興プラン事業として、特別支援学校 21 校、延べ 2,553 人の特別支援学校の生徒を招待し、8 会場 11 公演を実施した。** **平成 22 年度には、諫早特別支援学校、島原特別支援学校、他 3 校で実施。** **これまでにも、毎年1校以上は、聴覚、視覚障害を含む特別支援学校で、公演を行っている。** **平成 30 年度、「文化芸術による子供の育成事業」で、北海道釧路鶴野支援学校で公演。**

参考資料の有無	A	申請する演目のチラシパンフレット等	(有)　・　無
		申請する演目の DVD または WEB 公開資料	(有)　・　無
		※公開資料有の場合 URL	**DVD を提出します**
		※閲覧に権限が必要な場合の ID およびパスワード	ID: PW:
	A の提出が困難な場合	今回申請する演目に近い演目で公演の様子がわかる内容の DVD または WEB 公開資料	有　・　無
		※公開資料有の場合 URL	
		※閲覧に権限が必要な場合の ID およびパスワード	ID: PW:

公 演 ・ ワークショップの内 容　　【公演団体名　劇団たんぽぽ　】

対　　象	小学生（ 低学年 ・ 中学年 ・ 高学年 ） ・ 中 学 生
企画名	舞台劇『いのちのまつり』
本公演演目 原 作 ／作 曲 脚　　本 演 出 ／振 付	『いのちのまつり』 原作/草場一壽 「いのちのまつり」(サンマーク出版) 脚本/久野由美･松下哲子　監修/ふじたあさや 演出/大谷賢治郎　人形演出/つげくわえ 音楽/遠山裕　美術/池田ともゆき　衣装/坂本真彩 振付/酒井麻也子　照明/坂本義美　音響/山北史郎 制作/上保節子 公演時間（　70 分）

著作権		制作団体が所有	○	制作団体以外が所有する事項が含まれる		(制作団体以外が所有する事項が含まれる場合) 許諾の有無

演 目 概 要	【あらすじ】 カー坊は、もうすぐ 11 歳。なぜかいつも思い通りにいかないことばかり。どうしてだれも、僕の気持ちをわかってくれないの？　楽しみにしていた誕生日に欲しかったものがもらえなくて、カー坊は家を飛び出した。「あー、ムカつく！お父さんもお母さんも、クラスの奴らも、みんなが俺をイライラさせる。みんな、大っ嫌いだ―！」そんなカー坊の前に、突然現れたのは、沖縄にいるはずの会ったことのないおじいちゃんだった。親から子へ、そして孫へ、つながっていく“いのち”の物語。 【見どころ】 言葉に頼らないオープニングは、何が始まるんだろうという興味から、子どもたちを舞台へ引き付けます。そこから物語が始まり、子どもの友達との関係性や親とのやりとりが、あるあると思わせる展開になっているため、自然と演劇の世界へ入っていける作りになっています。舞台美術は、伊藤喜朔賞を受賞されたことのある池田ともゆき氏。シンプルな舞台ながら、そこが、様々な場所になったり、どこか幻想的な異空間になったりと、観ている側の想像力を刺激します。 　特にエンディングのエイサーの場面は、本場沖縄のプロの方にご指導いただき、今ここに生きている命と、これまでつながってきた命に対する祝祭の場面として一番の見どころになっています。そこからつながるカチャーシーは、つい一緒に踊りだしたくなるような客席との一体感を生み盛り上がります。 また、この作品は「厚生労働省社会保障審議会推薦児童福祉文化財」の推薦作品です。
演 目 選 択 理 由	原作は、累計 35 万部突破の絵本「いのちのまつり」シリーズの舞台化。昨年度から教科化された道徳の教科書にも採用され、いのちを考える授業は、学校では避けては通れない課題になっています。過去から未来へ続く“いのち”をテーマに描いているこの作品で、「自分は、ひとりじゃない。」ということを感じて欲しいと思います。 　学校の先生方からは、「主人公かずきの姿やまわりとのやりとりが、“子ども”という実態をよく描写されていて、子どもたちは、自分に置き換えてみていた。」「自分が生まれてきたことを喜んでくれる人がいたことを改めて考えるきっかけになり、命や家族、素直になれない気持ち、揺れ動きなど、考えさせられることが多かった。」との感想がありました。 　また、子どもたちからは、「かずきが生まれたときに、たくさんの人が喜んでいるのをみて、わたしもたくさんの人に見守られているんだなとわかりました。」「かずきの悔しい気持ちなどがたくさん伝わってきました。でも、お父さん、お母さんの気持ちもとてもよくわかりました。」等、自分だけではなく、周りの想いに気づく感想が多く寄せられています。

	コミュニケーションの基本は、相手を知ること、知りたいと思うことです。自分や周りの友達を大切に思えなくなるときはあるけれど、自分も友達も、たくさんの命がつながって、愛されてここにいる奇跡の存在であり、自分もみんなも一人じゃない、だから大切にしなければいけないんだと気づくきっかけになればとの思いから、この作品を選択いたしました。 また、舞台セットの規模や照明の効果で、普段の体育館とは、まったく違った空間を体感でき、歌、踊り、パントマイム、人形表現なども取り入れ、舞台芸術としても大変見ごたえのある作品であり、子どもたちの想像力、発想力を大いに刺激できる点も、選択理由の一つです。
児童・生徒の共演，参加又は体験の形態	【共演・参加の形態】 **①劇中歌を一緒に歌って、カチャーシーを踊ってみよう！ （楽しく体を動かそう！）** 劇中、テーマソング「いのちのまつり」の歌を全員で歌います。 これは、物語最後のエイサーのシーンから続く、カチャーシーの場面で流れる歌で、歌いながら手拍子をしたり、手踊りをしたりして、リズムに乗って楽しく歌ってもらいます。 カスタネットや太鼓など、学校で音の出る打楽器などが用意できる場合は、それも使って、一緒に楽しみます。 このシーンは、おじいちゃんのお葬式の後、家族や親せきが集まっているというシーンですが、「自分の中には、ご先祖さまから受け継いできた命がつまっている。今、生きている自分たちが笑顔で元気にしていることが、一番おじいちゃんやご先祖様たちが喜ぶことなんだよ」と伝えるために祝祭をあげるシーンです。出演者と児童生徒が一緒になって元気に生きている喜びを表現しあいます。 **②大切な人たちの絵を描いてみよう！ その人たちにに囲まれて劇を観よう！** 子どもたちに、「自分の家族やご先祖様、自分が大切に思っている人」を想像して、その人たちの顔の絵を描いてもらいます。（学校側との話し合いにより、対象学年等を限定することもあります。）それを公演当日、貼り合わせ、観客席に広げて展示します。数えきれないほどの命がつながって自分たちがいると感じてもらいながら観劇します。その中で、生徒全員が「いのちのまつり」を歌ってエンディングを迎えます。 【体験の形態】 終演後、学校側の希望により、バックステージツアー（舞台裏見学）を行い、全校生徒が小道具・楽器等に触れる機会を設けます。さらに、質問コーナー等で、役者たちとの交流も図ります。
出　演　者	根津均/渡部泰騎/角替良行/谷本久美/金原綾香/奥村智香/森谷聖

公演出演予定者数 （1公演あたり）	出 演 者:　7名 スタッフ:　3名 合　計:　10名	機 材 等 運搬方法	積載量　4ｔ 車 長　7ｍ 台 数　1台

【公演団体名　　劇団たんぽぽ　　】

<table>
<tr><td>公演に当たっての会場条件</td><td>実施条件等確認書①をご確認ください。</td></tr>
<tr><td>会場設営の所要時間（タイムスケジュール）の目安</td><td>前日仕込み(有 ・(無)) 条件により必要な場合有り。
会場設営の所要時間(　　3 時間程度)
<table>
<tr><th>到着</th><th>仕込み</th><th>本公演</th><th>内休憩</th><th>撤去</th><th>退出</th></tr>
<tr><td>8 時</td><td>8 時～11 時</td><td>13 時 30 分～
14 時 40 分</td><td>0 分</td><td>15 時 30 分～
17 時</td><td>17 時</td></tr>
</table>
※本公演時間の目安は、午後1時乃至1時 30 分からの概ね2時限分程度です。</td></tr>
<tr><td>児童・生徒の参加可能人数</td><td>ワークショップ　～500 名くらいまで
本公演　～全校生徒</td></tr>
<tr><td>ワークショップ実施形態及び内容</td><td>ワークショップは、基本的に全校生徒に対して行いますが、学校側との話し合いにより、対象生徒を学年単位や、3 年生以上などに、限定する場合もあります。
共演するための稽古や歌の稽古だけでなく、子どもたちが、表現することを楽しみながら、周りとのコミュニケーションが図れるよう、発声や身体表現指導を行います。そして、観劇に対する興味を喚起します。
ワークショップの時間は、基本的に2時限分を想定していますが、学校側の実態に沿って臨機応変に対応いたします。

【事前準備】物語の台本や歌詞、音楽CDを各学校に配布します。台本は、先生方に作品の内容をイメージしてもらうためのものです。休み時間を利用し、歌を周知していただきます。

【ワークショップ当日】
・活動内容を伝え、上演作品について説明し、物語の内容やこの作品ができるまでの説明をする。
・大きな声の出し方や体を使った表現を楽しむ。（シアターゲーム等）
・エンディングソング「いのちのまつり」を全員で歌う。
・カチャーシー場面の稽古。みんなで音楽に合わせて、太鼓やカスタネット等の学校にある楽器や自分で考えた音の出るものを使って音を出したり、指笛をふいたりと、自分たちが今ここに元気で生きているよということを伝えるような表現を体験する。
・楽器を持たない児童生徒は、「いのちのまつり」の歌を歌いながら、手踊りを交え、自由に体を動かす。楽しさを言葉ではなく、体で表現しながら、子どもたち同士で「一緒にに楽しもうよ」というコミュニケーションが図れるようにする。</td></tr>
</table>

ワークショップ実施形態の意図	作品の内容が、生きている喜びを伝え、感謝するというテーマであるため、ワークショップを通して、表現する喜びと、気持ちを伝えることの大切さに結びつけ、指導していきたいと思っています。事前に音楽 CD を送ったり、作品の説明や、物語の内容を伝えることで、公演に対する興味や期待を高めます。 全員で歌う劇中歌やカチャーシーの練習では、この舞台をみんなで作り上げる意識を高める意図があります。また、カチャーシーには、「喜びも悲しみもかき混ぜて、みんなで分かち合いましょう」という思いが込められています。その思いを伝え、お互いにコミュニケーションを取りながら、同じ空間を仲間と楽しんでもらいたいと思います。 歌を上手に歌うことや踊りを上手に踊ることではなく、その歌詞や場面に込められた意味を捉えながら、命を繋げてきてくれた多くの人たちに届けたいと思う気持ちが大切だという事を伝えるため、手拍子や楽器、体を動かすだけの参加もできるようにします。みんなで、この演劇に参加するという意識が持てます。 自分の家族やご先祖様の顔（想像）、大切な人の顔を描いてもらうワークショップでは、自分が、どんな人たちに囲まれて生きているのか、改めて感じるきっかけになります。 それが、物語の内容と結びついて、より公演を身近に感じてもらうねらいがあります。
特別支援学校での実施における工夫点	実施校の先生方のニーズを尊重し、学校側が抱えている実態に沿って、臨機応変に対応いたします。歌の部分で声を発してもらったり、体や音の出る楽器で、参加してもらったりと表現することを楽しみながら観劇できる工夫をしていきます。
実施可能時期	実施可能時期スケジュール表をご確認ください。

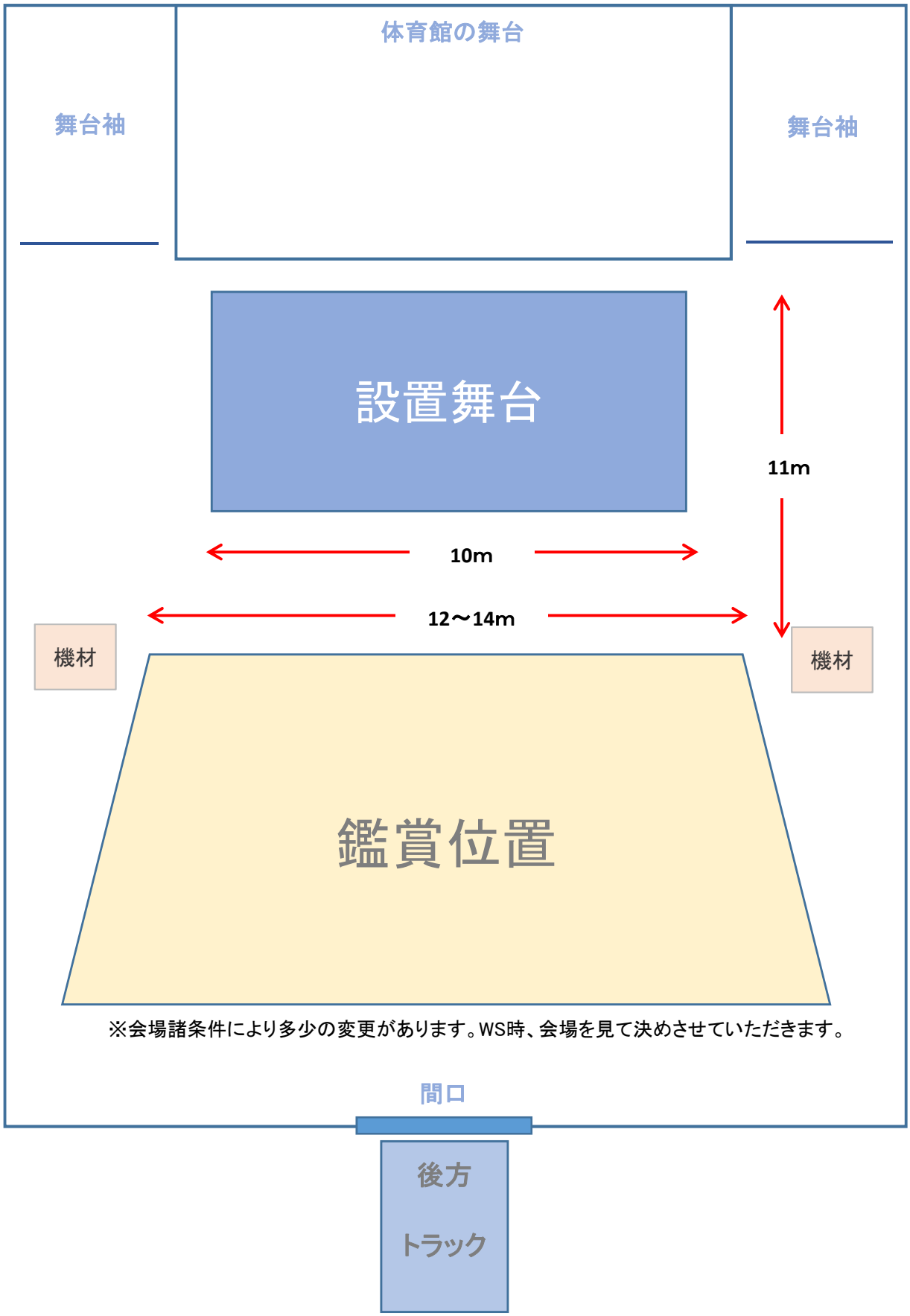
【令和2年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－実施条件等確認書①】

ID	I100	分野	演劇	種目	児童劇	ブロック	I	区分	A区分
公演団体名	劇団たんぽぽ				制作団体名	公益社団法人　教育演劇研究協会			

① 会場条件等についての確認

項目	応相談	必要条件等							
控室について	可	必要数＊	1室	条件	概ね、体育館の学校ステージを控室とさせていただいております。				
搬入について	不可	来校する車両の大きさと台数＊			乗用車　2台	4tトラック　1台			
	不可	来校する車両の内，横づけが必要な車両の大きさ			4トントラック				
	可	搬入車両の横づけの要否＊			要				
	可	横づけができない場合の搬入可能距離＊			50m以内				
	可	搬入経路の最低条件			・屋根のある経路が望ましい。				
		理由			舞台セット、機材、太鼓等を搬入するため。				
	―	設置階の制限＊			問わない				
	可	搬入間口について 単位：メートル	幅	1.8m	高さ	2m			
WSについて	可	参加可能人数		目安は～500名だが、何名までも対応可					
	可	学年の指定の有無＊		なし	指定学年＊	なし			
	可	所要時間の目安 単位：分		90分程度（2時限分）					
本公演について		会場設営・本公演・メインプログラムの所要時間		※「出演希望調書」内「会場設営の所要時間(タイムスケジュール)の目安をご参照ください。					
	可	鑑賞可能人数		一回につき500名程度　体育館の広さによって変動あり					
	不可	舞台設置場所＊		フロア					
	可	舞台設置に必要な広さ 単位：メートル	幅	12～14m	奥行	11m	高さ	5m	
	―	体育館の舞台を使用する場合の条件	舞台袖スペースの確保＊	不要					
	―		舞台袖スペースの条件＊	―					
	―		緞帳＊	不要	バトン＊	不要			
	可	遮光(暗幕等)の要否＊		要	理由	照明演出があるため。			
	―	ピアノの調律・移動の要否	指定位置へのピアノの移動＊	不要	※指定位置は会場設置図面にて御確認ください。				
	―		ピアノの事前調律＊	不要					
	可	フロアを使用する場合の条件	バスケットゴールの設置状況＊	ステージ前方にあるものが昇降式なら可					
	可	公演に必要な電源容量		75～100A	※主幹電源の必要容量				
	その他特記事項								

会場図面(表記単位:メートル)



※会場諸条件により多少の変更があります。WS時、会場を見て決めさせていただきます。

搬入間口について	幅	1．8m	高さ	2m
搬入車両の横づけの要否	要(できる限り横づけを希望)			
横づけができない場合の搬入可能距離	50m			

※搬入に関する条件の詳細については、図面上の表にて御確認ください。

小学校の道徳の副読本としても
使われています！！

『いのちのまつり』は・・・

2004年に第１作**「いのちのまつり　ヌチヌグスージ」**が出版され、過去から未来へ続くいのちをテーマに描かれた「いのちのまつり」シリーズは累計35万部を突破し、道徳の副読本として採用され、小学校の授業でも使われています。また、英語、中国語などに翻訳され、海外数か国でも出版されています。今回劇団たんぽぽでは、**「つながってる!」「おかげさま」「かがやいてる」「みらいへ」**を加えた全作品より構成し、舞台化しました。

劇団たんぽぽは・・・

「子どもたちに夢を」。1946年、長野県篠ノ井で小百合葉子主宰の児童劇団として発足。リュックを背に巡回公演はじまる。１９５３年、静岡県浜松市に移る。１９５５年、山間僻地の子ども達への児童演劇の普及、公演を続けた活動を評価され、文部省（当時）から公益法人格が許可され、社団法人教育演劇研究協会を設立。北海道から沖縄まで、主に小・中学校の演劇教室で公演。その他にも「教師のための朗読勉強会」や「教育現場での表現活動」「演劇ワークショップ」「クリスマス公演」など、教育演劇研究協会としての働きが活発化している。２０１２年、公益認定が受理され、公益社団法人として新たな一歩を踏み出す。

劇団創立７０年　北は北海道から南は沖縄まで４２，０００回公演！

公益社団法人 教育演劇研究協会

劇団 たんぽぽ

本　　部　〒435-0015　静岡県浜松市東区子安町323－3　☎053-461-5395
http：//www.gekidan-tanpopo.com/　[Eメール] tanpopo@gekidan-tanpopo.com
長野県事務所　〒390-0877　長野県松本市沢村3－4－21　☎0263-36-6950
北海道事務所　〒003-0863　札幌市白石区川下3条6丁目8－18　☎011-873-3611
沖縄県事務所　〒900-0005　那覇市天久2－25－9　☎098-866-0529

厚生労働省社会保障審議会推薦児童福祉文化財

いのちのまつり

「ヌチヌグスージ」

原作／草場一壽

絵：平安座資尚　@サンマーク出版

脚色／久野由美・松下哲子　監修／ふじたあさや　演出／大谷賢治郎

公益社団法人　教育演劇研究協会

劇団 たんぽぽ

いのちのまつり

原作／草場一壽「いのちのまつり」（サンマーク出版　絵／平安座資尚）
脚色／久野由美・松下哲子　監修／ふじたあさや　演出／大谷賢治郎　人形演出／つげくわえ
音楽／遠山裕　美術／池田ともゆき　衣装／坂本真彩　振付／酒井麻也子　エイサー振付・監修／島袋拓也
照明／坂本義美　音響／山北史郎
制作／上保節子

ひとりじゃない！
すべてのいのちがつながり、
かかわりあって生きている！

カー坊はもうすぐ１１歳。
なぜかいつも、思いどおりにいかないことばかり。
どうしてだれも、ぼくの気持ちをわかってくれないの？
楽しみにしていた誕生日にも、ほしかったものがもらえなくて、カー坊は家をとび出した！

「あー、ムカつく！お父さんもお母さんもクラスのやつらも、みんながおれをイライラさせる。みんな、大っきらいだー!!」
そんなカー坊の前に突然あらわれたのは・・・。

親から子へ、そして孫へ、つながっていく“いのち”の物語。

ひとりじゃない！
めぐりめぐって生まれるいのち
めぐりめぐってつながる想い。

「ヌチヌグスージ」とは、沖縄の方言で“いのちのお祝い、いのちのお祭り”という意味です。始まりも終わりもない悠久の時の流れのなか、広大無辺な生命のつながりが今ここにある――。自分自身が奇跡の存在であること、与えられた生命を光り輝きながら共に生きぬくことが、「ヌチヌグスージ＝いのちのまつり」であるという想いを絵本に込めました。
原作／草場一壽「いのちのまつり」より

７０周年にふさわしい偶然　　監修　ふじたあさや

「劇団たんぽぽ」が誕生して７０年になる。その節目を記念する公演に、草場一壽さんの絵本『いのちのまつり』が選ばれたのは、たまたま企画者の目に触れたという偶然の産物だが、舞台化してみると、それはいかにも「劇団たんぽぽ」の７０周年にふさわしい選択だった。第一、祖父から父、父から子へと〈いのち〉の連鎖を描いたこの本は、小百合葉子さんに始まって二世代め、三世代めと受け継がれてきた「たんぽぽ」の歴史と重なるものがある。そのテーマを、たんぽぽの綿毛になぞらえるところなどは、おあつらえ向きもいいところだ。

テーマを展開する舞台に沖縄を選んでいるところも、本土復帰以前の１９６０年代初めから沖縄公演を積み重ねてきた「劇団たんぽぽ」にふさわしい。ここまでくると、偶然でありながら、必然であったような気がする。

偶然でありながら、必然であったと言えることがもう一つある。それは今回の演出者・大谷賢治郎との出会いである。相性が良かったのだろう、「たんぽぽ」の歴史の新しいページがここから始まりそうな予感がある。

いのちのバトン　　演出　大谷 賢治郎

世代は常に受け継がれていく。そしてそれを受け継ぐのは未来を生きる子どもたちである。まさにこの作品のテーマでもある。その子どもたちに７０年もの間、演劇を見せ続けてきた「劇団たんぽぽ」を心から尊敬する。彼らはどんな困難な状況に於いても、最初に「子どもありき」の姿勢を貫いてきたに違いない。７０周年記念公演の演出を任されたこと、また歴史ある劇団に於いて未来の児童演劇を開拓していくためのバトンを渡されたことを心より嬉しく思う。しっかりと「いのちのバトン」をつないでいきたい。

Ⅵ 令和2年度「文化芸術による子供育成総合事業出演希望調書(実演芸術)

分野，種目（該当する**種目**に○を付してください。）

分野	種目
【音楽】	合唱，オーケストラ等，音楽劇
【演劇】	児童劇，演劇，ミュージカル
【舞踊】	バレエ，現代舞踊
【伝統芸能】	歌舞伎・能楽，人形浄瑠璃，邦楽，邦舞，演芸

申請する区分に，○を付してください。　　Ａ区分のみ　・　Ａ区分とＢ区分の両方　・　Ｃ区分

複数申請の有無(該当する方に○を付してください。)　　あ り　・　な し

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当する選択肢のいずれかに○を付してください。)
(1) 公演の実施時期が重複しても，複数の企画を実施可能
(2) 公演の実施時期が重複しなければ，複数の企画を実施可能
(3) 提案したいずれか1企画のみ実施可能
(4) その他(　　)

芸術文化団体の概要

ふりがな 制作団体名	きぎょうくみあい　げきだんなかま 企業組合　劇団仲間		
代表者職・氏名	代表理事　田中誠		
制作団体所在地 (最寄り駅・バス停)	〒164－0012 東京都中野区本町4－26－5　Sビル202 東京メトロ丸ノ内線「新中野」下車		
電話番号	03－4405－2453	ＦＡＸ番号	050－5433－1183
ふりがな 公演団体名	げきだんなかま 劇団仲間		
代表者職・氏名	代表理事　田中誠		
公演団体所在地 (最寄り駅・バス停)	〒164－0012 東京都中野区本町4－26－5　Sビル202 東京メトロ丸ノ内線「新中野」下車		
制作団体設立年月	1953年　4月		
制作団体組織	役職員 **代表理事　田中誠** **専務理事　前田承生** **理事　渡辺芳子　飛田晃治** **内堀創** **監査　村井裕　浜谷真理子** **劇団仲間　運営委員会9名**	団体構成員及び加入条件等 ▽演技部劇団員　32名▽演出部劇団員　1名 ▽　制作部劇団員　2名▽　事務局員　1名 ▽　準劇団員　3名 準劇団員は1年制以上の俳優養成機関の修了者を準劇団員として採用。演出部は1年間の研修期間を経て劇団員として採用。	
事務体制の担当	専任　・　他の業務と兼任	本事業担当者名	**前田承生**

経理処理等の監査担当の有無	有 ・ 無	経理責任者名	三橋怜子
制作団体沿革	昭和28年4月。俳優座養成所（2期生）卒業生が講師の中村俊一を中心にして劇団仲間を結成。昭和44年に企業組合として法人化。新劇公演、児童青少年演劇公演を全国に展開し今日に至る。 平成6年度（第49回）芸術祭賞を「モモと時間どろぼう」で受賞。 平成13年度東京都優秀児童演劇選定優秀賞、平成17年度児童福祉文化賞推薦作品を「カモメに飛ぶことを教えた猫」公演で受賞。 平成19年度厚生省中央児童福祉審議会児童福祉文化財を「飛ぶ教室」で受賞。 平成22年度児童福祉文化賞推薦作品を「森は生きている」公演で受賞。 平成26年度厚生労働省社会保障審議会推薦児童福祉文化財認定 「空の村号」		
学校等における公演実績	平成28年度「ぼくはアフリカにすむキリンといいます」小学校体育館公演10回 「星の王子さま」小学校体育館公演18回 「空の村号」高校体育館公演1回 「小さい“つ”が消えた日」小学校体育館公演37回 平成28年8月「小さい“つ”が消えた日」夏休み児童・青少年演劇フェスティバル参加 平成29年5月「小さい“つ”が消えた日」葛飾区立梅田小学校、千代田区立富士見小学校、練馬区立石神井西小学校、墨田区立隅田小学校、川崎市立大谷戸小学校 平成29年6月所沢市立上新井小学校、桐朋学園小学校、横浜市立中沢小学校 墨田区立外手小学校、墨田区立第三寺島小学校 他年度内 「小さい“つ”が消えた日」 小学校体育館公演35回 平成30年5月「小さい“つ”が消えた日」墨田区立東吾嬬小学校 「給食番長」昭島市立拝島第二小学校 平成30年6月「小さい“つ”が消えた日」小平第四小学校 他年度内 「小さい“つ”が消えた日」 小学校体育館公演13回 「給食番長」 小学校体育館公演18回 令和元年「小さい“つ”が消えた日」文化芸術による子供育成総合事業15回 他年度内 「小さい“つ”が消えた日」 小学校体育館公演5回 「給食番長」 小学校体育館公演21回		
特別支援学校における公演実績	長崎県立虹の原特別支援学校（平成23年11月・平成25年10月） この公演は担当先生との打ち合わせで通常通りの公演を行いました。		

参考資料の有無	A	申請する演目のチラシパンフレット等	有 ・ 無
		申請する演目の DVD または WEB 公開資料	有 ・ 無
		※公開資料有の場合 URL	
		※閲覧に権限が必要な場合の ID およびパスワード	ID: PW:
	A の提出が困難な場合	今回申請する演目に近い演目で公演の様子がわかる内容の DVD または WEB 公開資料	有 ・ 無
		※公開資料有の場合 URL	
		※閲覧に権限が必要な場合の ID およびパスワード	ID: PW:

公 演 ・ ワークショップの内 容　　【公演団体名　劇団仲間　】

対　　象	小学生（ 低学年 ・ 中学年 ・ 高学年 ）・ 中 学 生
企画名	舞台劇　小さい“つ”が消えた日
本公演演目 原作／作曲 脚　　本 演出／振付	「小さい“つ”が消えた日」 原作：ステファノ･フォン･ロー(三修社刊) 脚本／演出　鈴木雄太 音楽：芳賀一之 公演時間(　　75分)
著作権	○ 制作団体が所有　　制作団体以外が所有する事項が含まれる　　(制作団体以外が所有する事項が含まれる場合)許諾の有無
演　目　概　要	～いらない子なんていない！みんなそろって五十音！～ ひらがなたちが集まって暮らす五十音村では自慢話で盛り上がっていました。 そんな中、小さい“つ”は音にならない文字なんて必要ないとからかわれ、 五十音村を飛び出してしまいます。 すると人間の世界ではおかしなことが起こりました。 弁護士が「訴えますか？訴えませんか？」と言おうとすると、 「歌えますか？歌えませんか？」となってしまい依頼人は怒り出します。 横綱も「はけよい、のこた」では力が入らずに負けてしまい日本語は大混乱！ はたして小さい“つ”は五十音村に戻ってくるのでしょうか？
演目選択理由	観劇後、自己肯定感について考える時間が増えることを願って、この作品に取り組んでまいりました。 その上で“思いを伝える“ということがどれほど大切なことか、誰かとコミュニケーションをとる喜びはどんなものか、舞台だからこそできる表現で発信できるよう努めてまいりました。 この思いが、貴事業に必要な要素ではないかと考え、「小さい“つ”が消えた日」を選択いたしました。 歌や踊りなどエンターテイメントの要素を意識して、舞台劇が楽しいものだと感じられるように心がけています。 小さい “つ” は音で表すことは出来ませんが、文字と文字とを「つなぐ」役割を持っています。 小さい “つ”のいなくなった人間世界をユーモアに表現しながら、人にはそれぞれ個性があり、存在意義があるということ、そしてお互いを尊重し合うことで社会が成り立っていることが見えてきます。 また、五十音村のメンバーが“つ”に帰ってきてもらうためにどんなことを行動したかを観ることでコミュニケーションをとることや、お互いを認め合うことの大切さを子どもたちに感じてもらいたいと願っています。
児童・生徒の共演，参加又は体験の形態	ワークショップ参加の子ども達は文字のキャラクターとなって舞台に参加します。 公演後バックステージツアーを行い、実際に舞台の上に立ってもらって演技する側の気分を味わってもらいつつ児童・生徒との交流をします。 舞台参加については照明や音響も交えて舞台稽古を行い、本番中の安全を確認します。 公演終了後はキャストが退場口に行き、子ども達との交流をはかります。

出　　演　　者	飛田晃治、鎌田睦大、小倉輝一、田中誠、二瓶美江、浜谷真理子、小西智春、 浦山さつき、大和田遙奈		
公演出演予定者数 （1公演あたり）	出 演 者:　9名 ス タ ッ フ:　7名 合　　計:　16名	機 材 等 運搬方法	積載量　3．6t 車 長　9m 台 数　1台

Ａ区分・Ｂ区分・Ｃ区分共通

№3(実演芸術)

【公演団体名　　劇団仲間　　】

<table>
<tr><td>公演に当たっての会場条件</td><td>実施条件等確認書①をご確認ください。</td></tr>
<tr><td>会場設営の所要時間(タイムスケジュール)の目安</td><td>前日仕込み(有 ・ (無)) 会場設営の所要時間(4時間程度)
<table>
<tr><td>到着</td><td>仕込み/リハーサル</td><td>休憩</td><td>本番</td><td>撤去</td><td>退出</td></tr>
<tr><td>8:00</td><td>8:00～12:30</td><td>12:30～13:30</td><td>13:30～14:45</td><td>14:45～16:45</td><td>17:00</td></tr>
</table>
※リハーサルは本公演前の 45 分程度</td></tr>
<tr><td>児童・生徒の参加可能人数</td><td>ワークショップ</td><td>100 名(1学年程度)</td></tr>
<tr><td></td><td>本公演</td><td>500 名</td></tr>
<tr><td>ワークショップ実施形態及び内容</td><td>1, 準備運動として簡単なゲームをします。
例)アイコンタクトを用いたゲーム
(輪になって決められたお題を目を見て隣に伝えていきます。慣れてきたら同時に2方向に回します)
相手との信頼関係を育むゲーム
(2人組になり手のひらを触れない程度に合わせて片方の人が相手を誘導し、誘導される側は、相手に動きを委ねます。誘導する側はまわりとぶつからないようにします。慣れてきたら手と顔で同じことをします)
チームプレイが大切なゲーム
(2人組になり向かい合って縦方向と横方向で手をぶつけないように手拍子を打ちます。さらに参加者全員で音が重なるように、耳元に集中し、思いを一つにします)
想像することを楽しむゲーム
(与えられたお題を瞬間的に判断して体を動かします)etc
2, 劇中の参加シーンの練習をします。</td></tr>
<tr><td>ワークショップ実施形態の意図</td><td>1, ゲームを通じて遊ぶことで声を出すことやコミュニケーションをとることの大切さを感じてもらいます。
目を見て思いを相手に伝えることで、受け止める力と協調性を養います。
ゲームをしながら身体を動かすことで想像力を刺激し、また、心身の解放を目指します。
以上のゲームは劇作りにも大切なことだと感じてもらいます。
2, 参加シーンの練習では1, のゲームを踏まえ、文字のキャラクターになってもらいます。そのときには文字の性格を考えたり、小さい“つ”がないと言葉がどうなるのかを子ども達の自由な発想と自主性を尊重しながら一緒に考えてシーンを創ります。</td></tr>
<tr><td>特別支援学校での実施における工夫点</td><td>学校と綿密な連絡を取り、通常通りの公演をいたします。
必要であれば台本を提供し、PC等を使い舞台上の進行を追えるようにします。</td></tr>
<tr><td>実施可能時期</td><td>実施可能時期スケジュール表をご確認ください。</td></tr>
</table>

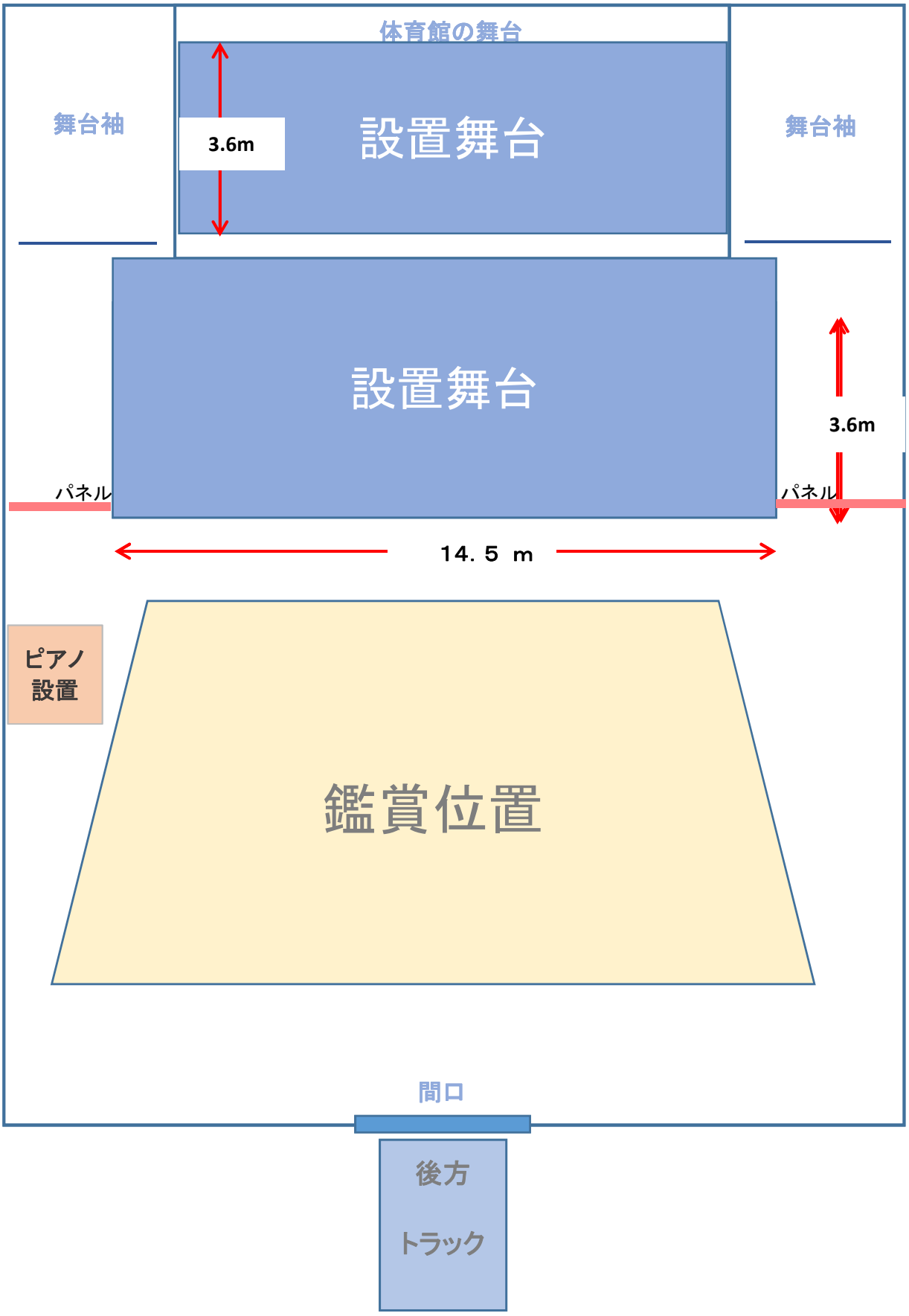
【令和2年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－実施条件等確認書①】

ID	I101	分野	演劇	種目	児童劇	ブロック	I	区分	A区分
公演団体名	劇団仲間				制作団体名	企業組合　劇団仲間			

① 会場条件等についての確認

項目	応相談	必要条件等							
控室について	可	必要数＊	1室	条件	体育館に近い場所が望ましい				
搬入について	可	来校する車両の大きさと台数＊			4tトラック　1台	中型バス　1台			
	可	来校する車両の内，横づけが必要な車両の大きさ			長さ9m　幅2，5m				
	可	搬入車両の横づけの要否＊			要				
	可	横づけができない場合の搬入可能距離＊			30m以内				
	可	搬入経路の最低条件			・できる限り階段のない経路が望ましい。 ・屋根のある経路が望ましい。				
		理由			濡れたくない機材がある。				
	可	設置階の制限＊			エレベーターの設置等があれば2階以上も可				
	可	搬入間口について 単位：メートル	幅	2m	高さ	2m			
WSについて	可	参加可能人数		100名程度					
	可	学年の指定の有無＊		あり	指定学年＊	中学年　高学年			
	可	所要時間の目安 単位：分		90分程度					
本公演について		会場設営・本公演・メインプログラムの所要時間		※「出演希望調書」内「会場設営の所要時間(タイムスケジュール)の目安をご参照ください。					
	可	鑑賞可能人数		500名程度					
	不可	舞台設置場所＊		ステージ上・フロアの両方					
	可	舞台設置に必要な広さ 単位：メートル	幅	14，5m	奥行	7，2m	高さ	指定なし	
	可	体育館の舞台を使用する場合の条件	舞台袖スペースの確保＊	要					
	可		舞台袖スペースの条件＊	袖に荷物がない状態					
	可		緞帳＊	不要	バトン＊	要			
	可	遮光(暗幕等)の要否＊		要	理由	場面転換で出来るだけ暗転を希望			
	可	ピアノの調律・移動の要否	指定位置へのピアノの移動＊	要	※指定位置は会場設置図面にて御確認ください。				
	―		ピアノの事前調律＊	不要					
	可	フロアを使用する場合の条件	バスケットゴールの設置状況＊	格納されていれば可					
	可	公演に必要な電源容量		100A	※主幹電源の必要容量				
	その他特記事項								
	―	ピアノは使用しませんが、舞台設置に支障がある場合、移動します。							

会場図面(表記単位:メートル)



搬入間口について	幅	2m	高さ	2m
搬入車両の横づけの要否		要		
横づけができない場合の搬入可能距離		30m以内		

※搬入に関する条件の詳細については、図面上の表にて御確認ください。

小さい"つ"が消えた日

Staff スタッフ

原作　ステファノ・フォン・ロー（三修社刊）
脚本・演出　鈴木雄太
美術　角浜有香
音楽　芳賀一之
振付　川又真理子
衣裳　小泉美都
効果　金子幸世
照明　田中祐太
舞台監督　鈴村志門
演出助手　木内　希
制作　飛田晃治
　　田中　誠

『小さい"つ"が消えた日』はひとつの小さな文字がなくなった事により、大混乱する社会をユーモアあふれる視点で描いています。
五十音を擬人化して物語を進めていくことで、いつもはなにげなく使っている日本語と文字の大切さ・すばらしさを改めて感じていただける作品です。
人間にはそれぞれ個性があり、存在意義があるということ。そしてお互いを尊重しあうことで社会が成り立っているということを"文字の世界"から浮かび上がらせることで、相手のことを思いやり、よりよく理解するためには何が必要なのかを子どもたちに感じてもらえると思います。

五十音村最大のピンチ！　いや、日本語のピンチ！

Ⅵ 令和2年度「文化芸術による子供育成総合事業出演希望調書(実演芸術)

分野，種目（該当する**種目**に○を付してください。）

分野	種目
【音楽】	合唱，オーケストラ等，音楽劇
【演劇】	児童劇，[演劇]，ミュージカル
【舞踊】	バレエ，現代舞踊
【伝統芸能】	歌舞伎・能楽，人形浄瑠璃，邦楽，邦舞，演芸

申請する区分に，○を付してください。　　A区分のみ ・ [A区分とB区分の両方] ・ C 区分

複数申請の有無(該当する方に○を付してください。)　　あ り ・ [な し]

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当する選択肢のいずれかに○を付してください。)
(1) 公演の実施時期が重複しても，複数の企画を実施可能
(2) 公演の実施時期が重複しなければ，複数の企画を実施可能
(3) 提案したいずれか1企画のみ実施可能
(4) その他(　　)

芸術文化団体の概要

ふりがな 制作団体名	ゆうげんがいしゃ　げきだんどら 有限会社　劇団銅鑼		
代表者職・氏名	代表取締役　佐藤文雄		
制作団体所在地 (最寄り駅・バス停)	〒174−0064　東京都板橋区中台1−1−4 (最寄駅:東武東上線上板橋駅)		
電話番号	03−3937−1101	ＦＡＸ番号	03−3937−1103
ふりがな 公演団体名	ゆうげんがいしゃ　げきだんどら 有限会社　劇団銅鑼		
代表者職・氏名	代表取締役　佐藤文雄		
公演団体所在地 (最寄り駅・バス停)	〒174−0064　東京都板橋区中台1−1−4 (最寄駅:東武東上線上板橋駅)		
制作団体設立年月	1972 年　8 月		
制作団体組織	役　職　員 取締役 佐藤文雄　取締役 鈴木瑞穂 運営委員　小関直人 説田太郎　館野元彦 平野真弓 馬渕真希 田辺素子　佐久博美　福井夏希　監査 福田悦雄	団体構成員及び加入条件等 (1) 団体構成員 団員 61 名 構成員補 2 名　団友　4 名 (2) 主な構成員 山田昭一(演出家・俳優) 菊地佐玖子(俳優) 小関直人(脚本家) (3) 加入条件 構成員として一定の期間を終了したもの	
事務体制の担当	[専任] ・ 他の業務と兼任	本事業担当者名	田辺素子
経理処理等の監査担当の有無	[有] ・ 無	経理責任者名	佐久博美

制作団体沿革	1972 年　劇団民藝出身者を中心に演劇集団として活動を開始。 1990 年　本拠地を板橋区に移す。 1994 年　初の海外公演実施（リトアニア）、以来国際交流事業を一つの柱にすえる。 1995 年　板橋区文化振興財団（現・(公財）板橋区文化・国際交流財団）との年一回以上の共催事業を開始。 2005 年　若者自立塾などにおける演劇によるワークショップ事業開始。 2012 年　稽古場を建設。劇場認定を受ける。
学校等における公演実績	1978 年より青少年公演開始。主な作品「センポ・スギハァラ」「明日へ出発」など多数。年間 50～100 回学校で上演を続けている。提出作品「ハンナのかばん」は 2008 年より小学校・中学校合同公演や全国おやこ劇場子ども劇場例会として上演。多数の公演で主催者参加型公演も実施。 主な学校公演作品 『明日へ出発』『センポ・スギハァラ』『Big brother』『エイジアン・パラダイス』『らぶそんぐ』『チャージ』『ハンナのかばん』『いのちの花』 ほか
特別支援学校における公演実績	多数作品で、特別支援学校で上演。事前に資料・台本などの配布で対応。盲学校に対してはイヤホンガイド付公演、聾学校では学校と共同で字幕作成を実施。

参考資料の有無	A	申請する演目のチラシパンフレット等	有　・　無
		申請する演目の DVD または WEB 公開資料	有　・　無
		※公開資料有の場合 URL	http://www.gekidandora.com/titles/inochinohana/
		※閲覧に権限が必要な場合の ID およびパスワード	ID: PW:
	A の提出が困難な場合	今回申請する演目に近い演目で公演の様子がわかる内容の DVD または WEB 公開資料	有　・　無
		※公開資料有の場合 URL	
		※閲覧に権限が必要な場合の ID およびパスワード	ID: PW:

公 演 ・ ワークショップの内 容　　【公演団体名　　有限会社劇団銅鑼　　】

対　　象	小学生(低学年 ・ 中学年 ・ 高学年) ・ 中 学 生
企画名	劇団銅鑼公演『いのちの花』
本公演演目 原 作 ／作 曲 脚　　本 演 出 ／振 付	「いのちの花」 原作:**向井愛実著「いのちの花」(株式会社 WAVE 出版刊)** **瀧 晴巳著「世界でいちばんかなしい花　それは青森の女子高生たちがペット殺処分ゼロを目指して咲かせた花」(ギャンビット刊)** 脚本:畑澤聖悟　演出:齊藤理恵子 公演時間(100 分)

著作権		制作団体が所有	○	制作団体以外が所有する事項が含まれる	有	(制作団体以外が所有する事項が含まれる場合) 許諾の有無

演　目　概　要	青森県立三本木農業高校。その敷地面積は、東京ドーム11個分！ その広い広い大地と青空の下、希望に胸を膨らませて動物科学科に入学したマナミたち。糞の匂いにやられながらも家畜たちの世話に励む日々。そして飼育しているニワトリを実習で解体し調理して自分達で食べる。**「いただきます」という言葉の意味を考える。**そして、東日本大震災― ある日、見学に訪れた動物愛護センターで、殺処分された動物たちの骨が「ゴミ」として捨てられていることを知る―― **自分たちにできることはないだろうか？** 声を上げることもできずに死んでいった動物たちの「いのち」。 彼女たちは、動物たちの骨を使って花を咲かせ、蘇らせることを思いつく。 名付けて“いのちの花プロジェクト”。 彼女らが咲かせた花を受け取ってくれる人はいるのだろうか？ **感動の実話の舞台化。** 舞台上に、実際には動物は登場しません。イメージできるように、映像を舞台装置に投影します。 **脚本は、高校演劇の第一人者であり、数多くの劇団に話題作を提供し続ける現役高校教師・畑澤聖悟。演出には劇団青年座の新進気鋭の演出家・齊藤理恵子**を迎え、疾走する５人の女子高校生の物語をお届けします。
演目選択理由	ペットの命・家畜の命・人間の命・・・・いのちってなんだろう？ 一人一人の命・一つ一つの命はとても尊くて重い。 それは誰もが、あたりまえのことと思っているはずです。 でも、本当にそれはあたりまえのこととなっているのでしょうか。 いのちってなんだろう？ この難しいテーマを高校生たちが考え続け起こした行動は、多くの人に波紋を投げかけました。この舞台を通して、動物殺処分や動物のいのちだけではなく、自分のいのち、人のいのち、生きとし生けるものの“いのち”のことを考えてもらえるきっかけになればと思います。

児童・生徒の共演，参加又は体験の形態	公演ラストシーン近く、高校生たちが客席に向けて、“いのちの花”を受け取ってくれる人を探します。そのとき客席から**事前ワークショップを経て、**舞台上に上がって花を受け取ってもらい、また客席に戻って頂きます。 また、公演当日のリハーサルの中で、バックステージツァーも行います。 他に、搬入搬出のお手伝いなどを通じて、俳優・ｽﾀｯﾌたちとの交流も出来ます。		
出　演　者	館野元彦・久保田勝彦・山形敏之・亀岡幸大・向暁子・高原瑞季・宮藤希望・早坂聡美・北畠愛美・和田星来 ※上記俳優は予定です。		
公演出演予定者数（1公演あたり）	出 演 者: 10 名 スタッフ: 9 名 合　計: 19 名	機 材 等 運搬方法	積載量 4t 車 長 8.8 m 台 数 1 台

【公演団体名　有限会社劇団銅鑼　】

公演に当たっての会場条件	実施条件等確認書①をご確認ください。
会場設営の所要時間(タイムスケジュール)の目安	前日仕込み(有 の場合あり・ 無) 会場設営の所要時間(5時間程度)

到着	仕込み	本公演	内休憩	撤去	退出
時	8時～13時 ※11時過ぎ出演児童リハーサル(授業1コマ分)	13時30分 ～15時10分	0分	15時30分～ 16時45分	17時

※本公演時間の目安は、午後1時乃至1時30分からの概ね2時限分程度です。

児童・生徒の参加可能人数	ワークショップ	30人
	本公演	30人

ワークショップ実施形態及び内容	● 簡単なシアターゲームでウォーミングアップ。 ● ペットを飼ったことがあるかどうか、何を飼ったか共有。 ● ペットと離れなければならない状況でのシーン創り。飼ったことがある人もない人も想像してみる。 ● 実際に殺処分された動物の骨(細かく粉状に砕いたもの)を見ながら命について考える。 ● 公演ラスト近くで、高校生役の俳優から花の鉢(造花)を受け取っていただくシーンに出演してもらいます。 ● 公演当日のリハーサルの際、出演者とバックステージツァーを行います。
ワークショップ実施形態の意図	ペットを飼う事、ペットと人間の関係について考える機会を作ります。そこから発展して、ペットだけでなく、自分たちが食べている動物や、植物や人間も含めたたくさんの命について考える機会を作ります。 公演時には**演技ではなくて、自然な気持ちで『いのちの花』を受けとれるようになります。**
特別支援学校での実施における工夫点	事前に台本をお渡しします。 一人一人の状況を把握し、児童にとって一番良い方法と環境で参加できるように先生と綿密に打合せを致します。
実施可能時期	実施可能時期スケジュール表をご確認ください。

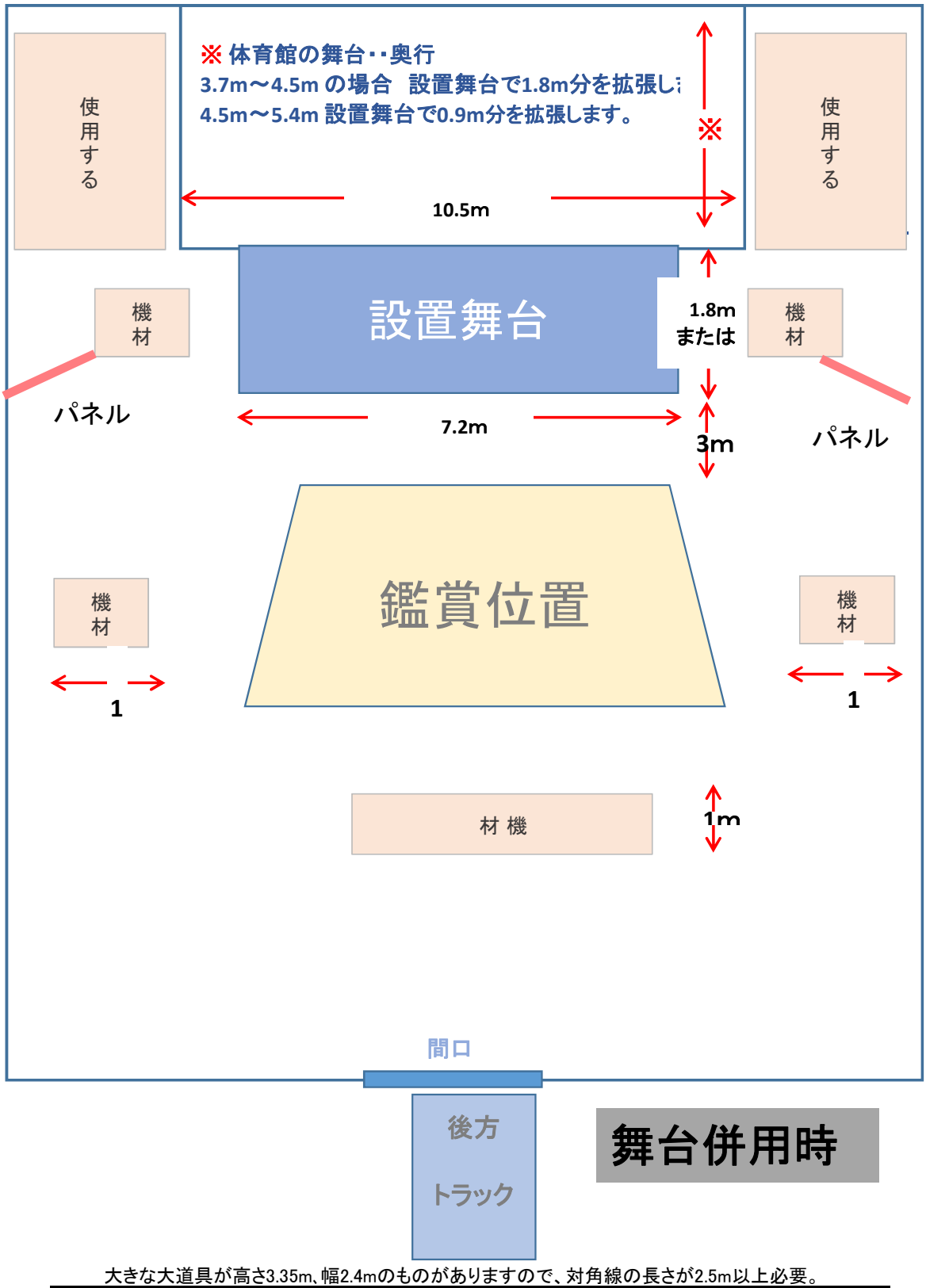
【令和2年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－実施条件等確認書①】

ID	I102	分野	演劇	種目	演劇	ブロック	I	区分	A区分
公演団体名	有限会社　劇団銅鑼				制作団体名	有限会社　劇団銅鑼			

① 会場条件等についての確認

項目	応相談	必要条件等							
控室について	可	必要数＊	2室	条件	男性・女性の着替え用。なければ1室でも可。				
搬入について	不可	来校する車両の大きさと台数＊			4tトラック　1台	中型バス　1台			
	可	来校する車両の内，横づけが必要な車両の大きさ			4tトラック　1台　長さ8.8m 幅2.5m　高さ3.5m				
	可	搬入車両の横づけの要否＊			要(出来ない場合は、搬入時間が長くかかります。)				
	可	横づけができない場合の搬入可能距離＊			敷地内に入れれば、搬入時間は長くかかりますが可能です。 横付けができない場合は必ず搬入距離をお知らせください。				
	可	搬入経路の最低条件			出来る限り階段がない経路が望ましい。 屋根のある経路が望ましい。				
		理由			大きくて重たい道具や音響、照明等の精密機械を搬入するため。				
	可	設置階の制限＊			2階以上も大きな舞台装置の搬入ができれば可能。 経路に階段がある場合、目安として対角線上に2．5mがとれること。間口の幅や高さによっては実施が困難な場合もあります。				
	可	搬入間口について 単位：メートル		幅	2m		高さ	2m	
WSについて	可	参加可能人数			30人				
	可	学年の指定の有無＊			なし	指定学年＊		なし	
	可	所要時間の目安 単位：分			90分				
本公演について		会場設営・本公演・メインプログラムの所要時間			※「出演希望調書」内「会場設営の所要時間(タイムスケジュール)の目安をご参照ください。				
	可	鑑賞可能人数			ステージ上と張り出し舞台設置ができれば、500名程度まで。				
	可	舞台設置場所＊			ステージ上への設置・フロアへの設置ともに対応可能				
	可	舞台設置に必要な広さ 単位：メートル	舞台+フロア使用時	幅	最低10.5m	奥行	最低5.5m [3.7+1.8]	高さ	最低4m
			フロア使用時	幅	最低14m	奥行	最低7m	高さ	最低4m
	可	体育館の舞台を使用する場合の条件		舞台袖スペースの確保＊	要				
	可			舞台袖スペースの条件＊	間口が12m以上あればなくても可				
	―			緞帳＊	不要		バトン＊	不要	
	可	遮光(暗幕等)の要否＊			要	理由	映像を使用しているのと照明効果を高めるため		
	不可	ピアノの調律・移動の要否		指定位置へのピアノの移動＊	要	舞台袖などになければ可 て御確認ください。			
	―			ピアノの事前調律＊	不要				
		フロアを使用する場合の条件		バスケットゴールの設置状況＊	格納されていれば可				
		公演に必要な電源容量			75A		※主幹電源の必要容量		
	その他特記事項								
	不可	体育館が2階以上の場合、一番大きな大道具のサイズが縦3.35m　横2.4m。 これが階段などで							
		曲がりきれず搬入できなければ不可。							
	不可	フロアのシート敷き、椅子並べは学校にお願いします。							

会場図面(表記単位:メートル)



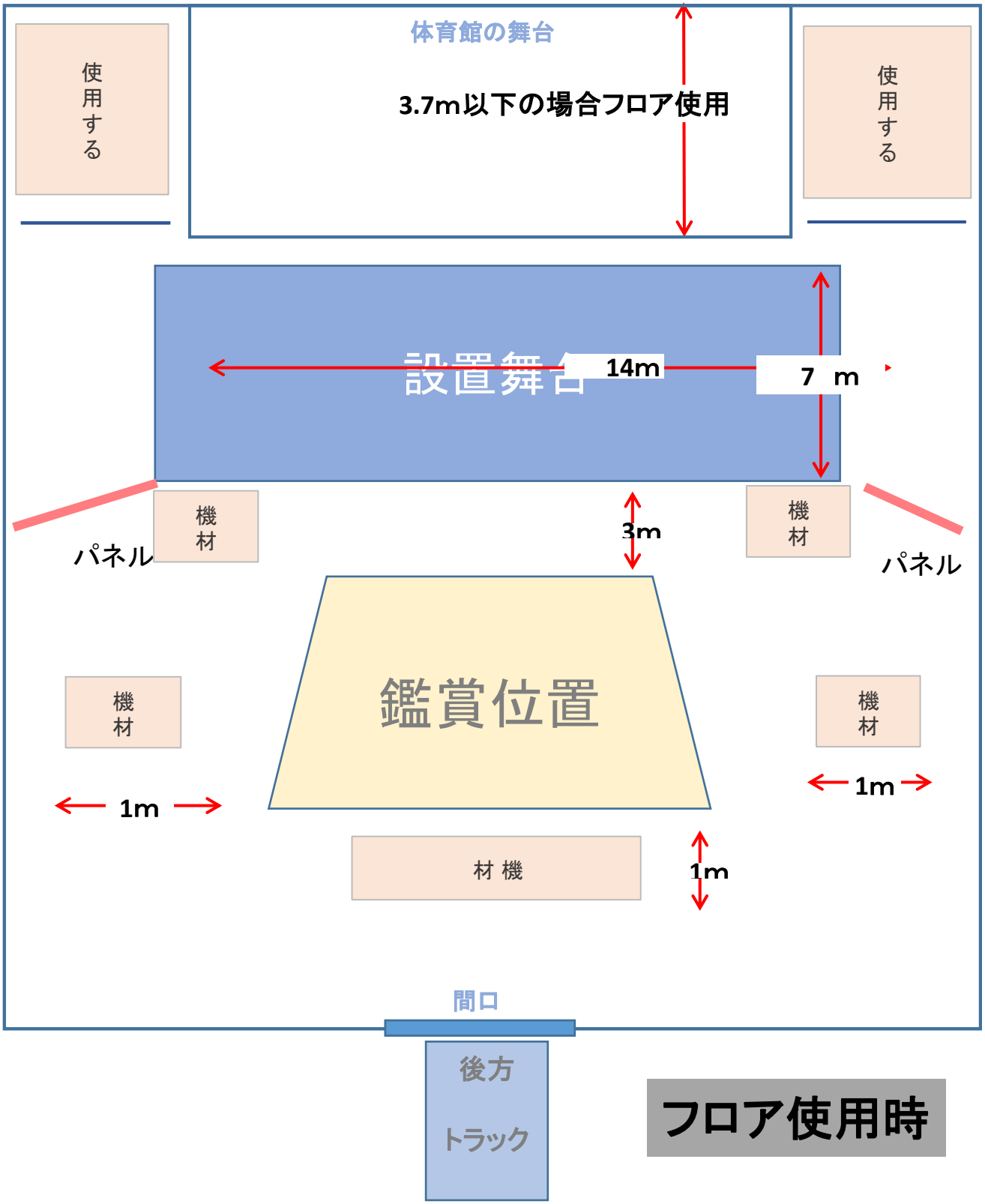
舞台併用時

大きな大道具が高さ3.35m、幅2.4mのものがありますので、対角線の長さが2.5m以上必要。

搬入間口について	幅	2m	高さ	2m
搬入車両の横づけの要否		要（できない場合は、搬入時間が長くかかります。）		
横づけができない場合の搬入可能距離		4トントラックが学校敷地内に入れば可能		

※搬入に関する条件の詳細については、図面上の表にて御確認ください。

会場図面(表記単位:メートル)



フロア使用時

大きな大道具が高さ3.35m、幅2.4mのものがありますので、対角線の長さが2.5m以上必要。

搬入間口について	幅		高さ	
搬入車両の横づけの要否		できない場合は、搬入時間が長くかかります。		
横づけができない場合の搬入可能距離		4トントラックが学校敷地内に入れば可能		

※搬入に関する条件の詳細については、図面上の表にて御確認ください。

劇団銅鑼

脚本
畑澤聖悟

演出
齊藤理恵子

原作
向井愛実著「いのちの花」（株式会社 WAVE 出版刊）
瀧 晴巳著「世界でいちばんかなしい花　それは青森の女子高生たちがペット殺処分ゼロを目指して咲かせた花」（ギャンビット刊）

令和元年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－

農業高校に入学したマナミたちは、見学で訪れた動物愛護センターで、
殺処分された動物たちの骨が、「ゴミ」として捨てられていることを知る ――
声を上げることもできずに死んでいった動物たちの「いのち」を再生させようと立ち上がった、
5人の女子高校生の真実の物語。

劇団銅鑼

人々のくらしに演劇が溶け込み、
心豊かな人生の糧となること ――それが私たちの願いです。

鈴木瑞穂・早川昭二など劇団民藝出身者を中心に1972年発足。劇団員50名。
「平和」と「人間愛」を求め、「本当に人間らしく生きることとは何か」をテーマに活動。
1992年初演の『センポ・スギハァラ』で初の海外公演を実施、以降国際交流活動を続けている。
1978年以来、「青少年に豊かな文化を」との願いから、『明日へ出発』『俺たちの甲子園』『Big brother』『ハンナのかばん』他で全国の中学・高校・おやこ劇場等で公演。舞台公演以外にも、「演劇を通した社会貢献活動」として様々な場所でワークショップ活動も行っている。
映画・TV・CMなど、出演者多数。

劇団銅鑼
〒174-0064　東京都板橋区中台1-1-4
tel：03-3937-1101　fax：03-3937-1103
e-mail:info@gekidandora.com
URL:http://www.gekidandora.com
Twitter @gekidandora
Facebook @theatercompanydora

「文化芸術による子供育成総合事業―巡回公演事業―」

我が国の一流の文化芸術団体が、小学校・中学校等において公演し、子供たちが優れた舞台芸術を鑑賞する機会を得ることにより、子供たちの発想力やコミュニケーション能力の育成、将来の芸術家の育成や国民の芸術鑑賞能力の向上につなげることを目的としています。
事前のワークショップでは、子供たちに実演指導又は鑑賞指導を行います。また実演では、できるだけ子供たちにも参加してもらいます。

開催日	開催都道府県政令指定都市	市区町村	実施予定校	実施校以外の地元主催者
2019年11月18日	京都府	綾部市	綾部市立東綾中学校	京都府教育委員会 / 綾部市教育委員会
2019年11月19日	京都府	京丹波町	京丹波町立和知小学校	京都府教育委員会 / 京丹波町教育委員会
2019年11月20日	京都府	福知山市	福知山市立川口中学校	京都府教育委員会 / 福知山市教育委員会
2019年11月21日	京都府	綾部市	綾部市立東八田小学校	京都府教育委員会 / 綾部市教育委員会
2019年11月22日	富山県	小矢部市	小矢部市立大谷中学校	富山県教育委員会 / 小矢部市教育委員会
2019年11月25日	新潟県	長岡市	長岡市立新町小学校	新潟県教育委員会
2019年11月26日	新潟県	長岡市	長岡市立栃尾東小学校	新潟県教育委員会
2019年11月27日	富山県	富山市	富山市立月岡中学校	富山県教育委員会 / 富山市教育委員会

知ってますか？

～10月1日は「国際音楽の日」です～

1977年にユネスコの要請で設立された国際音楽評議会という会議で、翌年の1978年から毎年10月1日を、世界の人々が音楽を通じて互いに仲良くなり交流を深めていくために「国際音楽の日」とすることにしました。日本では、1994年から毎年10月1日を「国際音楽の日」と定めています。

ペットの命・家畜の命・人間の命・・・・いのちってなんだろう？
一人一人の命・一つ一つの命はとても尊くて重い。
それは誰もが、あたりまえのことと思っているはずです。
でも、本当にそれはあたりまえのこととなっているのでしょうか。

いのちってなんだろう？

この難しいテーマを高校生たちが考え続け起こした行動は、多くの人に波紋を投げかけました。
この舞台を通して、動物のいのちだけではなく、自分のいのち、人のいのち、
生きとし生けるもののいのちのことを
少しだけ真面目に考えてもらえたらと思います。

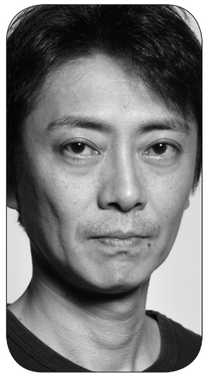
＊スタッフ

脚本 / 畑澤聖悟　演出 / 齊藤理恵子
美術 / 阿部一郎　照明 / 鷲崎淳一郎　音楽 / 寺田鉄生
音響 / 坂口野花　衣裳 / 山田靖子　映像 / 八木克人　舞台監督 / 鈴木正昭
切り絵 / まちこ　宣伝美術 / 早田二郎　制作 / 田辺素子
協力 / 青森県立三本木農業高等学校
青森県動物愛護センター

撮影／那波智彦

キャスト紹介　①出身地　②高校の時の部活　③高校の時にはまったもの

アカサカ先生役



館野元彦
①東京都
②バスケットボール
③バイク

オオタ先生／
マナミのおじいちゃん

久保田勝彦
①東京都
②なし
③バイク

生徒役

亀岡幸大
①群馬県
②硬式テニス部
③パソコンの
組み立て

愛護センターの職員／
生徒役

向　暁子
①東京都
②なし
③なし（笑）

生徒役

山形敏之
①東京都
②天文部
③アニメ・漫画

マナミ役

髙原瑞季
①神奈川県
②ダンス部
③洋服・メイク用品

リン役

宮藤希望
①東京都
②合唱部・生物部
③顧問の先生の
息子さんのバンド

ジュリナ役

早坂聡美
①福島県
②美術部
③「ハム太郎」の
ハム語

ハルノ役

北畠愛美
①兵庫県
②演劇部
③アニメ・コスプレ・
プリクラ

チバちゃん役

和田星来
①東京都
②帰宅部
③音楽・ギター・
ライブ

Ⅵ 令和2年度「文化芸術による子供育成総合事業」出演希望調書(実演芸術)

種　目(いずれかに○をつけて下さい。)

【 音　　楽 】	合唱, オーケストラ等, 音楽劇
【 演　　劇 】	児童劇, 演劇, ○ミュージカル
【 舞　　踊 】	バレエ, 現代舞踊
【 伝統芸能 】	歌舞伎･能楽, 人形浄瑠璃, 邦楽, 邦舞, 演芸

申請する区分に, ○を付してください。　　○A区分のみ ・ A区分とB区分の両方 ・ C 区分

複数申請の有無(該当する方に○を付してください。)　　あ り ・ ○な し

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当する選択肢のいずれかに○を付してください。)
(1) 公演の実施時期が重複しても, 複数の企画を実施可能
(2) 公演の実施時期が重複しなければ, 複数の企画を実施可能
(3) 提案したいずれか1企画のみ実施可能
(4) その他(　　)

芸術文化団体の概要

ふりがな 制作団体名	ゆうげんがいしゃ　ゆうげんしゃ 有限会社　遊玄社		
代表者職･氏名	代表取締役 田邉慶一		
制作団体所在地 (最寄り駅･バス停)	〒164-0003 東京都中野区東中野3－4－2 (JR 東中野駅)		
電話番号	03-3369-4319	FAX番号	03-3369-4319
ふりがな 公演団体名	えんげきしゅうだん　ゆうげんしゃ 演劇集団　遊玄社		
代表者職･氏名	代表　田邉慶一		
公演団体所在地 (最寄り駅･バス停)	〒164-0003 東京都中野区東中野3－4－2 (JR 東中野駅)		
制作団体設立年月	平成 6 年(1994 年) 6 月		
制作団体組織	役　職　員	団体構成員及び加入条件等	
	代表取締役　田邉慶一 取締役　　田邉俊子	赤羽弘行、桑垣紀彦、平山盛一、間辺稔、矢田秀明、柳井萬治郎、 馬渡千春、わたなべひろみ、安井希久子 野田ヒカル、細川薫、三浦咲	
事務体制の担当	専任　・ ○他の業務と兼任	本事業担当者名	田邉慶一 田邉俊子
経理処理等の監査担当の有無	○有　・　無	経理責任者名	田邉俊子

<table>
<tr><td>制作団体沿革</td><td colspan="3">令和6年6月設立。振付・演出家関矢幸雄氏のもとで長年、演劇・ミュージカルに取り組んできた俳優とスタッフが、新たな演劇表現の可能性を求めて結成。自由な発想で既成の演劇表現や観客の年齢・国籍に囚われない舞台の創造を目指す。</td></tr>
<tr><td>学校等における公演実績</td><td colspan="3">平成29年9月4日～8日　鳥取県青少年劇場巡回公演
平成30年9月5日～13日　宮城県文化育成事業</td></tr>
<tr><td>特別支援学校における公演実績</td><td colspan="3">平成27年　広島県立尾道特別支援学校
平成29年　茨城大学教育学部附属特別支援学校
平成30年　東京都立墨東特別支援学校
兵庫県立姫路しらさぎ特別支援学校
香川県立香川中部養護学校</td></tr>
<tr><td rowspan="7">参考資料の有無</td><td rowspan="4">A</td><td>申請する演目のチラシパンフレット等</td><td>○有　・　無</td></tr>
<tr><td>申請する演目の DVD または WEB 公開資料</td><td>○有　・　無</td></tr>
<tr><td>※公開資料有の場合 URL</td><td>www.yugensha.co.jp</td></tr>
<tr><td>※閲覧に権限が必要な場合の ID およびパスワード</td><td>ID:
PW:</td></tr>
<tr><td rowspan="3">A の提出が困難な場合</td><td>今回申請する演目に近い演目で公演の様子がわかる内容の DVD または WEB 公開資料</td><td>有　・　無</td></tr>
<tr><td>※公開資料有の場合 URL</td><td></td></tr>
<tr><td>※閲覧に権限が必要な場合の ID およびパスワード</td><td>ID:
PW:</td></tr>
</table>

公 演 ・ ワークショップの内 容　　**【公演団体名 演劇集団 遊玄社】**

対	小学生(○低学年 ・ ○中学年 ・ ○高学年) ・ 中 学 生
企画名	音楽劇・イソップランドの動物たち
本公演演目 原作／作曲 脚 本 演出／振付	音楽劇・イソップランドの動物たち 原 作／イソップ寓話　　構成・演出／関矢幸雄 音楽・演奏指導／Themba Tana(テンバ・タナ)　美 術／中地智 照 明／佐久間巨照　　衣 装／本田朋子 演 出 補／花輪充　　制 作／田辺慶一 公演時間(1時間 25 分)

著作権		制作団体が所有	○	制作団体以外が所有する事項が含まれる	有	(制作団体以外が所有する事項が含まれる場合) 許諾の有無

演 目 概 要	この作品は数多あるイソップ寓話から、「ライオンとネズミ」「キツネとカラス」「犬とオンドリとキツネ」「カニの親子」「アリとキリギリス」「オオカミと羊番の少年」「ウサギとカメ」「王様を欲しがったカエルたち」の八つのエピソードを選び構成したオムニバス・ミュージカル・コメディです。音楽は南アフリカ出身の民族音楽家テンバ・タナ氏(カナダ在住)を招き、ジンバブエの楽器店に注文製作したマリンバ、フィンガーピアノをはじめとする民族楽器とアカペラコーラスで、20曲を超えるミュージカル・ナンバーのすべてを9人の俳優が演奏し歌います。舞台芸術の最大の魅力は『生』という考えから、音響機材は一切使わず、音楽はもちろんのこと、鳥や動物の鳴き声などの効果音に至るまですべて生の音で伝えます。
演目選択理由	イソップ寓話はよく知られているがゆえに、古臭い教訓話として捉えられがちです。しかし、その内容には、動物の姿を借りて現代にも通じる人間の在り様が、楽しく陽気に描かれています。「笑い」は生物の中で人間だけが持つ良き生命の証しの一つです。しかしながら、今の子供たちの笑いには後味の悪いものも多数見受けられます。それは弱者を揶揄したり、自虐的な言動で笑いを取ろうとするものなどです。残念ながら、その種の笑いが好きなのも子供たちです。イソップの教訓話を材料として、それとは異なる屈託ない笑いを表現、体験できたらと考え、身体とアフリカ民族音楽の生演奏の表現を中心に据えた音楽劇として制作いたしました。
児童・生徒の共演，参加又は体験の形態	この作品は初演当時から、観客の参加・共演が劇中に組み込まれています。 「ウサギとカメ」の上演後に『みんなで遊ぼう』という場が 20 分近くにわたり展開されます。 内容は、〈1. 俳優が扮する動物の名前当て。2. 子供たちが好きな動物に扮し、俳優の演じる動物と吠え声を競う。3. 俳優の扮するワニの棲む川を子供たちがつかまらずに渡る。4. 渡ろうとする子どもを民族楽器の演奏で応援する。〉といったものです。 外部から受けた文化・芸術的な刺激をすぐにでも実践してみたいのが成長過程にある人間の特性の一つです。それを実現させ、実際の舞台の上で演劇の原点とも言える「表現遊び」を楽しんでもらえればと願っています。
出 演 者	赤羽弘行、桑垣紀彦、平山盛一、間辺稔、矢田秀明、柳井萬治郎 馬渡千春、安井希久子、わたなひろみ

公演出演予定者数 (1公演あたり)	出 演 者: 9名 ス タ ッ フ: 2名 合 計: 11名	機 材 等 運搬方法	積載量 3.6t 車 長 8.6m 台 数 1 台

【公演団体名　演劇集団 遊玄社】

<table>
<tr><td>公演に当たっての
会　場　条　件</td><td>実施条件等確認書①をご確認ください。</td></tr>
<tr><td>会場設営の所要時間(タイムスケジュール)の目安</td><td>前日仕込み(　有　・　○無　)　会場設営の所要時間(　3.5 時間程度　)
<table>
<tr><th>到着</th><th>仕込み</th><th>本公演</th><th>内休憩</th><th>撤去</th><th>退出</th></tr>
<tr><td>9時</td><td>9時～12 時 30 分</td><td>1 時 15 分～2 時 50 分</td><td>なし</td><td>3 時～4 時 50 分</td><td>17 時</td></tr>
</table>
※本公演時間の目安は、午後1時乃至1時 30 分からの概ね2時限分程度です。</td></tr>
<tr><td>児　童　・　生　徒
の参加可能人数</td><td>ワークショップ　120名まで
本公演　500名程度</td></tr>
<tr><td>ワークショップ
実　施　形　態
及　び　内　容</td><td>生徒児童(最大120名くらいまで)を対象に以下のような手順で「表現ワークショップ」を行います。
②　参加生徒各自が名札(自分が呼ばれたいと思う愛称)を書いて、胸に貼る。
②　お手玉を使って、準備運動と相手との距離を認識する遊び。
③　バンダナ等の布を工夫して動物の形態を表現する。
④　劇中で使われる簡単な身体表現を体験する。
⑤　アフリカ民族楽器(ジャンベ、カンコグイ、カバサ)を使ってのリズム遊び。
⑥　劇中曲(民族音楽)の演奏と歌唱指導。</td></tr>
<tr><td>ワークショップ
実施形態の意図</td><td>舞台芸術は、複数の人間がその創作に係わり、複数の人間が、同じ場所で同時に鑑賞できるという特性から、他の芸術ジャンルに比べ社会性を強く持つものの一つです。とりわけ演劇は芸術の様々な分野の性格を併せ持つ総合芸術と言われ、人と人との関係を表現することで、個々が担う社会性や社会正義を認識する一助となり、健全な人間社会の維持に一定の役割を果たしていると思われます。そのための表現の基礎を、楽しく経験してもらおうという意図で上記のような実施形態を取ります。
①は自分以外の人格を認識してもらうという意図。②では、お手玉をいろいろな距離、方法で投げ合い、表現は相手に伝わることが重要ということを身を持って体験してもらおうという意図。③，④は芸術を受け取るのに必要な感性や想像力を働かせて、創造へと繋げて欲しいとの意図。⑤は異文化を楽しく体験し、⑥では、より楽しく作品を観て、参加してもらうためのものです。</td></tr>
<tr><td>特別支援学校での
実施における工夫点</td><td>(ワークショップ)音楽を中心に、指導者が参加者と同じ目の高さで、個々の状態・コンディション・体調に合わせた表現方法の指導と、リズム遊びの実践。
(公演)今までの経験から、特に変更の必要はないと思います。</td></tr>
<tr><td>実施可能時期</td><td>実施可能時期スケジュール表をご確認ください。</td></tr>
</table>

「音楽劇・イソップランドの動物たち」出演予定メンバー表

1. 桑垣 紀彦(くわがき みちひこ)

2. 柳井 萬治郎(やない まんじろう) 本名:智寿(ともひさ)

3. わたなべ ひろみ 本名:渡部 浩美

4. 赤羽 弘行(あかば ひろゆき)

5. 矢田 秀明(やた ひであき)

6. 平山 盛一(ひらやま せいいち)

7. 間辺 稔(まなべ みのる)

8. 安井 希久子(やすい きくこ)

9. 馬渡 千春(まわたり ちはる)

令和元年 7 月現在

演劇集団 遊玄社

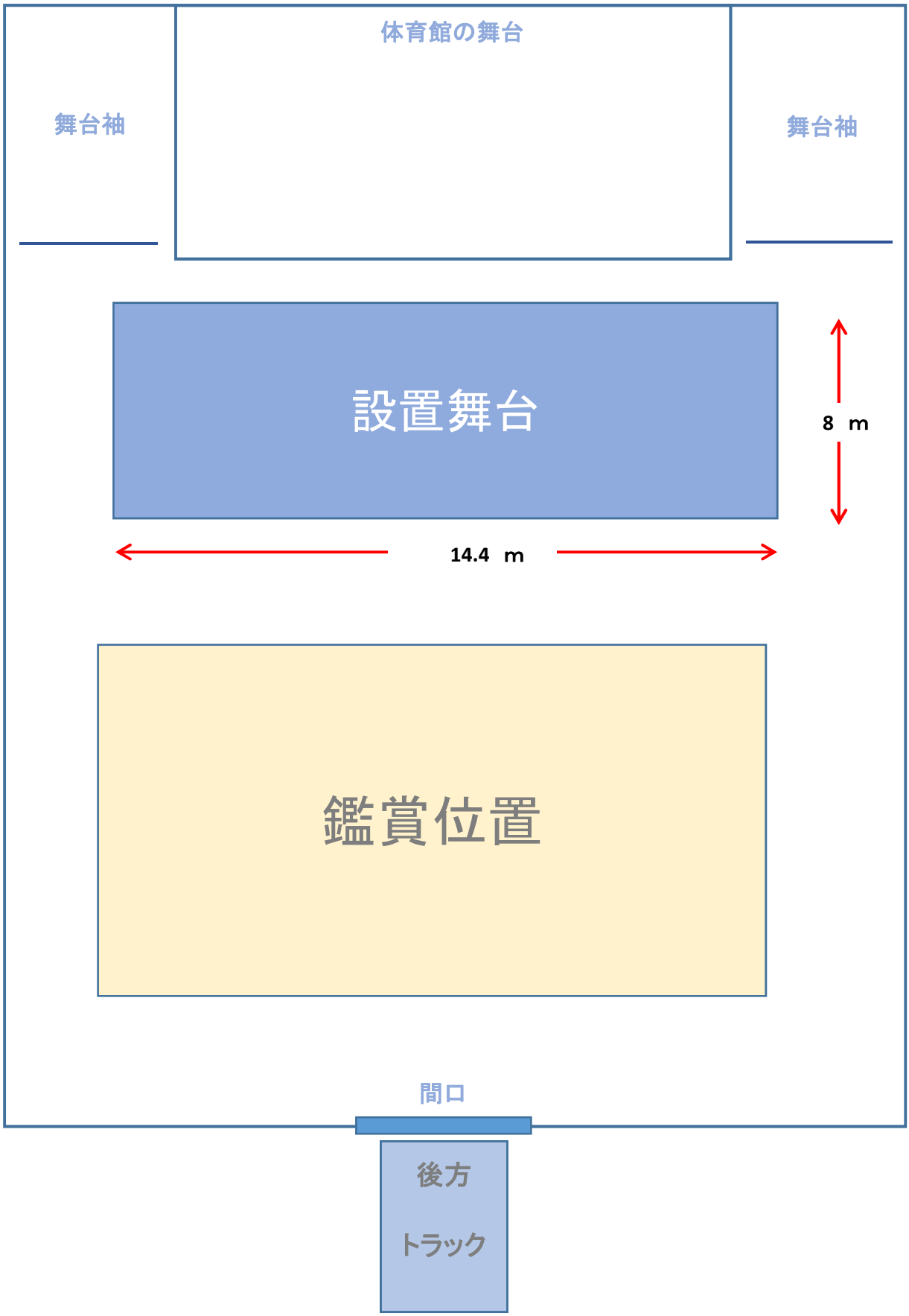
【令和2年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－実施条件等確認書①】

ID	I103	分野	演劇	種目	ミュージカル	ブロック	I	区分	A区分
公演団体名	演劇集団遊玄社				制作団体名	有限会社　遊玄社			

① 会場条件等についての確認

項目	応相談	必要条件等							
控室について	可	必要数＊	1室	条件	11人分の机と椅子。電源(コンセント)				
搬入について	不可	来校する車両の大きさと台数＊			4tトラック　1台	バン　1台			
	不可	来校する車両の内，横づけが必要な車両の大きさ			全長8.61m 幅2.27m 全高3.28m　4tｱﾙﾐﾊﾞﾝﾄﾗｯｸ				
	可	搬入車両の横づけの要否＊			要				
	可	横づけができない場合の搬入可能距離＊			30m以内				
	可	搬入経路の最低条件			できる限り階段のない経路。				
		理由			60kgを超えるマットがあるため。				
	可	設置階の制限＊			エレベーターの設置等があれば2階以上も可				
	可	搬入間口について 単位:メートル	幅	2m	高さ	2m			
WSについて	可	参加可能人数		120名程度まで					
	―	学年の指定の有無＊		なし	指定学年＊	なし			
	可	所要時間の目安 単位:分		100分程度					
本公演について		会場設営・本公演・メインプログラムの所要時間		※「出演希望調書」内「会場設営の所要時間(タイムスケジュール)の目安をご参照ください。					
	可	鑑賞可能人数		500名程度まで					
	不可	舞台設置場所＊		フロア					
	可	舞台設置に必要な広さ 単位:メートル	幅	14.4	奥行	8m	高さ	4m	
	可	体育館の舞台を使用する場合の条件	舞台袖スペースの確保＊	要					
	可		舞台袖スペースの条件＊	1m幅ほどのスペース。					
	―		緞帳＊	不要	バトン＊	不要			
	―	遮光(暗幕等)の要否＊		不要	理由	制作当初から暗幕なしを設定。			
	―	ピアノの調律・移動の要否	指定位置へのピアノの移動＊	不要	※指定位置は会場設置図面にて御確認ください。				
	―		ピアノの事前調律＊	不要					
	可	フロアを使用する場合の条件	バスケットゴールの設置状況＊	格納されていれば可					
	可	公演に必要な電源容量		60A	※主幹電源の必要容量				
	その他特記事項								
		特にありません。							

会場図面(表記単位:メートル)



搬入間口について	幅	2m	高さ	2m
搬入車両の横づけの要否		要		
横づけができない場合の搬入可能距離		30m以内		

※搬入に関する条件の詳細については、図面上の表にて御確認ください。

９人の俳優たちが、アフリカの楽器を陽気に奏でながら、
歌とおしゃべりと身体（からだ）で演じる、イソップ話の愉快で楽しいミュージカル

音楽劇・イソップランドの動物たち

イソップ寓話より　構成・演出／関矢幸雄　音楽・演奏指導／テンバ・タナ
美術／中地 智　照明／佐久間 巨照　制作／田辺慶一

厚生労働省児童福祉文化賞推薦作品

この作品は大小数十枚の布と俳優の身体・声だけで様々な動物を表現し、南部アフリカに伝わる民俗音楽に乗せて、子どもたちの鋭い感性を刺激し、その自由な想像の翼をいっぱいに広げてもらえたらとの想いで制作したミュージカル・コメディです。音楽は南アフリカ出身の民族音楽家 テンバ・タナ氏をカナダから迎え、ジンバブエで注文製作した民族楽器を駆使して二十五を数えるすべての楽曲を生で演奏し歌います。観客との直接のふれあいこそ演劇の最大の魅力との考えから、録音された音楽やマイクは一切使用せず、スピーカーから出る音はありません。

他人の弱点や失敗をあざけるような後味の悪い笑いではなく、子どもらしい屈託のない笑いと、生の舞台の迫力と魅力が、それぞれの心に伝わることを願っています。

ものがたり

【ライオンとネズミ】ライオンが昼寝しているところへ、小さなネズミがぶつかりました。ライオンはネズミを捕らえ、食べてしまおうとしますが……

【カラスとキツネ】カラスがチーズを盗んで、木の上で休んでいるところへキツネがやってきて……

【犬とオンドリとキツネ】犬とオンドリが仲良しになり、一緒に旅に出ました。夜が来るとオンドリは木の上で、犬は番をするように根元の穴で眠りにつきました。ところが、未だ夜の明けきらないうちに、オンドリが時を告げたので、近くにいたキツネに聞きつけられてしまいます……

【カニの親子】カニの親子がいました。親ガニは子ガニが横にしか歩かないのを見て怒りだします…

【アリとキリギリス】夏には働かずに歌って遊んでばかりいたキリギリスが、冬になって食べ物をもらおうとアリを訪ねますが……。誰もが知っている有名なたとえ話です。

【オオカミと羊番の少年】羊番の少年が村人たちをだましてやろうと、「オオカミが来た!」とうそをつく、おなじみの物語です。

【ウサギとカメ】足の速いウサギと鈍足のカメが競争するという、これも有名なエピソードです。

【王様を欲しがったカエルたち】汚れ荒れ果てた池に棲むカエルたちが、きれいな棲み良い池にするために、昔この池にいた立派な王様を再び授けてくれと、神様に祈りをささげますが……

出演／赤羽弘行　桑垣紀彦　平山盛一　間辺稔　馬渡千春　矢田秀明
柳井萬治郎　安井希久子　わたなべひろみ

関 矢 幸 雄

演出家。俳優座養成所研究生から舞踊に転じ、昭和 35 年創作舞踊「山ふところ」で芸術選奨を受賞。その後、菊田一夫氏のもと東宝ミュージカルの振付、演出を手がける。また、NHK 教育テレビで脚本家･早坂暁氏とコンビで斬新な子ども番組を創り出す。代表作は「マイフェア･レディ」「屋根の上のバイオリン弾き」「風と共に去りぬ」「素劇・楢山節考」「寿劇・東京行進曲」他。児童・青少年演劇の代表作は「ミュージカル・山彦ものがたり」「宝のつるはし」「UBU-BOM!－いのちのひびき－」「シンプルプレイ･白頭鷲と少年－ホープおじさんの旅行記より－」他多数。
平成３年紫綬褒章、６年読売演劇大賞演出家優秀賞８年勲四等旭日小綬章を受ける。

テンバ･タナ（Themba Earnest Tana）

アフリカ民族音楽家。南アフリカ共和国ケープタウンに生まれる。アパルトヘイト政策の中、苦労しながら独学で音楽を学ぶ。ニッサンの現地法人でアルバイトをしながら、ストリート･ミュージシャンとして腕を磨く。そのパフォーマンスが評価され奨学金を受けてジンバブエのクワノゴマ大学に入学。在学中に南部アフリカ諸国を旅し、さまざまな民族音楽･舞踊の蒐集をする。1980 年のジンバブエ独立祭の民族音楽と舞踊を担当。同年、作曲･振付を担当した映画「草は歌う」がカンヌ映画祭スペシャルメンション賞を受賞。その後カナダに移住し、フォークソングのピート・シーガーやジャズのディジー･ガレスピーなどと共演。ジャンルを超えた音楽活動を展開。現在、バンクーバー在住。

平成 11 年　厚生労働省中央児童福祉審議会 児童福祉文化省推薦作品
平成 21 年 第 17 回ソウル国際児童青少年演劇フェスティバル招聘公演
平成 23 年 東アジア児童青少年舞台芸術フェスティバル招待公演
平成 13 年度 文化庁「芸術文化ふれあい教室」選定、
平成 14,15,16,19.20.21 年度 文化庁「本物の舞台芸術体験事業」選定、
平成 22 年度 文化庁「子どものための優れた舞台芸術体験事業」選定
平成 23.24.25 年度 文化庁「次代を担う子どもの文化芸術体験事業」選定
平成 26.27.28.29.30.年度 文化庁「文化芸術による子供の育成事業」選定
令和元年度 文化庁「文化芸術による子供育成総合事業」選定

演劇集団 遊玄社　☎03-3369-4319　e-mail tc@yugensha.co.jp

Ⅵ 令和2年度「文化芸術による子供育成総合事業」出演希望調書(実演芸術)

種　目(いずれかに○をつけて下さい。)　　B 区分(令和元年度採択　延長)

【 音　　楽 】　合唱, オーケストラ等, 音楽劇
【 演　　劇 】　児童劇, 演劇, ミュージカル
【 舞　　踊 】　(バレエ), 現代舞踊
【 伝統芸能 】　歌舞伎・能楽, 人形浄瑠璃, 邦楽, 邦舞, 演芸

申請する区分に, ○を付してください。　　A区分のみ　・　(A区分とB区分の両方)　・　C 区分

複数申請の有無(該当する方に○を付してください。)　　あ り　・　(な し)

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当する選択肢のいずれかに○を付してください。)
(1) 公演の実施時期が重複しても, 複数の企画を実施可能
(2) 公演の実施時期が重複しなければ, 複数の企画を実施可能
(3) 提案したいずれか1企画のみ実施可能
(4) その他(　　)

芸術文化団体の概要

ふりがな 制作団体名	いっぱんざいだんほうじん　たにももこばれえだん 一般財団法人 谷桃子バレエ団		
代表者職・氏名	代表理事 新倉 学		
制作団体所在地 (最寄り駅・バス停)	〒158-0083 東京都世田谷区奥沢5丁目23番20号 バロンズコート自由が丘 B1 (自由が丘、奥沢)		
電話番号	03－5726－9990	FAX番号	03－5726－9992
ふりがな 公演団体名	たにももこばれえだん 谷桃子バレエ団		
代表者職・氏名	代表理事:新倉 学		
公演団体所在地 (最寄り駅・バス停)	〒158-0083 東京都世田谷区奥沢5丁目23番20号 バロンズコート自由が丘 B1 (自由が丘、奥沢)		
制作団体設立年月	平成 26 年 7 月		
制作団体組織	役　職　員	団体構成員及び加入条件等	
	代表理事:新倉学(芸名:赤城圭) 理　事:坂本尚子、大川敦子、足立礼子、小林康子、中武啓吾、日原永美子、　三木雄馬 評議員:水上浩一、齊藤拓、竹本夕紀	〈団体構成員〉 団員:107 名(内男性30)、準団員:33 名 団教師:11名、総務・制作:5名 〈加入条件〉研究所の教師等による推薦、及び一般公募入団テストにより団幹部が協議、選考する。	
事務体制の担当	専任　・　(他の業務と兼任)	本事業担当者名	前田修(株式会社新演)

経理処理等の監査担当の有無	(有) ・ 無	経理責任者名	田代仁美

制作団体沿革	1949(昭和 24)年、東京バレエ団のプリマバレリーナとして活躍していた谷桃子が独立し、谷桃子バレエ団を創立。1997(平成 9)年 8 月 4 日有限会社谷桃子バレエ団研究所として設立現在に至る。 創立以来、毎年のように自主公演を続け、2009 年及び 10 年には創立 60 周年記念として、古典と創作による6作品の公演を行い、「レ・ミゼラブル」に対し第65回文化庁芸術祭大賞が授与された。 2014(平成 26)年 7 月 1 日一般財団法人谷桃子バレエ団を設立。団の芸術活動及び古典、創作を含むクラシックバレエの普及を目的に意欲的に取り組んでいる。
学校等における公演実績	平成20年11月19日、平成23年11月10日 藤沢市民会館(1,380)鵠沼高等学校「白鳥の湖」全幕
特別支援学校における公演実績	平成20年10月29日沖縄県立西崎養護学校　平成21年10月23日徳島県立聾学校 平成23年10月13日滋賀県立草津養護学校　平成24年10月15日富山県立富山聴覚総合支援学校 平成29年11月16日埼玉県立特別支援学校坂戸ろう学園 令和元年度10月15日福岡県立直方特別支援学校

参考資料の有無	A	申請する演目のチラシパンフレット等	(有) ・ 無
		申請する演目の DVD または WEB 公開資料	(有) ・ 無
		※公開資料有の場合 URL	https://www.tanimomoko-ballet.or.jp/
		※閲覧に権限が必要な場合の ID およびパスワード	ID: PW:
	A の提出が困難な場合	今回申請する演目に近い演目で公演の様子がわかる内容の DVD または WEB 公開資料	有 ・ 無
		※公開資料有の場合 URL	
		※閲覧に権限が必要な場合の ID およびパスワード	ID: PW:

公 演 ・ ワークショップの内 容　　**【公演団体名 谷桃子バレエ団】**

対　　象	小学生(低学年 ・ 中学年 ・ 高学年) ・ 中 学 生
企画名	実演と解説:バレエを知っていますか？　公演「白鳥の湖」ダイジェスト版
本公演演目 原作／作曲 脚　　本 演出／振付	第1部 クラシックバレエについての解説と練習風景の実演(35分) 第2部「白鳥の湖」 ダイジェスト版(45 分) 「白鳥の湖」 作曲:ピョートル・イリイチ・チャイコフスキー 原振付:マリウス・プティパ, レフ・イワノフ 再演出／振付:谷桃子　振付／髙部尚子 ダイジェスト版構成／脚本:橋本 潔 バレエミストレス:大塚礼子 バレエマスター:中武啓吾　　公演時間(95 分)
著作権	○ 制作団体が所有　　制作団体以外が所有する事項が含まれる　　(制作団体以外が所有する事項が含まれる場合)許諾の有無
演 目 概 要	世界各地に伝承される白鳥姫の民話や伝説をもとに構成されたロマンティック作品。 悪魔ロットバルトによって白鳥に姿を変えられた王女オデットと、王子ジークフリートのはかなくも美しい恋の物語。年齢を問わず親しみやすい、チャイコフスキーの数々の名曲に乗せて踊られる全4幕構成の作品から、この企画では特に‘4羽の白鳥’など代表的なヴァリエーションやグラン・パ・ド・ドゥ、隊列の美しいコール・ド(群舞)などが観られる典型的なバレエ・ブラン(「白いバレエ」)の第2幕と、スペイン、チャルダッシュ(ハンガリー)など中世ヨーロッパ各国の民族色豊かな舞踊とともに、激しく技巧に富んだパを盛り込んだグラン・パ・ド・ドゥが踊られる華やかな第3幕を抜粋で上演します。 公演は二部構成の形をとり、「白鳥の湖」鑑賞の前にはバレエの成り立ちや歴史、基本的な動作や躰の使い方やマイムなど、実演を交えて解りやすくお話しします。 バレエの名作として名高い作品ながら、実際に観たことはないという人が多い「白鳥の湖」を題材に、基本的な稽古の積み重ねが芸術作品となる過程を実感いただき、また、総合芸術としてのバレエの美しさ、楽しさを体験いただくことができます。
演目選択理由	「音楽もタイトルも勿論聞いたことがあるけれど…。」バレエといえば真っ先に頭に浮かぶ「白鳥の湖」ですが、では、実際に舞台を観たことがあるかと問われれば無い人が大多数です。全幕をご覧頂くだけの時間はありませんが、ダイジェスト版に触れていただくことで、名作と謳われる理由を感じ、舞台鑑賞のきっかけにしていただきたいと願っています。
児童・生徒の共演，参加又は体験の形態	本公演は二部構成となっており、前半「バレエについてのお話し」の部では、団員とともにバレエの基礎レッスンである‘バー・レッスン’と、男性ダンサーが女性ダンサーのポーズを支える‘アダージオ’の応用編と、物語の進行に不可欠な‘マイム’の実演に参加します。 後半「白鳥の湖」上演の部では、メイク・衣裳付きで、第3幕の舞踏会の客人役で共演します。体育館の舞台は使用せず、平場(床)に舞台面を設営することで、鑑賞する生徒さんたちとの一体感を大切にしたいと考えます。 また、バレエの出演者としての参加共演以外に、舞台を作る作業の見学も考慮します。安全性の問題から実際の作業への参加は困難ですが、舞台設営の為の搬出入や音響、照明などいろいろなスタッフが協力して一つの舞台を作り上げる過程を見学してもらいたいと思います。

出　　演　　者	解説及び王妃役 ： 尾本安代, 又は日原永美子 舞踊手 ： 別添「出演予定のメンバー表」		
公演出演予定者数 （1公演あたり）	出 演 者:　35名 ス タ ッ フ:　25名 合　　計:　60名	機 材 等 運搬方法	積載量　　4t 車 長　8.8m 台 数　　2台

【公演団体名　谷桃子バレエ団】

<table>
<tr><td>公演に当たっての会場条件</td><td>実施条件等確認書①をご確認ください。</td></tr>
<tr><td>会場設営の所要時間（タイムスケジュール）の目安</td><td>前日仕込み(無) 会場設営の所要時間(2 時間 30 分程度)
<table><tr><td>到着</td><td>仕込み</td><td>本公演</td><td>内休憩</td><td>撤去</td><td>退出</td></tr><tr><td>8 時</td><td>8 時～13 時</td><td>13:30～15:10</td><td>15 分</td><td>15:10～16:20</td><td>16:30</td></tr></table>※本公演時間　第1部(35 分)、 休憩(15 分)、 第 2 部(45 分)</td></tr>
<tr><td>児童・生徒の参加可能人数</td><td><table><tr><td>ワークショップ</td><td>120 名</td></tr><tr><td>本公演</td><td>500 名</td></tr></table></td></tr>
<tr><td>ワークショップ実施形態及び内容</td><td>バレエの基本的な動きを覚えてもらう為、基礎となる‘バー・レッスン’と、簡単な‘センター・レッスン’(バー・レッスンの応用)を行います。バレエ特有の手足のポジションや動かし方とともに、バレエの物語進行に欠かせない‘マイム’(動作による会話)の主立ったものを指導します。
また、総合芸術としてのバレエという意味で、まず音楽に親しんで頂くことを希望します。ワークショップの際に「白鳥の湖」の主だった曲を収録したCDをお渡ししますので、音楽の時間に学習、または、昼食・清掃の時間などに聴いて親しんでいただくことにより、本公演徒さんたちの鑑賞が効果的なものになることと思います。</td></tr>
<tr><td>ワークショップ実施形態の意図</td><td>バレエの動きは最も基本的な「立つ」ことから普段の体の使い方とは全く違います。そこから少しずつ手足を動かし大きな動きや回転へと発展させることで、バレエの美しい動きがいかに効率的に成り立っているか、そして一朝一夕には習得し得ない技術であることを実感していただきます。
また、台詞のない物語進行に欠かせないマイムを体験することで、動作により会話ができることを実感していただきます。
これらを理解することにより、当日、目前で展開する舞台への興味をより一層深めていただけることと思います。</td></tr>
<tr><td>特別支援学校での実施における工夫点</td><td>・聾学校の例＝第1部の解説や第2部のあらすじ朗読が生徒の皆さんにしっかり伝わるよう、バレエの専門用語や全体の内容及び進行について、ご希望により学校と事前に細かい打ち合わせをいたします。学校側には手話通訳のご準備など御協力を仰ぐことになりますが、前日に全体の流れを実際にリハーサルすることも出来ます。
・養護学校の例＝障害の度合いにより、昼食に時間がかかるなど通常のタイムスケジュール通りに公演を進行することが困難な場合は、第1部と第2部を、昼食を挟んで午前と午後に分けゆとりを持たせるなど、生徒の皆さんの状況により対応いたします。</td></tr>
<tr><td>実施可能時期
◇はＢ区分申請団体のみ</td><td>実施可能時期スケジュール表をご確認ください。</td></tr>
</table>

令和2年度　出演予定メンバー表　　谷 桃子バレエ団					
舞踊手	尾本安代	舞踊手	圓札茉由	舞踊手	三木雄馬
〃	佐藤麻利香	〃	平野 彩	〃	檜山和久
〃	齊藤 耀	〃	松本未来	〃	牧村直紀
〃	日原永美子	〃	蓮池うい	〃	吉田邑那
〃	竹内菜那子	〃	手塚歩美	〃	安村圭太
〃	馳 麻弥	〃	山田実希	〃	中村慶潤
〃	山口緋奈子	〃	佐藤 舞	〃	市橋万樹
〃	前原愛里佳	〃	田中杏奈	〃	中武啓吾
〃	斉藤加津代	〃	根橋美奈	〃	菅沼寿一
〃	永井裕美	〃	長野みなみ	〃	服部 響
〃	下元菜瑠美	〃	島倉花奈	〃	横岡 諒
〃	浅野華子	〃	橋口綾乃	〃	土井翔也人
〃	黒木未来	〃	白井成奈	〃	石井潤太郎
〃	種井祥子	〃	大川実久	〃	池澤嘉政
〃	森本悠香	〃	渡辺 栞	〃	望月寛斗
〃	栗原千帆	〃	上北菜摘	〃	清水豊弘
〃	山本知佳	〃	沖津麗華		
〃	塚田七海	〃	甲斐留実		
〃	荒川みなみ				
〃	島 亜沙美	ピアニスト	稲葉智子		
〃	星加梨那				
〃	北浦児依				
〃	古澤可歩子				
〃	篠塚真愛				
〃	岩田光加				
〃	梅田胡桃				

※出演者は、35名です。 この中から人選されます。

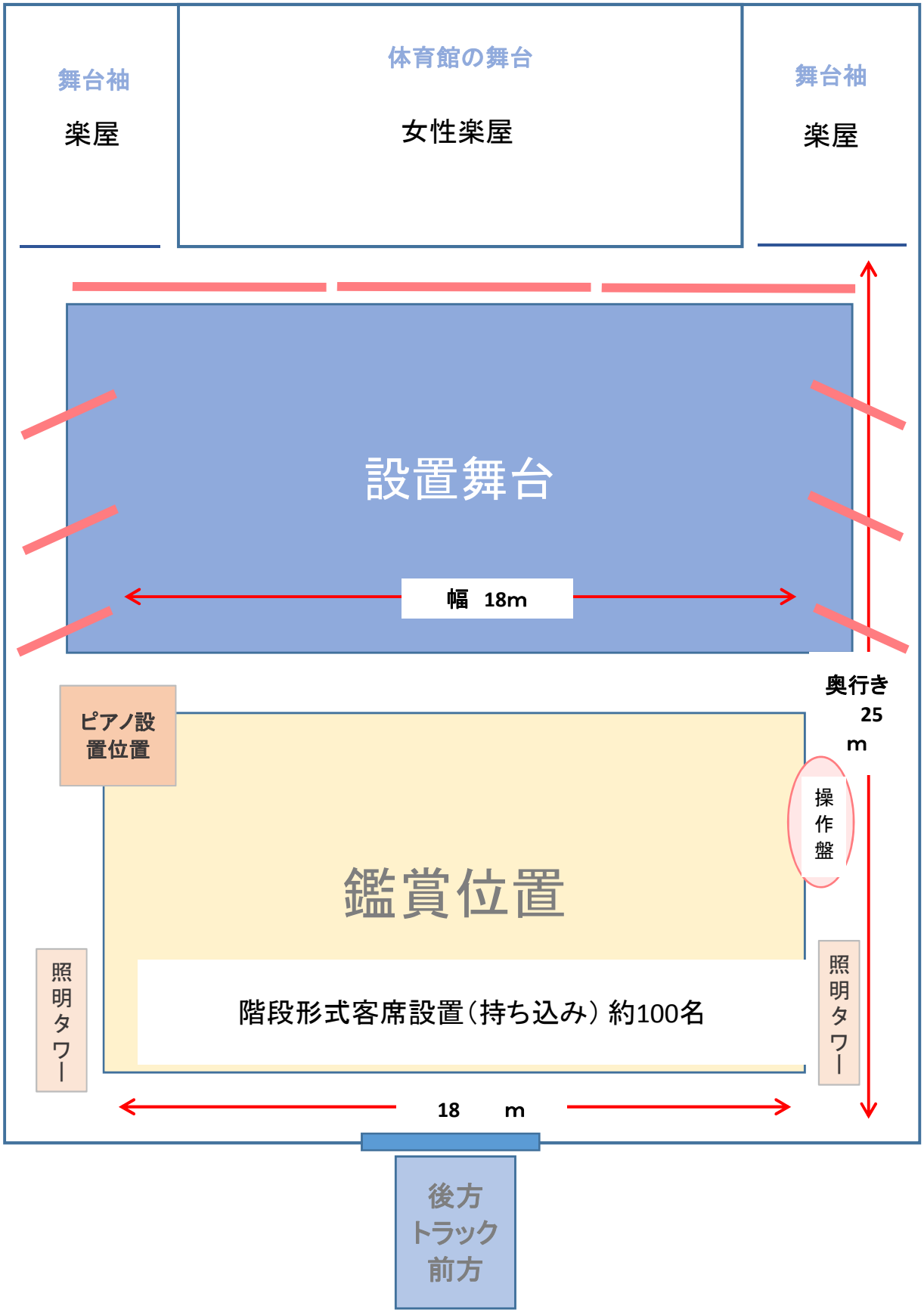
【令和2年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－実施条件等確認書①】

ID	I104	分野	舞踊	種目	バレエ	ブロック	I	区分	B区分
公演団体名	谷桃子バレエ団				制作団体名	一般財団法人谷桃子バレエ団			

① 会場条件等についての確認

項目	応相談	必要条件等							
控室について	可	必要数＊	4室	条件	ステージ（女性）、ステージ両袖（男性、衣裳）、スタッフ（1）※体育館に近い教室				
搬入について	不可	来校する車両の大きさと台数＊			4tトラック 2台、（※大型バス2台）				
	不可	来校する車両の内，横づけが必要な車両の大きさ			4tトラック 2台				
	可	搬入車両の横づけの要否＊			要				
	可	横づけができない場合の搬入可能距離＊			5m以内				
	可	搬入経路の最低条件			・できる限り階段のない経路が望ましい。 ・屋根のある経路が望ましい。				
	／	理由			大道具、照明機材等搬入のため				
	不可	設置階の制限＊			2階以上不可				
	不可	搬入間口について 単位：メートル	幅	1.8m		高さ	2m		
WSについて	可	参加可能人数		120名以内（応相談）					
	可	学年の指定の有無＊		なし	指定学年＊	なし			
	可	所要時間の目安 単位：分		約90分					
本公演について	／	会場設営・本公演・メインプログラムの所要時間		※「出演希望調書」内「会場設営の所要時間(タイムスケジュール)の目安をご参照ください。					
	可	鑑賞可能人数		500名以内（応相談）					
	不可	舞台設置場所＊		フロア					
	可	舞台設置に必要な広さ 単位：メートル	幅	18m	奥行	25m	高さ		
	不可	体育館の舞台を使用する場合の条件	舞台袖スペースの確保＊	要					
	不可		舞台袖スペースの条件＊	要					
	不可		緞帳＊	要	バトン＊	不要			
	不可	遮光(暗幕等)の要否＊		要	理由	照明効果のため			
	可	ピアノの調律・移動の要否	指定位置へのピアノの移動＊	要	※指定位置は会場設置図面にて御確認ください。				
	不可		ピアノの事前調律＊	要					
	不可	フロアを使用する場合の条件	バスケットゴールの設置状況＊	格納されていれば可					
	可	公演に必要な電源容量		20A	※主幹電源の必要容量				
	その他特記事項								
		※児童数が多く入りきらない場合は、低学年（中学年）のみリハーサルを鑑賞していただき対応							
		※より舞台に集中していただくために、100名対応の階段式客席を持参							

会場図面(表記単位:メートル)



搬入間口について	幅	1.8m	高さ	2m
搬入車両の横づけの要否		要		
横づけができない場合の搬入可能距離		5m以内		

※搬入に関する条件の詳細については、図面上の表にて御確認ください。

文化庁 文化芸術による子供の育成事業（巡回公演事業）

谷桃子バレエ団

Swan Lake

「白鳥の湖」第２幕より
オデットと王子のグラン・パ・ド・ドゥ

白鳥の湖 ダイジェスト版

実演と解説：バレエの歴史～バレエってなあに？

体育館が夢の世界に

一度は観ておきたい不朽の名作「白鳥の湖」を題材に、バレエの世界に触れて頂きます。
日々稽古を積むダンサーと、舞台スタッフの力がひとつの芸術を作ります。
総合芸術バレエの美しさ、感動を生の舞台で味わってください。
舞台は体育館のステージではなく、フロアに設営します。
いつもの体育館が素敵な夢の舞台に変身します。

児童の皆さんと共にバー・レッスン

「白鳥の湖」第３幕より黒鳥と王子のグラン・パ・ド・ドゥ

舞踏会の客人役で舞台に参加する児童の皆さん

公演は二部構成～児童 生徒の皆さんも参加します

第1部　バレエの成り立ちや歴史、基本的な動作やマイムなど、実演を交えて解りやすくお話しします。

第2部　チャイコフスキーの名曲に乗せて踊られる全４幕の作品から、‘四羽の白鳥’やグラン・パ・ド・ドゥ、コール・ド・バレエ（群舞）など幻想的で美しい第２幕と、スペインやハンガリーなどの民族色豊かな舞踊と、30 回以上回り続けるなど技巧に富んだ踊りが盛り込まれた華やかな第３幕を抜粋で上演します。

☆児童 生徒の皆さんの参加☆

児童 生徒の皆さんには **第1部** では事前のワークショップで体験いただいた内容で、**第2部** ではメイクと衣裳を付けて「白鳥の湖」第3幕の【舞踏会の客人】の役で共演いただきます。

体育館のフロアに設営された
リノリウム・ステージと照明タワー

事前開催のワークショップ

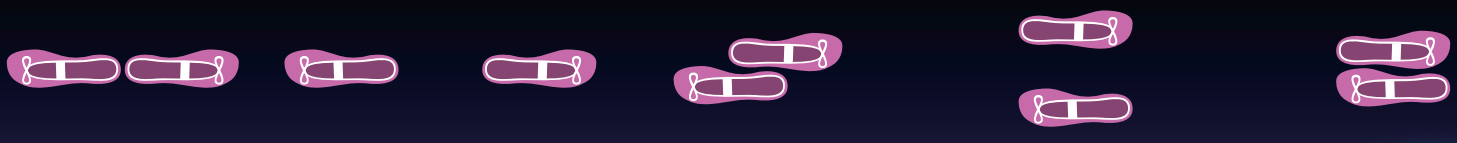
公演のほぼ１ヶ月前に実施されるワークショップでは、バレエの基本的な動きを覚えてもらう為、基礎となる‘バー・レッスン’と、簡単な‘センター・レッスン’（バー・レッスンの応用）、物語の進行に欠かせないマイムを体験していただきます。

私たちが指導にうかがいます

＊チャイコフスキーによる楽曲は親しみやすい物ばかり。音楽の時間に限らず、昼休みや清掃の時間等を活用し、周知いただくことにより、公演の鑑賞は更に効果的です。

バレエの基本ポジション

第１ポジション　第２ポジション　第３ポジション　第４ポジション　第５ポジション



谷桃子バレエ団：戦後日本バレエ界のプリマバレリーナとして一世を風靡した谷桃子が 1949 年に設立。「白鳥の湖」「ジゼル」他「ドン・キホーテ」「ラ・バヤデール」など多くの古典全幕作品をレパートリーにもつ。創作公演が困難な日本バレエ界にありながら創作作品の上演に精力的に取り組み続けており、いち早くスウェーデンの前衛的な振付家クルベリによる「ロメオとジュリエット」を紹介するほか、新作や話題作を採りあげながら団員の育成に努めている。谷桃子は 60 年以上に亘り、振付の指導やダンサーの育成に努めた。1984 年紫綬褒章、1993 年勲４等宝冠章受章。

TANI MOMOKO BALLET

http://www.tanimomoko-ballet.com/

Ⅵ 令和2年度「文化芸術による子供育成総合事業出演希望調書(実演芸術)

分野，種目（該当する**種目**に○を付してください。）

分野	種目
【音楽】	合唱，オーケストラ等，音楽劇
【演劇】	児童劇，演劇，ミュージカル
【舞踊】	バレエ，現代舞踊
【伝統芸能】	歌舞伎・~~能楽~~，人形浄瑠璃，邦楽，邦舞，演芸

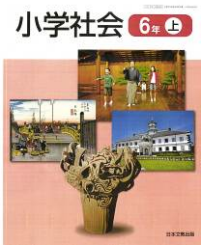
申請する区分に，○を付してください。　　Ａ区分のみ　・　~~Ａ区分とＢ区分の両方~~　Ｃ区分

複数申請の有無(該当する方に○を付してください。)　　(あり)　・　なし

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当する選択肢のいずれかに○を付してください。)
(1) ~~公演の実施~~時期が重複しても，複数の企画を実施可能
(2) 公演の実施時期が重複しなければ，複数の企画を実施可能
(3) 提案したいずれか1企画のみ実施可能
(4) その他(　　)

芸術文化団体の概要

ふりがな 制作団体名	こうえきざいだんほうじん　やまもとのうがくどう 公益財団法人　山本能楽堂		
代表者職・氏名	代表理事・山本旭彦(芸名:章弘)		
制作団体所在地 (最寄り駅・バス停)	〒540-0025　大阪市中央区徳井町 1-3-6 (大阪メトロ「谷町四丁目」駅)		
電話番号	06-6943-9454	ＦＡＸ番号	06-6942-5744
ふりがな 公演団体名	こうえきざいだんほうじん　やまもとのうがくどう 公益財団法人　山本能楽堂		
代表者職・氏名	代表理事・山本旭彦(芸名:章弘)		
公演団体所在地 (最寄り駅・バス停)	〒540－0025　大阪市中央区徳井町 1-3-6 (大阪メトロ「谷町四丁目」駅)		
制作団体設立年月	昭和２年　4月		
制作団体組織	役職員	団体構成員及び加入条件等	
	代表理事　　山本旭彦 理事:柴田仁、鳥井信吾、 平岡龍人、野村明雄、森本靖一郎、山縣平蔵、梅若実玄祥 監事:中野まさし、春好崇樹	賛助会員「たにまち倶楽部」 広く一般	
事務体制の担当	(専任)　・　他の業務と兼任	本事業担当者名	山本佳誌枝・奈良歩・ 小嶋由季
経理処理等の監査担当の有無	(有)　・　無	経理責任者名	板東敏夫 (監査:春好崇樹)

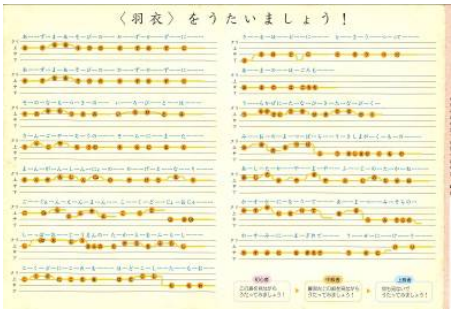
<table>
<tr><td>制作団体沿革</td><td colspan="3">【沿革】
昭和 2 年 4 月　「山本観衙舎」を現在地に創設。
昭和 20 年 3 月　大阪大空襲により焼失
昭和 25 年 4 月　全国に先駆けて舞台を再建。「山本能楽堂」と名称変更。
平成 18 年 2 月　　財団法人　山本能楽会の認可を大阪府教育委員会より受ける。
平成 18 年 12 月　文化審議会より国登録文化財の指定を受ける
平成 23 年 2 月　内閣府より認可を受け、公益財団法人山本能楽堂に名称を変更
【主な受賞歴】 平成 21 年　パナソニック教育財団奨励賞受賞　平成 23 年　第 42 回博報賞受賞　平成 24 年　関西元気文化圏賞特別賞受賞　平成 24 年　ティファニー財団伝統文化大賞受賞　平成 26 年　国土交通大臣表彰　「手作り郷土賞」受賞　平成 27 年　日本水大賞「未来開拓賞」 平成 28 年　国際交流基金地球市民賞　平成 29 年　第 1 回「はなやか KANSAI 魅力アップアワード」～関西インバウンド大賞受賞（近畿産業経済局）
平成 29 年　平成 29 年度外務大臣表彰　平成 29 年度グッドデザイン賞</td></tr>
<tr><td>学校等における公演実績</td><td colspan="3">○これまでに全国約 150 校の小学校・中学校・特別支援学校で能の公演を実施。
○大阪府内の約 500 の小学校・中学校・高等学校・特別支援学校で公演を実施。
○平成 23 年～25 年度　日本文教出版「小学社会 6 年上」の教科書表紙に採用される。
○平成 26 年度より、日本文教出版「小学社会 6 年上」の教科書の、「鎌倉室町時代」の学習の中の「ふりかえりシート」の作成に協力
○平成 27 年度からはデジタル教科書の制作に協力し映像に出演。
○大阪天王寺高校、大谷高校、大手前高校、私立高槻中学校、市立山滝中学校、奈良県結崎小学校、大阪市立中大江小学校、大阪外語専門学校等小学校から大学、専門学校まで多彩な公演実績。
○修学旅行生などの能楽体験の受入
○韓国訪日研修団による教員、大学生、高校生の受入
  </td></tr>
<tr><td>特別支援学校における公演実績</td><td colspan="3">○大阪府立富田林支援学校　半能「小鍛冶」、福岡県立直方養護学校　半能「小鍛冶」、栃木県立足利特別支援学校　半能「羽衣」、山梨県立盲学校　半能「羽衣」
千葉県立船橋特別支援学校　半能「羽衣」東京都立八王子東特別支援学校
・和泉支援学校　大阪市立思斉特別支援学校　大阪市立難波特別支援学校
大阪府立高槻支援学校　大阪府立佐野支援学校　大阪府立摂津支援学校
大阪府立富田林支援学校　大阪府立とりかい高等支援学校　大阪府立高槻支援学校中等部　大阪府立泉北高等支援学校　大阪府立高槻高等支援学校
大阪府立平野支援学校　大阪府立大阪視覚北支援学校　堺市立百舌鳥支援学校
大阪府立交野支援学校高等部　大阪府立大阪南視覚支援学校
大阪府立生野視覚支援学校　大阪府立八尾支援学校高等部　大阪府立摂津支援学校中等部　大阪府立寝屋川支援学校中等部　大阪府立寝屋川支援学校商学部　など
○特別支援学校の先生のご発案により、史上初の能楽の無料楽器演奏アプリ「OHAYASHIsensei」を開発し、能の音楽の普及につとめてきた。
○特別支援学校での本アプリ活用の事例が全国的に広がりつつある。</td></tr>
<tr><td rowspan="6">参考資料の有無</td><td rowspan="4">A</td><td>申請する演目のチラシパンフレット等</td><td>○有　・　無</td></tr>
<tr><td>申請する演目の DVD または WEB 公開資料</td><td>○有　・　無</td></tr>
<tr><td>※公開資料有の場合 URL</td><td></td></tr>
<tr><td>※閲覧に権限が必要な場合の ID およびパスワード</td><td>ID:
PW:</td></tr>
<tr><td rowspan="3">A の提出が困難な場合</td><td>今回申請する演目に近い演目で公演の様子がわかる内容の DVD または WEB 公開資料</td><td>有　・　無</td></tr>
<tr><td>※公開資料有の場合 URL</td><td></td></tr>
<tr><td>※閲覧に権限が必要な場合の ID およびパスワード</td><td>ID:
PW:</td></tr>
</table>

公 演 ・ ワークショップの内 容　　**【公演団体名　公益財団法人　山本能楽堂】**

対　　象	小学生（ 低学年 ・ 中学年 ・ 高学年 ）　・　中 学 生
企画名	**【伝統芸能と遊ぼう！　狂言「柿山伏」 と 能「羽衣」】**
本公演演目 原 作 ／作 曲 脚　　本 演 出 ／振 付	**【伝統芸能と遊ぼう！　狂言「柿山伏」 と 能「羽衣」】** ①　始まりの挨拶（能のお稽古は必ず挨拶から始まります） 学校の校歌を謡でうたう ②　能・狂言のお話（歴史、なりたち、能の中のそれぞれの役割分担など） ③　本日の演目「柿山伏」の説明 ④　狂言「柿山伏」の上演 ⑤　能「羽衣」のお話 ⑥　能の囃子（楽器）の解説（笛、大鼓、小鼓、太鼓） ⑦　能「羽衣」の鑑賞 ⑧　質問コーナー　　＊子ども達のあらゆる疑問にお答えします。 ⑨　終わりの挨拶 【演目】能「羽衣」　/作者不明　素材・「丹後風土記」などの羽衣伝説 狂言「柿山伏」 **＜終演後に＞** 1. 学校側の理解が得られれば、子どもたちに感想文を書いていただき、それに対するお礼状や当財団からの感想を学校に送付し、子どもたちに伝えてもらうことで、単なる一過性の公演ではなく、交流を行うことで相互理解を深め記憶に長く留める。 2. 各学校の校歌を「謡」にした音源を学校側にお渡しさせていただき、稽古を重ねていただくことで、例えば終業式、あるいは卒業式などの式典でこどもたちに発表していただくことも可能です。ご希望であれば、DVD で指導法をお渡しさせていただきます。 能「羽衣」 狂言「柿山伏」 **＜教員の先生方ならびに保護者の方へのワークショップ＞** ● 学校側から希望があった場合、教員の先生方ならびに保護者の方を対象としたワークショップまたは能のお話を実施させて頂くことが可能です。 ● 開催時間、内容に関しては、学校側のご要望に応じ、個別に対応させて頂きます。 また、教員の先生方に向けて、教育現場でどのように能をはじめとする伝統芸能の授業をおこなえばよいか、具体的に相談に応じさせていただきます。 公演時間（ 90 分）

著作権	○	制作団体が所有		制作団体以外が所有する事項が含まれる		（制作団体以外が所有する事項が含まれる場合） 許諾の有無

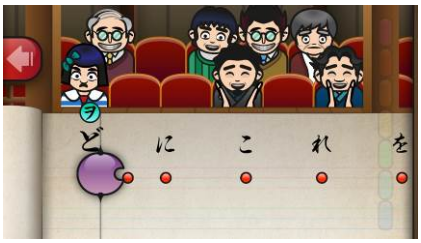
演　目　概　要	【能「羽衣」のお話】 　ある春の朝、駿河国三保の松原に住む漁師・白龍は、釣りに出たおりに、松の枝にかかった美しい衣を見つけます。家宝にしようと持ち帰える白龍に、天女が現れて声をかけ、その羽衣を返して欲しいと頼みます。白龍は、はじめ聞き入れず返そうとしませんでしたが、「それがないと天に帰れない」と悲しむ天女の姿に心を動かされ、天女の舞を見せてもらう代わりに、衣を返すことにします。羽衣を着た天女は、月宮の様子を表す舞などを見せ、さらには春の三保の松原を賛美しながら舞い続け、やがて彼方の富士山へ舞い上がり、霞にまぎれて消えていきました。 【狂言「柿山伏」のお話】 　山伏が修行を終えて故郷に帰る途中、のどが乾いてしまい、ふと見あげると見事な柿があることに気づきます。木の下から落とそうと試みますが、中々巧くいかなかったので、木に登って柿を食べていました。ところが、誤って口にしてしまった渋柿を投げ捨てたところ、見廻りに来ていた柿の持ち主に渋柿が当たってしまい、無断で柿を食べていたことに気づかれてしまいます。柿の木に登っているのは犬だ、猿だ、烏だ、鳶だと言われる度に、それらの動物の鳴き真似でその場を凌ぐものの、しまいに鳶は飛ぶものだ、と言われてしまい、結局飛んでは見るものの、大怪我をしてしまい悪事が露呈してしまいました。
演目選択理由	①　能「羽衣」、狂言「柿山伏」ともに教科書に掲載されており、子供たちにとって身近に感じることができる演目である。 ②　「羽衣」は国語の教科書にも登場する有名なお話であり、開催校によってはその地方独自の羽衣伝説が残っていて、その地の歴史と連動させる可能性がある。また、謡の部分は日本人特有の美しい詞章であり、能の持つ優美な世界を容易に連想することができる。 ③　「羽衣」は能を代表するに人気演目であり、能以外の様々な舞台芸術や美術で取り上げられる題材であり、「羽衣」を体験しておくことでその後の芸術鑑賞の幅が広がる。 ④　「柿山伏」は、わかりやすい筋書きになっており、単純な笑いに満ちているので、こども達にもとっつきやすい内容になっている。また、途中に、カラスやサル、犬、鳥の真似をするが、「真似をする」という行為は、様々な舞台芸術の基礎にあるものであり、こどもたちが面白がって「物まね」を真似ることで、豊かな感受性が育まれる。 ⑤　天人の住むといわれている天上の世界は、子ども達にとって夢の広がるファンタジーな世界であり、天人の世界をそれぞれの心の中で思い描きながら能を観賞することで、能への感情移入が行われ、子ども達に豊かな情操教育を施すことができると考える。 ⑥　能「羽衣」も狂言「柿山伏」も、どちらも能そのもの、あるいは狂言そのものを表現する代表的な演目であり、能と狂言の基本的な魅力をこどもたちが学び、楽しむ機会となり、基本的な能と狂言の演目を、鑑賞する機会となる。 ⑦　能と狂言を同時に上演し、事前にその違いや魅力などを子どもたちに伝えることで、こどもたちが能と狂言の両方の芸能を堪能し、その違いを見比べ、将来の舞台芸術を鑑賞する礎を築くことができるようになる。 ＜ 能「羽衣」 ＞　　＜ 狂言「柿山伏」＞

児童・生徒の共演，参加又は体験の形態	1. ワークショップにて能の中の謡を子どもたち全員が体得し、公演当日みんなで一緒に大きな声で地謡に参加し、プロの能楽師と共に舞台で共演する。大きな声をだして謡を謡うことで、能の中により感情移入ができ、能を理屈ではなく、体で理解し、楽しむことができる。必要であれば、ひらがなでわかりやすく「字幕」の掲示も可能です。  2. 能の楽器である囃子のリズム体験ならびにリズム遊びにより、西洋音楽とは異なる、日本古来の音楽を体感する。 3. 能と狂言の型（所作）のワークショップにより、日本の古典芸能の演劇としての基本に触れ、西洋の演劇とは違う、簡略化し昇華した演劇の表現法を自然に子供達が学ぶ。同時に、能と狂言の表現の違いも体験する。 4. 能の基本ともいうべき「すり足」を子ども達が体験する事で、日本人として体の使い方を習得する。また「すり足」は、茶道や武道など他の日本文化の基本となり、「すり足」を体験する事で、その後あらゆる日本文化に興味を持つことができるよう促す。 5. 公演で使用する能面も含め、7～8種類の能面を子ども達に見せ、それぞれの能面について説明をおこなう。また生徒が能面を実際にかける体験により、能を演じる気持ちを感じてもらう。また、能面の角度により表情が多彩に変わることを子ども達が知ることで、「表現する」ことを学ぶ。 6. 「羽衣」の中には、古来から伝わり育まれてきた日本人の美意識が凝縮されており、「羽衣」を学び体験する事で子供達が日本人ならではの感性を育むことができる。 7. 日本の染色・織物の技術の最高峰ともいえる能装束に、子ども達が実際に触れることで、日本の工芸技術の素晴らしさを体感し、興味を持つよう促す。また、実際に、能衣装を身に着けてもらうことで、能への興味を促す。 8. 学校側から希望があれば、子どもたちが能の楽器に自由に触れ、実際に演奏することのできる時間をもうける。 9. 学校側から希望があればタブレットやスマートフォンを使用して、アプリによる能の解説や、演目解説、楽器体験をおこなうことが可能である。

<table>
<tr><td></td><td colspan="3">
</td></tr>
<tr><td>出　　演　　者</td><td colspan="3">〇シテ方　山本章弘、杉浦豊彦、吉井基晴、大西礼久、梅若基徳（以上　重要無形文化財総合指定保持者）、今村一夫、前田和子、立花香寿子、上野朝彦、上野雄介、笠田祐樹、山本麗晃　（うちシテ　１名、地謡　6名、後見　2名、ハタラキ１名）　計９名
〇ワキ方（原大、有松遼一、原陸、岡充、福王知登、喜多雅人など）　　計　2名
〇狂言方（善竹隆司、善竹隆平、上吉川徹　または野村太一郎　和泉流　など）　計　3名
〇囃子方（笛、大鼓、小鼓、太鼓：斉藤敦、槌矢亮、守家由訓、古田知英、林大和、井上敬介、中田弘美など）　　計　４名</td></tr>
<tr><td>公演出演予定者数
（1公演あたり）</td><td>出　演　者:　18 名
スタッフ:　2名
合　　計:　20 名</td><td>機　材　等
運搬方法</td><td>積載量　　t
車　長　　m
大型バス　1台</td></tr>
</table>

【公演団体名　公益財団法人 山本能楽堂 】

<table>
<tr><td>公演に当たっての会場条件</td><td>実施条件等確認書①をご確認ください。</td></tr>
<tr><td>会場設営の所要時間（タイムスケジュール）の目安</td><td>前日仕込み(有 ・ (無)) 会場設営の所要時間(2 時間程度)
<table>
<tr><th>到着</th><th>仕込み</th><th>本公演</th><th>内休憩</th><th>撤去</th><th>退出</th></tr>
<tr><td>時</td><td>11 時 20 分～
13 時 20 分</td><td>13 時 30 分～
15 時 20 分</td><td>10 分</td><td>15 時 20 分～
16 時 20 分</td><td>16 時 20 分</td></tr>
</table>
※本公演時間の目安は、午後1時乃至1時 30 分からの概ね2時限分程度です。</td></tr>
<tr><td>児童・生徒の参加可能人数</td><td>ワークショップ：10 名～600 名程度 （大人数になった場合工夫をします）
本公演：10 名～1,000 名程度</td></tr>
<tr><td>ワークショップ実施形態及び内容</td><td>始まりの挨拶　大きな声で元気よく、ていねいに！
① 能・狂言についてのお話（歴史、や能そのものについて楽しく、わかりやすく）
② 能「羽衣」・狂言「柿山伏」についての説明
③ 能面の説明（小飛出、小面、若女、深井、姥、泥眼、般若、しかみなど）
④ 学校の校歌を「謡」の節をつけ能楽師がうたう。
⑤ 能の謡の体験　＊全員でおなかから大きな声をだして謡をうたいます。
「羽衣」の能の謡の練習
⑥ 能の所作である「すり足」や「型（かた）」を体験する。
子どもたちから、日常生活の中の動作や事件を発表してもらい、それを能楽師が能の「型」にして表現する。子どもたちも一緒に「型」を真似たり、自分たちで「型」を考えたりする。
⑦ 能装束の着付けの体験及び能装束の説明　*学校の先生に能姿になって頂きます。
⑧ 質問コーナー（ふりかえり）　＊子どもたちのあらゆるご質問にお答えします
終りの挨拶</td></tr>
<tr><td>ワークショップ実施形態の意図</td><td>① 初めて能に触れる子ども達が大半である事を考慮し、ユーモアを交え、楽しく、わかりやすく、自然な形で能全般に対する知識を持てるよう興味を促す。
② 観世宗家の許可を得て、子ども達に向け独自に開発したオリジナルテキストを用いて、子ども達が能の謡を体得できるよう指導する。能の謡(詞章)は、現代には使われていない言葉も多いが、日本古来の美しい日本語の響きやリズムを有するため、子ども達の日本人としての遺伝子に反応し、驚くほど早いスピードで習得する。そして、子ども達が謡を思わず口ずさんでしまうようになった時、子ども達の頭の中に、美しいパノラマの世界が現れ、連綿と続く日本人としてのアイデンティティを確立することができると考える。その結果、本物の能の公演に、みんなで地謡として共演する事ができたなら、何物にも変えがたい貴重な体験、楽しい思い出となるのではないだろうか。そして、その経験は成長してからも、身体の奥深い部分に残り、生涯を通して価値ある財産となりえる。必要であれば独自に開発した能の謡を習得するアプリを使用する。
</td></tr>
</table>

	 ③ 日本を代表する伝統芸能でありながら、「敷居が高い」と思われがちな能楽を実際見ることで、子どもたちに大きな刺激と感動を与え、子ども達の大切な思い出とすることができる。能は「高尚である」と思われると同時に、「訳が分からないもの」「自分とは関係のない演劇」という印象を持たれやすいが、感受性の強い幼少期に子ども達が「みんなで一緒に作り、みんなで一緒に楽しんだ」という経験を持つことで、将来の芸術家の育成や、大人になってからの芸術鑑賞能力の向上につなげることができる。 ④ 日常生活のふとした動きを、能の「型」で表現することができることを子ども達が学ぶことで、能を古臭い芸能ではなく、自分たちにとって身近な芸能と感じることができる。 ⑤ 校歌の歌詞は、七五調で作られていることが多いため、能の謡(うたい)の節づけを容易に行うことができ、謡への変換が可能である。子どもたちが常日頃から親しんでいる各学校の校歌を謡でうたい、子どもたちも一緒に練習し謡うことで、謡について子ども達が慣れ親しむ素地を作り、本公演での能の鑑賞の理解へとつなげていく。校歌を謡にし、子ども達に教えることで、能の根幹をなす謡(うたい)のリズムを子ども達が楽しく、自然に体得することができる。これまでの経験では、校歌を謡にすることで、強制しなくても、自発的に毎日お互いに校歌の謡をうたいながら遊ぶと確信する。 ⑥ 能で使用される能面や能装束は、日本の伝統的な工芸技術の粋の結集であり、美術品としての価値も高く、貴重であるが、そのような「ほんもの」を子ども達が実際に目にし、身近に触れることで、工芸の美についての理解を深める貴重な体験の機会を創出する。 ⑦ 能装束の着付けを、担任の先生や生徒が行い、瞬時に能の登場人物に変身することで、「日常が非日常に劇的に変わる舞台芸術の面白さ」を子ども達が体感することができる。 ⑧ 終演後は子ども達からの質疑応答を受け付け、お互いに感想を述べ合うことで、より深い満足感と充実感を子どもたちが感じるよう導く。ふりかえりの時間を設ける。
特別支援学校での実施における工夫点	1. 今までに多くの特別支援学校で能に関する事業を実施させて頂いており、通常の公演時に、特別支援学校の生徒の方をお客様としてお迎えさせて頂くが、特別な事をしなくても、同じように楽しんでいただいている。 2. ただ、説明などよりも「音」やリズムを楽しんで頂き、できるだけシンプルな授業を行わせて頂くのが一番よいと思うので、ワークショップの内容は能の楽器(囃子)を中心とし、楽器演奏や、能のリズムについても指導させて頂きたい。 3. 具体的には、特別支援学校の先生の「子どもたちに iPad で能の楽器を教えることができたらいいのに」という一言から当財団が開発し、生まれた、史上初の能楽アプリ「OHAYASHIsensei」を活用し、子どもたちが容易に能の音楽に触れることができるよう工夫をこらす。「OHAYASHIsensei」は無料でダウンロードができるよう設定しているため、子どもたちがいつでも手軽に能の楽器を楽しむことができる。

<table>
<tr>
<td></td>
<td>

4. 「音」に関しては、能の囃子は普段耳にすることがない非日常な「音」でもあると思うので、生徒の中に驚いたり、ショックを受けたりする人がないかあらかじめ学校の先生と打ち合わせを重ね、授業を実施していきたい。
5. 特別支援学校で公演を実施させて頂くときは、特に事前に先生方と詳細に打合せを重ね、公演を実施しているが、1校、1校、毎回違った事案があるので、終演後は先生方からご意見を頂き反省点を振り返ることで、ノウハウを蓄積し、特別支援学校ならではの楽しんで頂ける公演づくりを目指したいと考えている。
6. 場合によっては、本公演時、地謡ならびにハタラキの能楽師の一部を、生徒のみなさんの中に配置し、細やかに対応させて頂く工夫が必要な場合もあると考える。

</td>
</tr>
<tr>
<td>実施可能時期</td>
<td>実施可能時期スケジュール表をご確認ください。</td>
</tr>
</table>

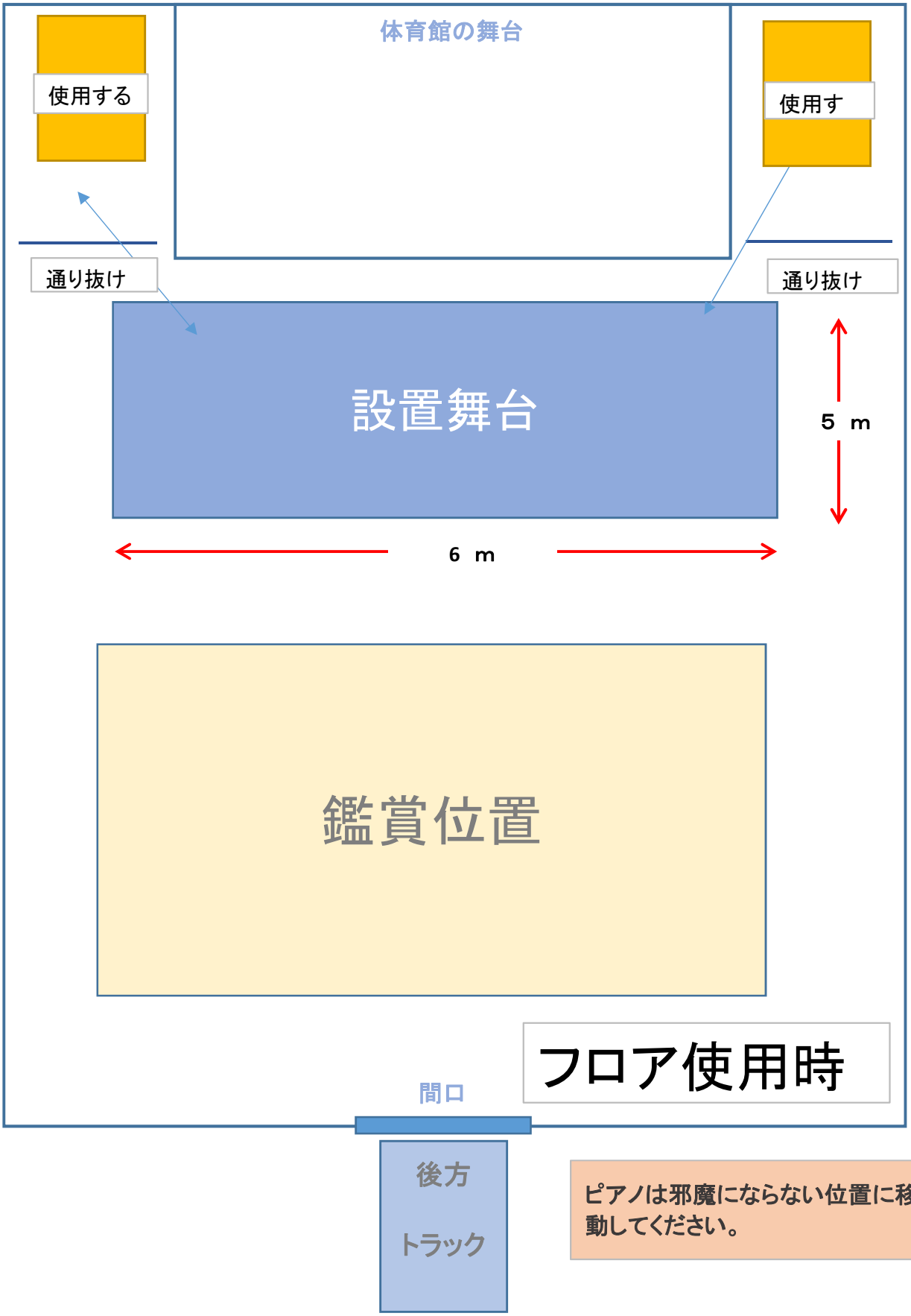
【令和2年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－実施条件等確認書①】

ID	I105	分野	伝統芸能	種目	歌舞伎・能楽	ブロック	I	区分	A区分
公演団体名	公益財団法人　山本能楽堂				制作団体名	公益財団法人 山本能楽堂			

① 会場条件等についての確認

項目	応相談	必要条件等							
控室について	可	必要数＊	1室	条件	19名が着替えるスペースがあること。1室以上にわかれても構いません。				
搬入について	不可	来校する車両の大きさと台数＊			大型バス　1台				
	―	来校する車両の内，横づけが必要な車両の大きさ			大型バス				
	可	搬入車両の横づけの要否＊			要				
	可	横づけができない場合の搬入可能距離＊			30m以内				
	可	搬入経路の最低条件			大型バスの駐車場所が遠い場合、学校側に車で荷物の移動をお願いする場合があります。				
	／	理由			能装束や舞台大道具等重量がある荷物を汚さずに運搬する必要があるため。				
	―	設置階の制限＊			問わない				
		搬入間口について 単位：メートル	幅	制限なし	高さ	制限なし			
WSについて	可	参加可能人数		10～600人					
	―	学年の指定の有無＊		なし	指定学年＊	なし			
	可	所要時間の目安 単位：分		90					
本公演について	／	会場設営・本公演・メインプログラムの所要時間		※「出演希望調書」内「会場設営の所要時間(タイムスケジュール)の目安をご参照ください。					
	可	鑑賞可能人数		10～1000人 (舞台に必要な広さを除いた状態で会場に収容可能な人数まで)					
	可	舞台設置場所＊		ステージ上への設置、フロアへの設置ともに対応可能					
	可	舞台設置に必要な広さ 単位：メートル	幅	6	奥行	5	高さ	3	
	可	体育館の舞台を使用する場合の条件	舞台袖スペースの確保＊	要					
	可		舞台袖スペースの条件＊	下手袖の荷物はなしでお願いします。					
	可		緞帳＊	要	バトン＊	不要			
	―	遮光(暗幕等)の要否＊		不要	理由				
	―	ピアノの調律・移動の要否	指定位置へのピアノの移動＊	要	※指定位置は会場設置図面にて御確認ください。				
	―		ピアノの事前調律＊	不要					
	―	フロアを使用する場合の条件	バスケットゴールの設置状況＊	格納されていれば可					
	可	公演に必要な電源容量		15A	家庭用コンセント一つ				
	その他特記事項								

会場図面(表記単位:メートル)



搬入間口について	幅	3メートル	高さ	2メートル
搬入車両の横づけの要否		可能であればありがたいです		
横づけができない場合の搬入可能距離		30メートル		

※搬入に関する条件の詳細については、図面上の表にて御確認ください。

令和2年度　文化芸術による子供育成総合事業 ―巡回公演事業―

伝統芸能と遊ぼう!

狂言「柿山伏」

と

能「羽衣」

いつもの
体育館が、能舞台に
変身します!

こんなことをします!

能や狂言の物語や
能の楽器についての
お話を聞いたあと、
能と狂言を鑑賞します!

狂言「柿山伏」より

能「羽衣」より

主催：文化庁　　製作・実施団体：公益財団法人 山本能楽堂

※小学生・中学生を対象に「本物の舞台芸術」を身近に触れる機会を提供し、子どもたちの豊かな発想力やコミュニケーション能力を育成するための事業です。能のワークショップと、能・狂言の公演を2日間にわたって行います。

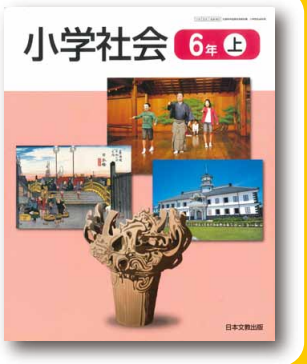
令和2年度 文化芸術による子供育成総合事業 ―巡回公演事業―

伝統芸能と遊ぼう!

山本能楽堂では、能を「現代に生きる魅力的な芸能」としてとらえなおし、新しい視点にたった公演を企画し、老若男女、外国人を問わず「能」を気軽に、かつ本格的に楽しめる環境づくりに取り組んでいます。

子ども達の感性を大切にした能のアウトリーチ活動も積極的に行っており、「小学社会6年上（文教出版）」の教科書の作成にも協力しています。平成23年には、子ども達に日本文化を継承するため先駆的な活動をしていることが認められ、第42回博報賞を受賞しました。

子ども達が感受性の高い時期に、ユネスコ世界無形遺産の「能」を通じた文化的な楽しい体験をしていただくことで、日本人としての豊かな感性を育んでいただければと願っています。



ワークショップの内容

1. 始まりの挨拶（能のお稽古は必ず挨拶から始まります）
2. 能についてのお話
3. 能「羽衣」について
4. 能面の説明
5. 学校の校歌を謡でうたおう!
6. 能の謡の体験
7. すり足体験と能の「型」について
8. 能装束の着付
9. 質問コーナー
10. 終わりの挨拶

能・狂言の公演の内容

1. 始まりの挨拶（能のお稽古は必ず挨拶から始まります）
2. 能・狂言のお話（歴史、なりたち、能の中のそれぞれの役割分担など）
3. 本日の演目「柿山伏」の説明
4. 狂言「柿山伏」の上演
5. 能「羽衣」のお話
6. 能の囃子（楽器）の解説（笛、大鼓、小鼓、太鼓）
7. 能「羽衣」の鑑賞
8. 質問コーナー
9. 終わりの挨拶

狂言「柿山伏」のお話

山伏が修行を終えて故郷に帰る途中、のどが乾いてしまい、ふと見あげると見事な柿があることに気づきます。木の下から落とそうと試みますが、中々巧くいかなかったので、木に登って柿を食べていました。ところが、誤って口にしてしまった渋柿を投げ捨てたところ、見廻りに来ていた柿の持ち主に渋柿が当たってしまい、無断で柿を食べていたことに気づかれてしまいます。柿の木に登っているのは犬だ、猿だ、烏だ、鳶だと言われる度に、それらの動物の鳴き真似でその場を凌ぐものの、しまいに鳶は飛ぶものだ、と言われてしまい、結局飛んでは見るものの、大怪我をしてしまい悪事が露呈してしまいました。

能「羽衣」のお話

春の朝、駿河国三保の松原に住む漁師・白龍は、釣りに出たおりに、松の枝にかかった美しい衣を見つけます。家宝にしようと持ち帰る白龍に、天女が現れて声をかけ、その羽衣を返して欲しいと頼みます。白龍は、はじめ聞き入れず返そうとしませんでしたが、「それがないと天に帰れない」と悲しむ天女の姿に心を動かされ、天女の舞を見せてもらう代わりに、衣を返すことにします。羽衣を着た天女は、月宮の様子を表す舞などを見せ、さらには春の三保の松原を賛美しながら舞い続け、やがて彼方の富士山へ舞い上がり、霞にまぎれて消えていきました。

山本能楽堂の能舞台

能舞台の鏡板

Ⅵ 令和2年度「文化芸術による子供育成総合事業出演希望調書(実演芸術)

分野，種目（該当する**種目**に○を付してください。）

分野	種目
【音楽】	合唱，オーケストラ等，音楽劇
【演劇】	児童劇，演劇，ミュージカル
【舞踊】	バレエ，現代舞踊
【伝統芸能】	歌舞伎・能楽，人形浄瑠璃，(邦楽)，邦舞，演芸

申請する区分に，○を付してください。　(A区分のみ)・A区分とB区分の両方 ・ C 区分

複数申請の有無(該当する方に○を付してください。)　(あ り)・ な し

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当する選択肢のいずれかに○を付してください。)
(1) 公演の実施時期が重複しても，複数の企画を実施可能
(2) 公演の実施時期が重複しなければ，複数の企画を実施可能
(3) 提案したいずれか1企画のみ実施可能
(4) その他(　　)

芸術文化団体の概要

ふりがな 制作団体名	ゆうげんがいしゃ こてんくうかん 有限会社　古典空間		
代表者職・氏名	代表取締役　小野木豊昭		
制作団体所在地 (最寄り駅・バス停)	〒〒151－0062　東京都渋谷区元代々木町 10-2　西俣ビル 1F (小田急線及び東京メトロ千代田線・代々木上原駅徒歩 5 分)		
電話番号	03−5478−8255	FAX 番号	03−5478−8267
ふりがな 公演団体名	いっぱんしゃだんほうじん ぎだゆうきょうかい 一般社団法人　義太夫協会		
代表者職・氏名	代表理事　原 道生		
公演団体所在地 (最寄り駅・バス停)	〒103-0023 東京都中央区日本橋本町 3-1-6　日本橋永谷ビル 210 号 (総武本線・新日本橋駅出口 3 徒歩 2 分／東京メトロ銀座線・三越前駅 a10 出口 徒歩 2 分 山手線・神田駅徒歩 7 分)		
制作団体設立年月	平成 10 年 5 月		
制作団体組織	役職員	団体構成員及び加入条件等	
	代表取締役　小野木豊昭	制作スタッフ 3 名、舞台スタッフ 3 名 伝統芸能の普及・振興に寄与することを志す 23 歳以上の男女	
事務体制の担当	(専任)・　他の業務と兼任	本事業担当者名	**佐藤拓矢**
経理処理等の監査担当の有無	(有)　・　無	経理責任者名	**大貫信子**

制作団体沿革	1990 年、伝統芸能企画制作オフィス＜古典空間＞を設立。 1998 年、法人化。 各種邦楽、日本舞踊など伝統芸能を専門に、全国各地における自治体の文化事業、公共ホール自主事業公演の企画・制作、学校公演や外務省等の海外公演コーディネート、各種イベントのプロデュース・企画・制作を行う。主な業務実績として、茨城県小美玉市における学校アクティビティ(アウトリーチ)事業(2003～2017)。東京都他主催＜東京発・伝統 WA 感動＞より『三弦 海を越えて』『邦楽ワンダーBOX』等の企画・制作。東京スカイツリーオープニングイベントの制作(2012)。アーツカウンシル東京主催『神楽坂まち舞台・大江戸めぐり』の制作(2013～)、徳島県文化振興財団主催『徳島邦楽ルネッサンス』諸公演の制作(2015～)など。2018 年 3 月、文化庁委託事業として(公社)全国公立文化施設協会より『劇場・音楽堂等 伝統芸能事業企画制作ハンドブック』刊行(代表・小野木豊昭ら編集委員)。
学校等における公演実績	平成 25 年～27 年、29 年～30 年度 文化庁・巡回公演事業 (文化芸術による子供の育成事業)。 現在、平成 31 年度、同事業実施中。 平成 17 年～26 年 茨城県小美玉市学校アクティビティ事業:市内の幼稚園、小・中学校 毎年巡演。 平成 18 年度～現在 新潟県十日町市立南中学校邦楽観賞教室。 平成 22 年度～現在 東京都北区スクールコンサート。 他、全国各地の幼稚園・保育園、小・中学校、高等学校、大学での鑑賞教室、ワークショップなど多数実施。
特別支援学校における公演実績	平成 29 年度 文化庁・巡回公演事業(文化芸術による子供の育成事業)にて実施。 平成 30 年度 文化庁・巡回公演事業(文化芸術による子供の育成事業)にて実施。 平成 31 年度 文化庁・巡回公演事業(文化芸術による子供の育成事業)にて実施予定。

参考資料の有無	A	申請する演目のチラシパンフレット等	(有) ・ 無
		申請する演目の DVD または WEB 公開資料	(有) ・ 無
		※公開資料有の場合 URL	
		※閲覧に権限が必要な場合の ID およびパスワード	ID: PW:
	A の提出が困難な場合	今回申請する演目に近い演目で公演の様子がわかる内容の DVD または WEB 公開資料	有 ・ 無
		※公開資料有の場合 URL	
		※閲覧に権限が必要な場合の ID およびパスワード	ID: PW:

公 演 ・ ワークショップの内 容　　【公演団体名　一般社団法人　義太夫協会】

対　　象	小学生（ 低学年 ・ 中学年 ・ 高学年 ） ・ 中 学 生
企画名	語ってみよう！義太夫節！
本公演演目 原作／作曲 脚　　本 演出／振付	①義太夫節を聴いてみよう！ 『増補大江山(ぞうほおおえやま) 』「戻り橋の段(もどりばしのだん)」より ②義太夫節って何だろう？～その1 太夫(たゆう)＝ナレーター役が語る「浄瑠璃(じょうるり)」って？/「三味線」って？ ③義太夫節って何だろう？～その2 校歌を聴かせて！校歌斉唱⇒「校歌」が義太夫節に！？ ④ワークショップ体験発表コーナー 『菅原伝授手習鑑(すがわらでんじゅてならいかがみ)』「車曳の段(くるまびきのだん)」より ⑤全員体験コーナー 義太夫節の「大笑い」！&全員で「口上」体験！！ ⑥義太夫節を楽しもう！ 『菅原伝授手習鑑(すがわらでんじゅてならいかがみ)』「車曳の段(くるまびきのだん)」より 公演時間（ 約 80 分）

著作権		制作団体が所有	○	制作団体以外が所有する事項が含まれる		（制作団体以外が所有する事項が含まれる場合）許諾の有無

演　目　概　要

① 義太夫節『増補大江山（ぞうほおおえやま） 』「戻り橋の段（もどりばしのだん）」より

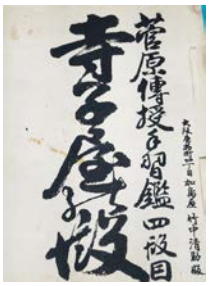
舞台は京都・一条の戻り橋。渡辺綱(わたなべのつな)という武将が
橋にさしかかると、そこには美しい女。
「行き先の五条まで送ろう」と一緒に歩き始めると、
何と川に映ったのは恐ろしい鬼の姿でした。
正体を暴かれた鬼は、綱と激しい戦いを繰り広げます。

物語に沿ってスクリーンにイラストを投影

② 義太夫節って何だろう？～その１

太夫が語る「浄瑠璃」って？／「三味線」って？

日本の伝統芸能を代表する文楽や歌舞伎に不可欠の音楽である義太夫節。
その「浄瑠璃(語り)」と「三味線」 をわかり易く楽しく解説。演者の着けている肩衣(かたぎぬ)や
見台(けんだい)、また三味線のルーツや形、素材について！ **“君も今日から“義太夫博士！”**

	③ 義太夫節って何だろう？～その２ **皆さんの「校歌」を聴かせて！⇒「校歌」が義太夫節に変身！** 訪問校の「校歌」を全校児童・生徒に歌っていただきます。 そして、何とその「校歌」の歌詞を独特の節（メロディー）に乗せて、義太夫節に変身させてしまうコーナーです。「**これが私たちの校歌っ！？**」斬新な一曲をお届けします。 **④ ワークショップ体験発表コーナー** 代表の児童・生徒に義太夫節の“ユニフォーム”である肩衣（かたぎぬ）を着けて舞台に上がっていただき、三味線に合わせて、ワークショップから稽古してきた『菅原伝授手習鑑』より「車曳の段」（抜粋）の成果を発表。**自分で作った「床本（ゆかほん）」を見ながらの披露**となります。  義太夫節・床本 **⑤ 全員体験コーナー 義太夫節の「大笑い」！ ＆ 全員で「口上」体験！！** 義太夫節の一大特徴である「大笑い」、さらに「口上」を体験。児童・生徒全員で大きな声を出すコーナー。どんな会場でも最高潮の盛り上がりが訪れます。 そして稽古したばかりの「口上」で、出演者と演目を紹介し、児童・生徒の皆さんに最後の演目の幕を開けてもらいます。 **⑥ 義太夫節を楽しもう！『菅原伝授手習鑑（すがわらでんじゅてならいかがみ）』** **「車曳の段（くるまびきのだん）」より** 人形浄瑠璃・文楽や歌舞伎でもたびたび上演される名作。練習を積んで発表してもらった箇所や体験した「大笑い」も出てくる皆さんに親しんでもらった「車曳の段」。三つ子の兄弟の争い、悪者・藤原時平（しへい）の威厳！ 語り・三味線とも勇壮さが真骨頂である義太夫節の魅力を存分に楽しめる作品です。「ここ知ってる！」と思ったら大きな声でご一緒にどうぞ！
演目選択理由	● 上記2作品とも、「知っていてもらいたい」日本の代表的な物語であること。 ● ①「とっつき易さ」 ②「内容のわかり易さとダイナミックさ」 ③「コンパクトな上演時間が可能」な作品ゆえ、肩肘を張らずに日本の伝統文化に触れていただけると考えられること。 ● 伝統芸能に対して普段馴染みの薄い、または初めて触れる児童・生徒に対して、「難しそう、堅苦しそう」という先入観を払拭し、「わかる、理解する」ではなく「楽しい、面白い、カッコイイ」という導入口を提供できると考えられること。

<table>
<tr><td>児童・生徒の共演，参加又は体験の形態</td><td colspan="3">● ワークショップでは、選抜された児童・生徒に義太夫節『菅原伝授手習鑑』より「車曳の段」の一部を稽古していただき、舞台で使用する「床本」の作成に取り組んでいただきます。また本番では、本舞台さながらの肩衣を着けた姿で出演者と共演してもらいます。
● さらに本番では、会場の全児童・生徒に「大笑い」と「口上」を指導し、作法に則った「口上」で幕を開けてもらうなど、出演者と会場の児童・生徒とが常に一体となって 80 分間を過ごせる演出を工夫します。
 </td></tr>
<tr><td>出　演　者</td><td colspan="3">太夫:竹本越京、竹本京之助、竹本寿々女
三味線:鶴澤三寿々、鶴澤賀寿、鶴澤弥々</td></tr>
<tr><td>公演出演予定者数
（1公演あたり）</td><td>出 演 者:　6 名
スタッフ:　8 名
合　計:　14 名</td><td>機 材 等
運搬方法</td><td>積載量　ハイエース
車 長　8m
台 数　3台</td></tr>
</table>

【公演団体名　一般社団法人　義太夫協会】

<table>
<tr><td>公演に当たっての
会　場　条　件</td><td>実施条件等確認書①をご確認ください。</td></tr>
<tr><td>会場設営の所要時間(タイムスケジュール)の目安</td><td>前日仕込み(　有　・(無)　)　会場設営の所要時間(　2時間半程度　)
<table>
<tr><th>到着</th><th>仕込み</th><th>本公演</th><th>内　休憩</th><th>撤去</th><th>退出</th></tr>
<tr><td>9時</td><td>9時半～12時</td><td>13　時～14　時半</td><td>10分</td><td>14　時半～16時</td><td>16時</td></tr>
</table>
※本公演時間の目安は、午後1時乃至1時30分からの概ね2時限分程度です。</td></tr>
<tr><td>児　童　・生　徒の
参加可能人数</td><td>ワークショップ　～300名
本公演　～800名</td></tr>
<tr><td>ワークショップ
実　施　形　態
及　び　内　容</td><td>・「声の力」で何でも表現できる・・・義太夫節の「語り＝太夫」を体験していただきます。
本番で上演される演目から、親しみ易くわかり易い箇所をとり上げます。
・また舞台本番で太夫は、自分で書いた「床本」を見ながら物語を語りますが、その「床本」
作りに取り組み、伝統的でちょっとオシャレな自分だけの本を作成してもらいます。
少しだけ背伸びして義太夫節独特の「書体」にチャレンジしていただくこともご希望に
合わせて。</td></tr>
<tr><td>ワークショップ
実施形態の意図</td><td>・「静かにしなさい！」と学校や家庭で叱られることはありませんか？
義太夫節では大きな声を出せば出すほどほめられるのです！
恥ずかしがらずに思い切り声を出す解放感。そして、人間の心＝喜怒哀楽を表現する楽しさを体感していただきます。
・また、床本づくりを通して、伝統芸能の「型」の背景にある知恵や先人を敬う心など、
日本文化の素晴らしさもお伝えすることを目指します。</td></tr>
<tr><td>特別支援学校での
実施における工夫点</td><td>・「義太夫」独特のデフォルメされた「笑い」、「泣き」等、わかり易い基本動作を中心に児童・生徒全員が参加して一体感を感じる雰囲気をつくります。
・また、手拍子や舞台に向けて発する「掛け声」のかけ方など、対象児童・生徒の状況を鑑み、学校の希望をできる限り尊重し、綿密なコミュニケーションを図りながら構成します。</td></tr>
<tr><td>実施可能時期</td><td>実施可能時期スケジュール表をご確認ください。</td></tr>
</table>

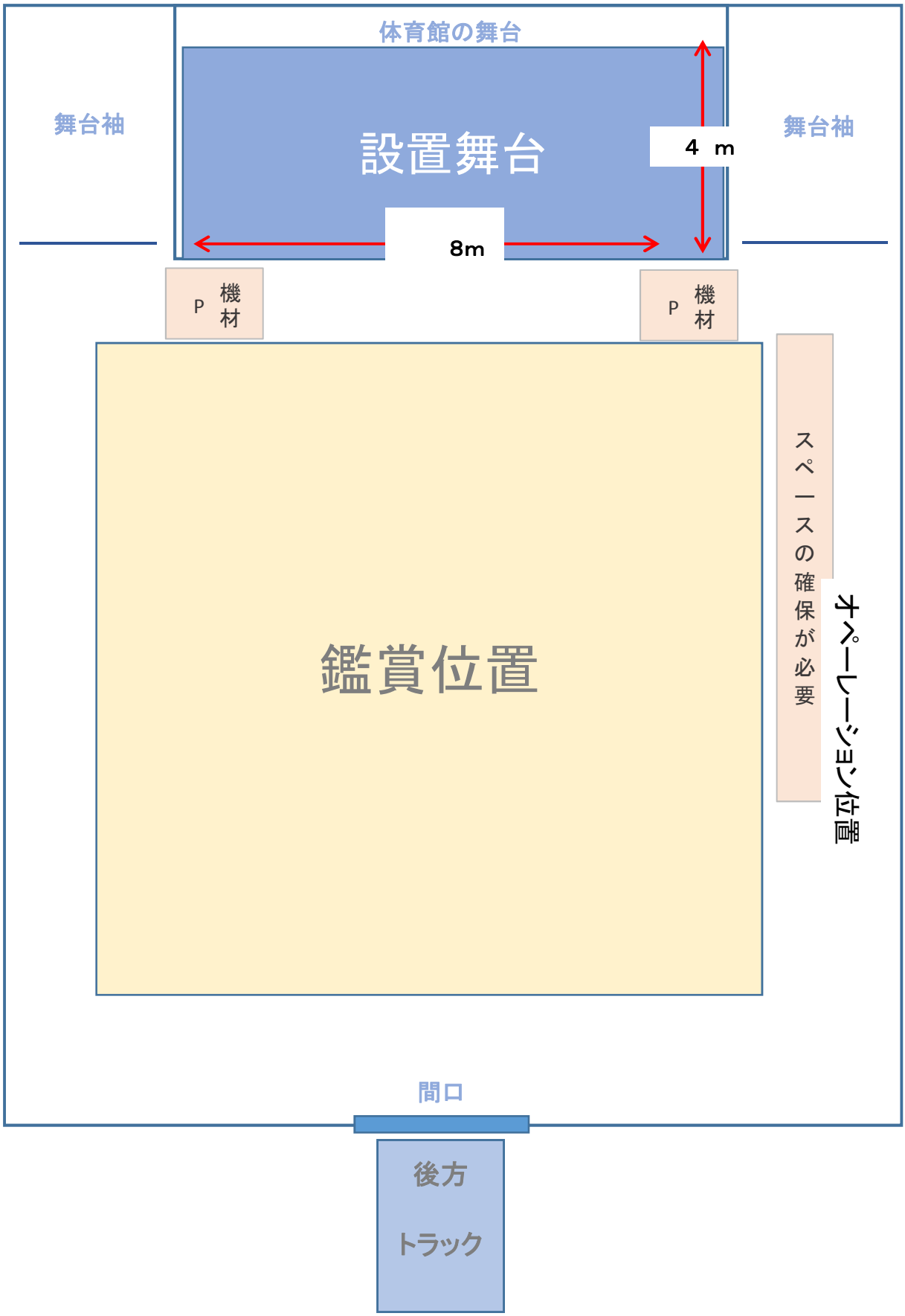
【令和2年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－実施条件等確認書①】

ID	I106	分野	伝統芸能	種目	邦楽	ブロック	I	区分	A区分
公演団体名	一般社団法人　義太夫協会				制作団体名	有限会社　古典空間			

① 会場条件等についての確認

項目	応相談	必要条件等							
控室について	可	必要数＊	1室	条件	着替えを兼ねるので、カーテンがあると有り難いです。				
搬入について	可	来校する車両の大きさと台数＊			バン　3台	小型バス　1台			
	可	来校する車両の内，横づけが必要な車両の大きさ			バン3台				
	可	搬入車両の横づけの要否＊			要				
	可	横づけができない場合の搬入可能距離＊			10m以内				
	可	搬入経路の最低条件			・できる限り階段のない経路が望ましい。 ・屋根のある経路が望ましい。				
	可								
		理由			楽器や重い備品があるため				
	可	設置階の制限＊			エレベーターの設置等があれば2階以上も可				
	可	搬入間口について 単位：メートル	幅	2m	高さ	2m			
WSについて	可	参加可能人数		100人程度まで					
	可	学年の指定の有無＊		あり	指定学年＊	高学年			
	可	所要時間の目安 単位：分		90分程度					
本公演について		会場設営・本公演・メインプログラムの所要時間		※「出演希望調書」内「会場設営の所要時間(タイムスケジュール)の目安をご参照ください。					
	可	鑑賞可能人数		800人程度まで					
	可	舞台設置場所＊		ステージ上への設置・フロアへの設置ともに対応可能					
	可	舞台設置に必要な広さ 単位：メートル	幅	8m	奥行	4m	高さ	指定なし	
	可	体育館の舞台を使用する場合の条件	舞台袖スペースの確保＊	要					
	可		舞台袖スペースの条件＊	できるだけ荷物がない状態					
	可		緞帳＊	不要	バトン＊	不要			
	可	遮光(暗幕等)の要否＊		要	理由	照明効果を使用するため			
	可	ピアノの調律・移動の要否	指定位置へのピアノの移動＊	不要	※指定位置は会場設置図面にて御確認ください。				
	可		ピアノの事前調律＊	不要					
	可	フロアを使用する場合の条件	バスケットゴールの設置状況＊	格納されていれば可					
	可	公演に必要な電源容量		100a	※主幹電源の必要容量				
	その他特記事項								

会場図面(表記単位:メートル)



搬入間口について	幅	2m	高さ	2m
搬入車両の横づけの要否	要			
横づけができない場合の搬入可能距離	10m以内			

※搬入に関する条件の詳細については、図面上の表にて御確認ください。

令和元年度文化芸術による子供育成総合事業 - 巡回公演事業 -

語ってみよう！義太夫節！

「文化芸術による子供育成総合事業 - 巡回公演事 業 -」

我が国の一流の文化芸術団体が、小学校・中学校等において公演し、子供たちが優れた舞台芸術を鑑賞する機会を得ることにより、子供たちの発想力やコミュニケーション能力の育成、将来の芸術家の育成や国民の芸術鑑賞能力の向上につなげることを目的としています。事前のワークショップでは子供たちに実演指導、又は鑑賞指導を行います。

又、実演では、できるだけ子供たちに参加してもらいます。

主催：文化庁

出演団体

■一般社団法人 義太夫協会

義太夫節の伝承、向上発展と普及を目的に設立され、義太夫節を志す若手から人間国宝までが所属しています。紀尾井ホールやお江戸日本橋亭における定期演奏会を主催し、毎回多くの愛好者に支持されています。会員は日本舞踊公演や邦楽演奏会、各種プロデュース公演、大学講義への出講、全国各地の学校への普及公演など幅広く活躍中。さらに義太夫節に関する資料の収集・保存にいたるまで、義太夫節のこれからの展開にはなくてはならない存在です。とくに若手の太夫、三味線奏者たちの普及にかける情熱は各方面から高く評価されています。

スタッフ

■企画／構成　　小野木豊昭（古典空間）

■舞台監督／舞台　　Whoopee Connection

■制作　　（有）古典空間

実施計画表

本公演実施日		実施校	実施校以外の地元主催者
順	【日付】		
1	2019年10月7日 月曜日	学校法人国際学園　星槎もみじ中学校	北海道　札幌市教育委員会
2	2019年10月8日 火曜日	札幌市立月寒東小学校	札幌市教育委員会
3	2019年10月21日 月曜日	八峰町立八峰中学校	秋田県教育委員会
4	2019年10月24日 木曜日	花巻市立太田小学校	岩手県／花巻市
5	2019年10月25日 金曜日	栗原市立栗駒中学校	宮城県教育委員会/栗原市教育委員会

知ってますか？～10 月 1 日は「国際音楽の日」です～

1977 年にユネスコの要請で設立された国際音楽評議会という会議で、翌年 の 1978 年から毎年 10 月 1 日を、世界の人々が音楽を通じてお互いに仲良くなり交流を深めていくため「国際音楽の日」とすることにしました。日本では、1994 年から毎年 10 月 1 日を「国際音楽の日」と定めています。

浄瑠璃って？

歴史上の人物や世の中のでき事、男女の恋愛のお話しなど、人間のさまざまな「物語」を、三味線の演奏にのせて「語る」芸能…

それを「浄瑠璃」と言います。

テレビやパソコン、スマホのなかった時代の人々の、娯楽や情報源として大きな人気を集めていました。

義太夫節って？

浄瑠璃にはいろんな種類がありますが、何と言っても浄瑠璃を代表するのが「義太夫節」と言えましょう。

江戸時代（五代将軍・徳川綱吉のころ）、※大坂の竹本義太夫という人が作り上げた浄瑠璃が大人気だったため、その名をとって「義太夫節」となりました。

「太夫」といわれる語り手が、一見大げさにも思えるダイナミックな表現で老若男女…殿様、子供、悪者など、一人で何人もの登場人物を語り分け、場面や情景を描き出します。

義太夫節では、「太棹」と呼ばれる大型の三味線を使います。力強い低音から優しく哀愁に満ちた音色まで、場面に応じた様々な音と奏法で太夫と一体となって情景や登場人物の気持ちを奏でます。

原則として太夫一人、三味線一人で演奏しますが、登場人物を分けて複数の演者で演奏することもあります。これを「掛合」と言います。

※江戸時代は「大阪」、現在は「大阪」と書きます

出演

浄瑠璃（太夫）
竹本越京
竹本京之助
竹本寿々女

三味線
鶴澤三寿々
鶴澤賀寿
鶴澤弥々

本日のメニュー

① 義太夫節を聴いてみよう！
『増補大江山』「戻り橋の段」より

② 義太夫節って？ その１
浄瑠璃と三味線のお話

③ 義太夫節って？ その２
「校歌」が義太夫節になっちゃう!?

④ ワークショップ体験発表コーナー

⑤ 全員体験コーナー
義太夫節を語ってみよう！

⑥ 義太夫節を楽しもう！
『菅原伝授手習鑑』「車曳の段」より

すがわらでんじゅてならいかがみ
菅原伝授手習鑑「車曳の段」ストーリー

三ツ子の兄弟の中の梅王丸と桜丸が道で偶然出会います。梅王丸の主人である菅丞相（菅原道真のこと）は無実の罪で遠くへ追いやられてしまいました。

桜丸も同じように主人を失いふたりは仕事がなくなってしまいました。辛い立場にある主人のことを思うとふたりは涙があふれます。

梅王丸と桜丸は主人の無念を晴らすために立ちふさがります。

やがて三人はケンカを始めます。

しかし、そこに現れたのはもう一人の兄弟である松王丸です。

松王丸は悪者・時平に仕えています。

そこへ藤原時平が乗った牛車が通ります。

時平は梅王丸、桜丸の主人をおとしいれた悪者です。

そこへ、牛車から藤原時平がものすごい迫力で姿を現します。梅王丸と桜丸はその姿に圧倒され、体がすくんでしまいました。

結果

三ツ子の兄弟は来月行われる父の七十歳のお祝いの日に再会を約束して別れます。

Ⅵ 令和2年度「文化芸術による子供育成総合事業出演希望調書(実演芸術)

分野，種目（該当する**種目**に○を付してください。）

分野	種目
【音楽】	合唱，オーケストラ等，音楽劇
【演劇】	児童劇，演劇，ミュージカル
【舞踊】	バレエ，現代舞踊
【伝統芸能】	歌舞伎・能楽，人形浄瑠璃，邦楽，邦舞，(演芸)

申請する区分に，○を付してください。　(A区分のみ)・A区分とB区分の両方・C区分

複数申請の有無(該当する方に○を付してください。)　あり・(なし)

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当する選択肢のいずれかに○を付してください。)
(1) 公演の実施時期が重複しても，複数の企画を実施可能
(2) 公演の実施時期が重複しなければ，複数の企画を実施可能
(3) 提案したいずれか1企画のみ実施可能
(4) その他(　　)

芸術文化団体の概要

ふりがな 制作団体名	ゆうげんがいしゃ さんえいきかく 有限会社　三栄企画		
代表者職・氏名	代表取締役 長澤利文		
制作団体所在地 (最寄り駅・バス停)	〒556－0015 大阪府大阪市浪速区敷津西 2-1-11-803 (大阪メトロ 御堂筋線・四つ橋線「大国町駅」)		
電話番号	06－6631－0659	ＦＡＸ番号	06－6631－9560
ふりがな 公演団体名	わげいのさんきょうだい ～らくご・こうだん・ろうきょくのせかい～ 話芸の三きょうだい　～落語・講談・浪曲の世界～		
代表者職・氏名	代表取締役 長澤利文		
公演団体所在地 (最寄り駅・バス停)	〒 制作団体に同じ		
制作団体設立年月	1977年　3月		
制作団体組織	役職員	団体構成員及び加入条件等	
	鳥江三也 **長澤利文**	**制作・舞台スタッフ：7名** **菊地まどか(浪曲師)**	
事務体制の担当	(専任)・他の業務と兼任	本事業担当者名	**斉藤寿是**
経理処理等の監査担当の有無	(有)・無	経理責任者名	**小西利子**

制作団体沿革	１９７７年３月に、鳥江三也と故・六代目笑福亭松鶴が設立しました。 同年に開催された朝日新聞大阪厚生文化事業団の「朝日電動車いすを贈る運動」キャンペーンに「チャリティー上方落語会」で参加し、近畿地方を中心に、中国地方、北陸地方など、１８府県の中学校と高等学校で公演。これを機に、全国の中学校と高等学校へ上方落語鑑賞会の巡回を開始。その後、上方落語以外の芸能として、浪曲、狂言、和太鼓、日本舞踊、演劇、人形劇、アカペラ、ＪＡＺＺ、イリュージョンなど、公演対象を拡大し、芸術鑑賞会を総合的にプロデュースしています。 ２００７年度に制作した小学校用の「上方落語鑑賞会」は、学校現場から高い評価を得ています。初等教育・中等教育（前期・後期）において、学校毎に綿密な打ち合わせを行うことをモットーとし、校風を尊重した芸術鑑賞会を展開しています。 また２０１７年度大阪市市民表彰において、芸術・芸能・科学又は学術に関して尽力した者を対象とする「文化功労」を、弊社創設者・鳥江三也が受賞しました。
学校等における公演実績	**下記は演芸公演の実績のみです。** **2018年度： 61 校** **2017年度： 77校** **2016年度:114校** **2015年度:107校** **2014年度： 89校**
特別支援学校における公演実績	**下記は全て演芸公演です。** **2017年度:八尾支援学校. 藤井寺支援学校.** **2015年度:大阪市立聴覚支援学校.** **2013年度:茨木支援学校. 播磨特別支援学校.** **2012年度:西淀川特別支援学校. 富田林支援学校.**

参考資料の有無	A	申請する演目のチラシパンフレット等	(有) ・ 無
		申請する演目の DVD または WEB 公開資料	(有) ・ 無
		※公開資料有の場合 URL	**DVDを提出します。**
		※閲覧に権限が必要な場合の ID およびパスワード	ID: PW:
	A の提出が困難な場合	今回申請する演目に近い演目で公演の様子がわかる内容の DVD または WEB 公開資料	有 ・ 無
		※公開資料有の場合 URL	
		※閲覧に権限が必要な場合の ID およびパスワード	ID: PW:

公 演 ・ ワークショップの内 容　　【公演団体名　話芸の三きょうだい～落語･講談･浪曲の世界～】

対　象	小学生（ 低学年 ・ 中学年 ・ 高学年 ） ・ 中 学 生
企画名	話芸の三きょうだい ～落語･講談･浪曲の世界～
本公演演目 原作／作曲 脚　　本 演出／振付	落語／「饅頭こわい」 または 「動物園」 講談／「山内一豊」 または 「大名茶会」 浪曲／「稲むらの火」 または 「吉岡先生教壇に生く」 公演時間(90分)

著作権	○	制作団体が所有		制作団体以外が所有する事項が含まれる		(制作団体以外が所有する事項が含まれる場合) 許諾の有無

演　目　概　要

落語①「饅頭こわい」
町内の者が集まり、世の中で一番怖いものは何かと話題にしていると、ある男が「まんじゅう」と聞いただけでも身体が震えると言い出し帰って行った。皆はこの男に困らされていたので、部屋にまんじゅうを投げ込んで日頃の鬱憤を晴らそうとする。そうして投げ込んでみたところ、この男はおいしそうに饅頭を食べている。そこで一人が「本当に怖いものは何や」と聞くと、この男「今は熱いお茶や」

落語②「動物園」
ある男が、叔父の紹介で移動動物園のトラになる仕事を引き受ける。檻に入りトラの毛皮を着て、トラのふりをしているだけのアルバイト。気楽にしていると、園内アナウンスが、ライオンをトラの檻の中へ放ち決闘させると伝え始める。男の仰天を余所に、強そうなライオンが入ってくる。檻の隅っこで男が震えていると、耳元で大きな口を開けたライオンが「心配せんでええ、俺もアルバイトや」

講談①「山内一豊」
安土城築城祝いの流鏑馬神事のお触れを発した織田信長。その家臣山内一豊は、弓術・馬術ともに秀でた武将であるが肝心の馬が無い。それでも女房の千代は、夫に主君の前でその実力を披露する機会を逃してほしくない。千代の支えにより、一豊は流鏑馬神事の晴れ舞台に立つことが叶う。後に土佐一国の大名となる山内一豊と糟糠の妻・千代の、夫婦の愛の物語。

講談②「大名茶会」
豊臣家の七大名、細川忠興、加藤清正、池田輝政、浅野幸長、黒田長政、加藤嘉明、福島正則がお茶会に招かれる。この中で茶の湯の心得があるのは細川忠興のみ。他の六名は細川の真似をしてその場をやり過ごそうとする。ところが細川の隣に座る加藤清正が勘違いからことごとく失敗し、続く者たちはそれを真似することになる。関ケ原合戦へと発展する物語。

浪曲①「稲むらの火」
銚子で醤油業を営む大商人・濱口梧陵が、帰省（和歌山県広川町）中に発生した安政の大地震（１８５４年）による津波から、自身の稲むら（ワラ）に火を放ち、それを目印に避難させて多くの人命を救い、被災後は私財で村人を雇用してその生活を保障し、その村人達とともに百年後の津波から村を守るため、築堤に取り組み奇跡の復興を遂げた逸話。

	「吉岡先生教壇に生く」 室戸台風（１９３４年）は、ラジオの中継アンテナを破壊しつつ進む。警報を知ることが出来ない大阪は、無防備状態での直撃となった。吉岡先生が勤務する小学校では、突然強まった暴風雨に対して避難を始めるが、校舎はみるみる倒壊し始める。その校舎には逃げ遅れた児童がいた。倒壊寸前の校舎に飛び込み、自らの身体を盾にして、５名の児童を救い殉職された吉岡藤子先生の物語です。
演目選択理由	法話から生まれた「話芸の三きょうだい」について、それぞれの芸能の特徴が顕著であることを重要視しました。 落語は「饅頭こわい」と「動物園」です。両方ともストーリーそのものが想像しやすいうえに、オチも大変分かりやすい演目です。説教という意味でも「饅頭こわい」は嘘を吐く人がいるので、人の言うことを真に受けてばかりではいけないということ、「動物園」は楽をして良い思いをしようとすると、必ずどこかに落とし穴があるという教訓を伝えます。 講談は「山内一豊」と「大名茶会」です。歴史の授業で習う戦国武将が登場する演目は、軍記物を扱う講談らしい演目です。「山内一豊」では一豊と千代の夫婦愛を通して、自分のことよりも相手の心を分かってあげようとすることの大切さを、「大名茶会」では不勉強のままだと、思いもよらぬところで大きな恥をかいてしまうという教訓を伝えます。 浪曲は「稲むらの火」と「吉岡先生教壇に生く」です。どちらも主人公の生き様が浪曲となった作品です。「稲むらの火」では小泉八雲が“生き神様”と称えた濱口梧陵の生き抜くという強い意志を学び、「吉岡先生教壇に生く」では倒壊しつつある校舎を目にしているにも関わらず、臆することなく咄嗟の判断で教え子を救う決断をくだした吉岡藤子の大きな愛情を学べます。 自分自身に関心が持てなくなり、人と人との関わり方が希薄になっているといわれる昨今、時代背景は変わっても、人間の本質はいつの世も変わらないものです。法話として、人として大切なことを広め伝えるために工夫を重ねた結果、今に伝わり残る話芸の本質を活かし、自分自身を見つめ直し、また先生と生徒、お友達同士、そして家族と、それぞれがそれぞれの関わり方を、楽しい笑顔の中で見つめ直すことが出来る演目を選択しています。
児童・生徒の共演，参加又は体験の形態	舞台上に上がっていただく体験人数は、落語・講談・浪曲それぞれ2名ずつ。合計6名を予定しています。 ＊小学生は各学年から1名ずつを基本としますが、低学年または高学年からそれぞれ2名ずつや、5・6年生からそれぞれ3名ずつなど、参加学年に合わせて対応致します。 ＊中学生は各学年から2名ずつを基本としますが、卒業学年である3年生から6名を選出するなど、各学校様の諸事情に合わせて対応致します。 舞台発表の内容は、落語は小噺の披露。講談は一息語りへの挑戦。浪曲は浪曲師の節に合わせての自己紹介となります。 舞台上に上がっていただいた皆様には、それぞれ該当する出演者が横に付きます。発表の順番は、①落語②講談③浪曲を基本としますが、児童・生徒達の準備の状況によっては順番を入れ替えて対応致します。 その他の児童・生徒席の皆様は、掛け声と拍手で参加していただきます。また浪曲の舞台発表時には、サプライズの飛び入り参加企画として、拍子木を打つ役割の方を児童・生徒席の中から数名募ります。 ＊体験コーナー全体の進行は、落語家・講談師・浪曲師が全員で行います。 ＊本公演当日、開演前に事前指導（約15分間）の機会を、学校様とご相談のうえ設けます。 体験される児童・生徒の皆様に、出演者がそれぞれ個別に指導を行います。

<table>
<tr><td>出　　演　　者</td><td colspan="3">落語家:桂　　雀 太.
講談師:旭 堂 南 龍.
浪曲師:菊 地 まどか.
曲　師:藤　　初 雪.
助演者:落語家(1名)

＊出演者(助演者含む)は、弊社の公演実績に基づいて選出しています。
＊桂雀太・旭堂南龍・菊地まどかのプロフィールは、別紙「話芸の三きょうだい雀太・南龍・まどかプロフィール」をご参照ください。</td></tr>
<tr><td>公演出演予定者数
(1公演あたり)</td><td>出 演 者:　5 名
スタッフ:　5 名
合　　計:　10 名</td><td>機 材 等
運搬方法</td><td>積載量 1.92　t
車 長 4.69 m
台 数　　2 台</td></tr>
</table>

№3(実演芸術)

【公演団体名　話芸の三きょうだい～落語・講談・浪曲の世界～】

<table>
<tr><td>公演に当たっての会場条件</td><td>実施条件等確認書①をご確認ください。</td></tr>
<tr><td>会場設営の所要時間(タイムスケジュール)の目安</td><td>前日仕込み(有 ・(無)) 会場設営の所要時間(2時間程度)
<table>
<tr><th>到着</th><th>仕込み</th><th>本公演</th><th>内休憩</th><th>撤去</th><th>退出</th></tr>
<tr><td>11時</td><td>11時00分 ～ 13時00分</td><td>13時30分～15時00分</td><td>0分</td><td>15時10分～16時10分</td><td>16時20分</td></tr>
</table>
※本公演時間の目安は、午後1時乃至1時 30 分からの概ね2時限分程度です。</td></tr>
<tr><td>児童・生徒の参加可能人数</td><td>ワークショップ：全校生徒
本公演：全校生徒</td></tr>
<tr><td>ワークショップ実施形態及び内容</td><td>A班:落語.　B班:講談.　C班:浪曲.　に分け、この内の一班が事前に伺います。
A班:落語・講談・浪曲の総合解説. ショート口演. 舞台道具の説明. 休憩.
大阪弁講座. 小噺指導.
B班:講談・落語・浪曲の総合解説. ショート口演. 舞台道具の説明. 休憩.
一息語りの説明. 口裁き指導.
C班:浪曲・落語・講談の総合解説. ショート口演. 舞台道具の説明. 休憩.
発声・掛け声練習. 節の指導.
各班それぞれ最後に、本公演の体験コーナーで舞台に上がる対象者を、出演者のリードで選出します。
各班ともに、休憩前:40分間。休憩後:40分間の合計80分間公演となります。尚休憩時間は10分間を基本としますが、各学校様の生徒数に応じて対応致します。</td></tr>
<tr><td>ワークショップ実施形態の意図</td><td>事前ワークショップにA班(落語)がお伺いさせていただいた場合は、落語家が講談と浪曲についても解説致しますが、講談と浪曲の専門解説は、本公演の冒頭で講談師と浪曲師がそれぞれ行います。ワークショップに始まり、本公演で話芸の三きょうだいが完結する構成となっています。
事前ワークショップの最後に、演者が舞台上で発表する対象者を選出することで、児童・生徒達により一層話芸の魅力を伝えます。それと同時に話芸の三きょうだいに対する印象を強く残し、本公演への期待感を高めます。</td></tr>
<tr><td>特別支援学校での実施における工夫点</td><td>各校専門の御担当者様に、どのような支援を要する児童・生徒達が在籍しているか確認を行うと共に、どのようなパフォーマンスをご希望されているかお伺いさせていただきます。その後に、弊社の過去の特別支援学校での公演経験のノハウを加えた公演プログラム案を提案致します。これを基本とさせていただき御担当者様と協議を重ね、開催校の現状に相応しい公演プログラムを、児童・生徒達との触れ合いを重要視して作成しています。</td></tr>
<tr><td>実施可能時期</td><td>実施可能時期スケジュール表をご確認ください。</td></tr>
</table>

桂　　雀　　太

（かつら　　じゃく　　た　）

入　　門／　平成１４年５月、桂雀三郎に入門

受　　賞／　平成２８年.「ＮＨＫ新人落語大賞」大賞.
平成２９年.「咲くやこの花賞（大阪市)」
平成３０年.「第１３回繁昌亭大賞」奨励賞.
平成３０年.「花形演芸大賞」銀賞
令 和 元 年.「第５回上方落語若手噺家グランプリ２０１９」優勝

弟　　子／　源太.

番　　組／　ネットラジオ「ネットでじゃくったれ」

資　　格／　宅地建物取引主任者．行政書士.

芸　　歴／　各地で精力的に落語会を開催。

その地道な努力が「NHK 新人落語大賞」で見事大輪の花を咲かせました。

スケールの大きな語り口は同世代の中でも群を抜き、次世代の爆笑落語

の担い手として評価はうなぎ登りです。

また最近の活躍が地元の目にもとまり、平成２９年秋より「五條市観光

大使」を任命されました。

旭　堂　南　龍

（きょく　どう　なん　りゅう）

入　　門／　平成１６年、旭堂南左衛門に入門

委　　嘱／　平成３０年６月「奈良市観光大使」

芸　　歴／　学生時代は落語講談研究部で活躍。

さわやかな語り口は、上方講談界に新風を吹き込んでいます。

平成２０年にはＮＨＫ「ドキュメント挑戦」にて＜旭堂南青・武者修行の会＞が取り上げられました。

平成２６年４月より、東大阪市立縄手南中学校において、日本初となる講談師アドバイザリースタッフとして学校教育に参加。国語と社会の授業において、日本人として身につけなければならない礼節と教養を、講談を題材にして分かりやすく伝えています。

また自身の講談会も多数開催しており、近年では東京へも進出し、関係各位から高い評価を得、２０１８年１１月には上方では久しぶりとなる真打への昇進を果たすと同時に、大名跡である旭堂南龍をも襲名しました。上方講談界期待の逸材です。

菊　地　　まどか

（き く　　ち ）

プロフィール

幼少から浪曲・民謡を歌い始める
２００１年．正式に成世昌平の甲会に入門し名取となり、プロとして歩み始める
２００３年．二代目京山小圓嬢（浪曲師）に入門
２００５年．浪曲師として初舞台
２００６年．小泉首相主催「観桜会」に招待される
同　　年．大阪芸術大学で講師として浪曲を特別授業する
同　　年．ＪＡＬ名人会に出演し、国内線・国際線の機内で上演される
２００７年．京セラドームのオリックス対西武戦の始球式で、浪曲師として初となる「君が代」独唱
２００８年．「中之島国際音楽祭」にピアノと三味線で浪曲「嫁ぐ日」を洋装で演じる
２００９年．成世昌平の甲会で師範となる
２０１０年．ワッハ上方で「林家染丸・菊地まどか二人会」を開催
同　　年．上海万博に出演
同　　年．ロサンゼルスの日米劇場に出演
２０１１年．新歌舞伎座（大阪）に芝居で出演
２０１３年．築地本願寺で「浪曲師・菊地まどかの会」を開催
２０１７年．国立文楽劇場で「浪曲生活１５周年記念公演」を開催
同　　年．稲むらの火の館（和歌山県広川町）で浪曲「稲むらの火」初披露
同　　年．津波・高潮ステーション（大阪市）で「稲むらの火」披露
２０１８年．「第３回全国被災地語り部シンポジウム」で「稲むらの火」披露
同　　年．南三陸ホテル観洋（宮城県南三陸町）で「稲むらの火」披露

受　　賞

２００２年．「サンザワールド民謡大会（富山テレビ)」優勝
同　　年．「西近畿民謡連合大会」優勝
同　　年．「和歌山県知事賞」
２００４年．「産経民謡大賞」優秀賞
２００６年．「第６０回 文化庁芸術祭」新人賞
同　　年．「大阪舞台芸術賞」新人賞
２００７年．「咲くやこの花賞」（大阪市）
２００８年．「第３４回放送文化基金賞・ラジオ番組賞」
（ラジオ大阪『浪曲「あぁ吉岡先生」と大阪防災元年』）
２００９年．「大阪文化祭賞」奨励賞
２０１０年．「第５２回 日本レコード大賞」新人賞

同　　年.「第４３回 日本作詞大賞」入賞
２０１１年.「平成２２年度 花形演芸大賞」銀賞
同　　年.「平成２３年度 日本作曲家協会音楽祭」奨励賞
２０１２年.「平成２３年度 花形演芸大賞」金賞
２０１８年.「平成２９年度 花形演芸大賞」金賞

メディア

ＮＨＫ「東西浪曲特選」「上方浪曲特選」「浪曲十八番」「バラエティ生活笑百科」
「歌謡コンサート」「ＢＳ日本のうた」「わが心の大阪メロディー」他
ＹＴＶ「笑点」「情報ライブ ミヤネ屋」他
ＫＴＶ「ニュースアンカー」他
ＯＢＣ「浪曲吉岡先生と大阪防災元年」他

舞　台

国立演芸場．国立文楽劇場．天満天神繁昌亭．山本能楽堂．横浜にぎわい座．
一心寺南会所．他

ディスコグラフィー

シングル／「浪花女のげんき節」（テイチク）
「人恋さんさ」（テイチク）
「菜の花列車」（テイチク）
「ふたりの絆酒」（テイチク）
「海山千里の道を行く」（テイチク）
「夫婦鶴」（テイチク）
「ふるさと海峡」（テイチク）
「浮草ふたり」（テイチク）

デュエット／「屋形船」（テイチク）　＊増井山太志郎＊

アルバム／「菊地まどかシングルベスト集」（テイチク）

歌謡浪曲／　長編歌謡浪曲「嫁ぐ日」（テイチク）
長編歌謡浪曲「孫はかすがい」（テイチク）

浪　　曲／　浪曲「嫁ぐ日」「赤垣源蔵～名残の徳利」（テイチク）
浪曲「阿波の踊り子」「吉岡先生教壇に生く」（テイチク）
浪曲「村松三太夫」（テイチク）

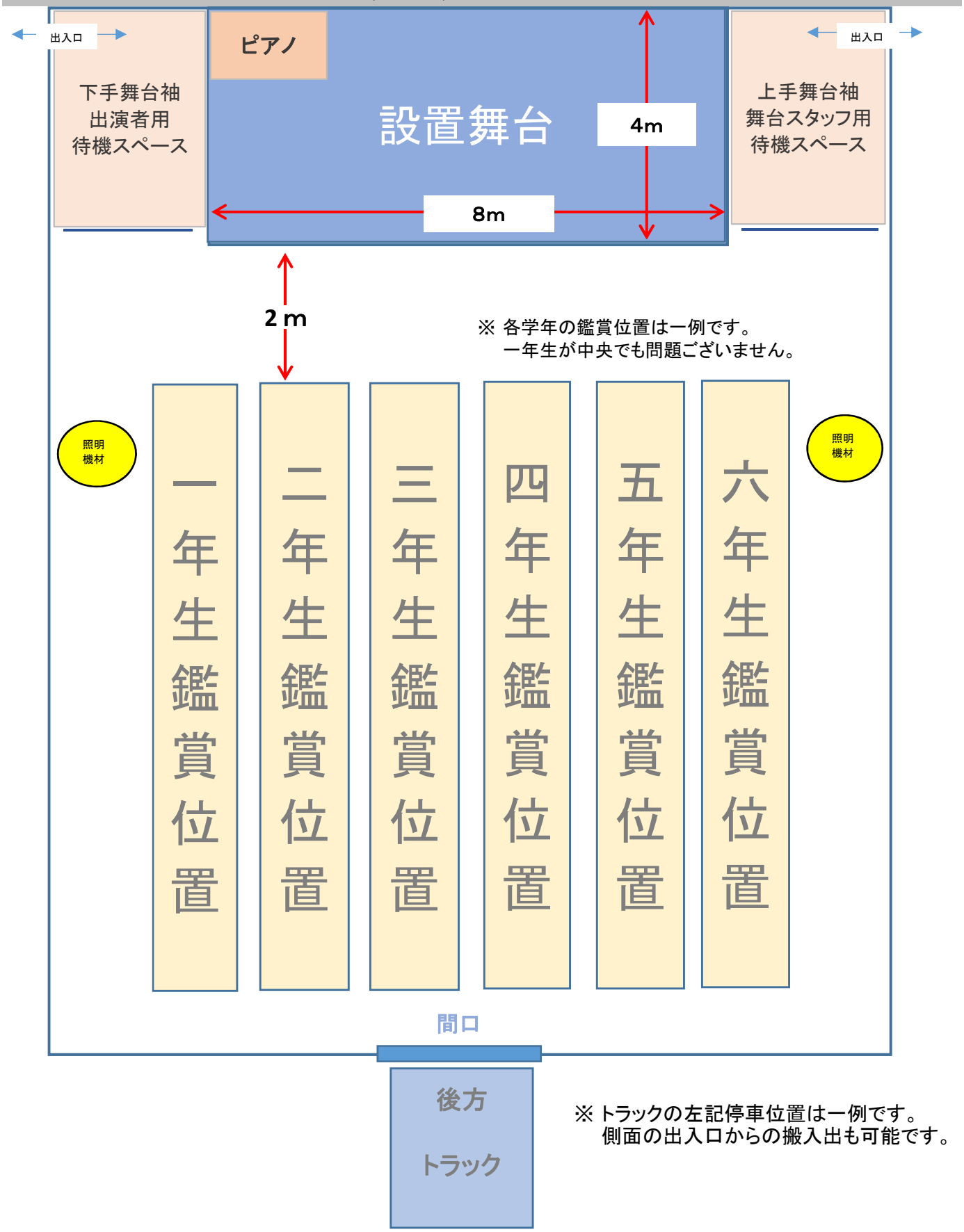
【令和2年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－実施条件等確認書①】

ID	I107	分野	伝統芸能	種目	演芸	ブロック	I	区分	A区分
公演団体名	話芸の三きょうだい　～落語・講談・浪曲の世界～			制作団体名	有限会社　三栄企画				

① 会場条件等についての確認

項目	応相談	必要条件等							
控室について	可	必要数＊	1室	条件	10名が待機可能な広さとカーテン（着替えるため）を有する部屋を希望します。				
搬入について	可	来校する車両の大きさと台数＊			バン　　2台				
	可	来校する車両の内，横づけが必要な車両の大きさ			全長4695×全幅1695×全高2240				
	可	搬入車両の横づけの要否＊			不要				
	可	横づけができない場合の搬入可能距離＊			5m以内				
	可	搬入経路の最低条件			屋根または庇のある経路を理想とします。				
		理由			紙を素材とする運搬物（屏風など）がございます				
	可	設置階の制限＊			問わない				
	可	搬入間口について 単位：メートル	幅	2m	高さ	2m			
WSについて	可	参加可能人数		200名程度まで。					
	可	学年の指定の有無＊		なし	指定学年＊	なし			
	可	所要時間の目安 単位：分		80分（休憩時間10分間を含む）					
本公演について		会場設営・本公演・メインプログラムの所要時間		※「出演希望調書」内「会場設営の所要時間(タイムスケジュール)の目安をご参照ください。					
	可	鑑賞可能人数		フロアの収容規定人数にもよりますが、1000名程度まで可。					
	不可	舞台設置場所＊		体育館のステージ上					
	可	舞台設置に必要な広さ 単位：メートル	幅	8m	奥行	4m	高さ	指定なし	
	可	体育館の舞台を使用する場合の条件	舞台袖スペースの確保＊	要					
	可		舞台袖スペースの条件＊	袖に荷物がない状態が理想です。					
	可		緞帳＊	要	バトン＊	不要			
	―	遮光(暗幕等)の要否＊		不要	理由	―			
	可	ピアノの調律・移動の要否	指定位置へのピアノの移動＊	要	※指定位置は会場設置図面にて御確認ください。				
	―		ピアノの事前調律＊	不要					
	可	フロアを使用する場合の条件	バスケットゴールの設置状況＊	格納されていれば可					
	可	公演に必要な電源容量		60A	※主幹電源の必要容量				
	その他特記事項								
	可	出演者がフロアを通らずに、舞台袖へ屋外から直接入室出来る出入り口が有るのが理想です。							

会場図面(表記単位:メートル)



搬入間口について	幅	2m	高さ	2m
搬入車両の横づけの要否	要			
横づけができない場合の搬入可能距離	5m以内			

※搬入に関する条件の詳細については、図面上の表にて御確認ください。

話芸の三きょうだい

落語・講談・浪曲の世界

落語と講談と浪曲は
「法話」から
生まれた話芸。

落語家
桂雀太
落語は最後にオチを入れて話す芸能

講談師
旭堂南龍
講談は七五調でリズミカルに読む芸能

浪曲師
菊地まどか
浪曲は三味線の伴奏にのせて語りうたう芸能

浪曲師　菊地まどか

初舞台を踏むや否や、獲得した受賞歴が物語る優れた技量は、
本格派の浪曲師として将来を期待されています。

浪曲「稲むらの火」

「稲むらの火」は、安政の大地震による津波襲来時、自身の稲むらに火を放ち、これを目印に人々を誘導して多くの人命を救い、被災により家も仕事も失った村人を私財で雇用して堤防を築き、奇跡の復興を遂げる源となった濱口梧陵氏の実話です。

浪曲「吉岡先生教壇に生く」

『浪曲・豊津小学校哀史～あゝ吉岡訓導』は、室戸台風により自らの身体を盾にして5名の児童を救い殉職された吉岡藤子教諭の実話です。当時大きな反響となりレコード化（浪曲）された作品を、現在の言葉を用いて分かりやすく改作しました。

落語家　桂　雀太

スケールの大きな語り口で、爆笑落語の担い手としての評価も上がり、
NHK新人落語大賞「大賞」受賞で見事に花を咲かせました。

落語「饅頭こわい」

世の中で一番怖いものは何かと話していると、「まんじゅう」と言う男がいた。皆はあらゆる饅頭を買って来て、この男が寝ている部屋に投げ込んだ。ところが男はおいしそうに饅頭を食べている。そこで一人が「本当に怖いものは何や」と聞くと……。

落語「動物園」

ある男が移動動物園のトラ役の仕事を引き受ける。トラの毛皮を着て檻の中にいるだけ。気楽にしていると、アナウンスがライオンをトラの檻の中へ放ち決闘させると告げる。強そうなライオンが入ってきて、震えている男のそばで口を大きく開け……。

講談師　旭堂南龍

東大阪市の公立中学校で、日本初となる講談師アドバイザリースタッフとして参加。
上方講談界期待の逸材です。

講談「山内一豊」

安土城築城祝いの流鏑馬神事。山内一豊は、弓術・馬術ともに秀でた武将であるが肝心の馬が無い。女房の千代は、夫に主君の前でその実力を披露する機会を逃してほしくない。千代の支えで一豊は流鏑馬神事の晴れ舞台に立つことが叶う。一豊と千代、夫婦愛のお話。

講談「大名茶会」

豊臣家の細川忠興、加藤清正、池田輝政、浅野幸長、黒田長政、加藤嘉明、福島正則が茶会に招かれる。茶の湯の心得がある細川忠興のみ。他の者は細川の真似をしてその場をやり過ごそうとするが、細川の隣に座る清正が失敗したために、とんだ茶会になってしまう。

制作：三栄企画